

**令和5年度(令和4年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表**

立川市公の施設指定管理者評価委員会

令和5年度（令和4年度実施分）指定管理者管理運営状況評価表 別紙

【立川市のコスト削減状況の項目について】

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響が見られる中で、物価高騰が大きく影響を及ぼした年となり、指定管理者に対しても必要に応じて協議を行うことで、光熱費等の補填を実施しました。

例年、立川市公の施設指定管理者管理運営状況評価表では、指定管理者導入前の経費と導入後の指定管理料及び市への納付金を比較することで、導入前後でのコスト削減状況を記載してきました。令和5年度（令和4年度実施分）につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰という特殊な状況下での運営となったことから、各施設の正確なコスト削減効果の評価を行うことが困難であるため、本項目を評価しないこととしています。

指定管理者制度導入施設一覧（R5年3月時点）

施設名(募集単位)		施設数	導入月	直近の更新月	現期間終了月	指定期間	公募	指定管理者	主管課
市民会館		1	H18.4	H25.11	R6.3	10年4ヶ月	非	(株)合人社計画研究所ほか8社	地域文化課
子ども未来センター		1	H24.12		R6.3	11年4ヶ月	非	(株)合人社計画研究所ほか8社	地域文化課
柴崎市民体育館		1	H22.4	R2.4	R7.3	5年		野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体	スポーツ振興課
泉市民体育館		1	H26.4	H31.4	R6.3	5年		シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	スポーツ振興課
幸児童館		1	H21.4	R4.4	R8.3	4年	非	(特非)ワーカーズコープ	子ども育成課
高松児童館		1	H24.4	R4.4	R7.3	3年	非	(特非)ワーカーズコープ	子ども育成課
若葉児童館・若葉学童保育所		2	H25.4	H30.4	R5.3	5年		(特非)ワーカーズコープ	子ども育成課
西砂児童館・松中学童保育所		2	H25.4	H30.4	R5.3	5年		(特非)ワーカーズコープ	子ども育成課
羽衣児童館・羽衣学童保育所		2	H26.4	H31.4	R6.3	5年		(特非)ワーカーズコープ	子ども育成課
富士見児童館・南富士見学童保育所		2	H26.4	H31.4	R6.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課
錦児童館・錦学童保育所		2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課
上砂児童館・上砂第三学童保育所		2	H27.4	R2.4	R7.3	5年		(株)明日葉	子ども育成課
斎場		1	H18.4	R3.4	R6.3	3年	非	(公社)立川市シルバー人材センター	福祉総務課
総合福祉センター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)立川市社会福祉協議会	福祉総務課
柏地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)至誠学舎立川	介護保険課
羽衣地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年	非	(福)恵比寿会	介護保険課
上砂地域福祉サービスセンター		1	H18.4	R4.4	R9.3	5年		(福)敬愛会	介護保険課
自転車等駐車場(第1ブロック)		19	H18.4	H31.4	R6.3	5年		日本コンピュータ・ダイナミクス(株)	交通対策課
自転車等駐車場(第2ブロック)		5	H18.4	H31.4	R6.3	5年		サイカパーキング(株)	交通対策課
駐車場		3	H18.4	H31.4	R6.3	5年		タイムズ24(株)連合体	交通対策課
学習等 供用施設	滝ノ上会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市滝ノ上会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こんびら橋会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市こんびら橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	高松会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市高松会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	若葉会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市若葉会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	こぶし会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市こぶし会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	羽衣中央会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市羽衣中央会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	天王橋会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市天王橋会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	柴崎会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市柴崎会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	さかえ会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市さかえ会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	西砂会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市西砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
	上砂会館	1	H18.9	R3.4	R6.3	3年	非	立川市上砂会館管理運営委員会	生涯学習推進センター
ハケ岳山荘		1	H21.4	R4.4	R9.3	5年		(株)レストラン・ピガール	生涯学習推進センター
幸・錦図書館		2	H22.6	H30.4	R5.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館
西砂・高松・若葉図書館		3	H25.4	H30.4	R5.3	5年		(株)図書館流通センター	図書館
柴崎・上砂・多摩川図書館		3	H27.4	H30.4	R5.3	5年		(株)ヴィアックス	図書館
導入施設数		70							

目 次

令和4年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

ー産業文化スポーツ部ー

1. 市民会館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
【地域文化課（合人社計画研究所グループ）】	
2. 子ども未来センター・・・・・・・・・・・・・・・・	6
【地域文化課ほか（合人社計画研究所グループ）】	
3. 柴崎市民体育館・・・・・・・・・・・・・・・・	23
【スポーツ振興課（野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体）】	
4. 泉市民体育館・・・・・・・・・・・・・・・・	27
【スポーツ振興課（シンコー・立川体協・アズビル共同事業体）】	

ー子ども家庭部ー

5. 幸児童館・・・・・・・・・・・・・・・・	31
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
6. 高松児童館・・・・・・・・・・・・・・・・	35
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
7. 若葉児童館・若葉学童保育所・・・・・・・・	40
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
8. 西砂児童館・松中学童保育所・・・・・・・・	48
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
9. 羽衣児童館・羽衣学童保育所・・・・・・・・	56
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
10. 富士見児童館・南富士見学童保育所・・・・	64
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	
11. 錦児童館・錦学童保育所・・・・・・・・	72
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	
12. 上砂児童館・上砂第三学童保育所・・・・	80
【子ども育成課（株式会社明日葉）】	

ー福祉保健部ー

13. 斎場・・・・・・・・・・・・・・・・	89
【福祉総務課（公益社団法人立川市シルバー人材センター）】	
14. 総合福祉センター・・・・・・・・	93
【福祉総務課（社会福祉法人立川市社会福祉協議会）】	

15. 柏地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	97
【介護保険課（社会福祉法人至誠学舎立川）】	
16. 羽衣地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	101
【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】	
17. 上砂地域福祉サービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	105
【介護保険課（社会福祉法人敬愛会）】	
ーまちづくり部ー	
18. 自転車等駐車場（第1ブロック）・・・・・・・・・・・・・・・・	109
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
19. 自転車等駐車場（第2ブロック）・・・・・・・・・・・・・・・・	113
【交通対策課（サイカパーキング株式会社）】	
20. 駐車場・・・・・・・・・・・・・・・・	117
【交通対策課（タイムズ24株式会社連合体）】	
ー教育部ー	
21. 八ヶ岳山荘・・・・・・・・・・・・・・・・	121
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】	
22. 学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）・・・・・・・・	125
【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】	
23. 幸図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	169
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
24. 西砂図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	173
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
25. 高松図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	177
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
26. 錦図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	181
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
27. 若葉図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	185
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
28. 柴崎図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	189
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
29. 上砂図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	193
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
30. 多摩川図書館・・・・・・・・・・・・・・・・	197
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	

令和4年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置 目的達成に関する 取り組み	(2)業務の履行 状況	(3)サービスの質 に関する事項	(4)施設・設備の 維持管理状況	(5)個人情報保 護規定等の遵守 状況に関する事 項
市民会館	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
錦児童館・錦学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
上砂児童館・上砂第三学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
斎場	A	A	A	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	B	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A
駐車場	A	A	A	A	A
ハヶ岳山荘	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A
立川市こんびら橋会館	A	A	A	A	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A
柴崎図書館	A	A	A	A	A
上砂図書館	A	A	A	A	A
多摩川図書館	A	A	A	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

※その他特記事項は、仕様書、提案書、協定書等で定められた事項以外の事項を記載しているため評価対象外。

(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項	(7)地域貢献に関する事項	(8)コンプライアンスに関する事項	(9)立川市のコスト削減状況	総合評価	施設名
A	A	A	—	A	市民会館
A/A/B/A	A/-/-/-	A/A/A/A	—	A/A/A/A	子ども未来センター
A	A	A	—	A	柴崎市民体育館
A	A	A	—	A	泉市民体育館
A	A	A	—	A	幸児童館
A	A	A	—	A	高松児童館
B/A	A/A	A/A	-/-	A/A	若葉児童館・若葉学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	西砂児童館・松中学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	羽衣児童館・羽衣学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	富士見児童館・南富士見学童保育所
A/A	A/A	A/A	-/-	A/A	錦児童館・錦学童保育所
B/B	A/A	A/A	-/-	A/A	上砂児童館・上砂第三学童保育所
A	—	A	—	A	斎場
A	A	A	—	A	総合福祉センター
A	A	A	—	A	柏地域福祉サービスセンター
B	A	A	—	A	羽衣地域福祉サービスセンター
A	A	A	—	A	上砂地域福祉サービスセンター
A	A	A	—	A	自転車等駐車場(第1ブロック)
A	A	A	—	A	自転車等駐車場(第2ブロック)
A	—	A	—	A	駐車場
B	A	A	—	A	ハヶ岳山荘
A	A	A	—	A	立川市滝ノ上会館
A	A	A	—	A	立川市こんぴら橋会館
A	A	A	—	A	立川市高松会館
A	A	A	—	A	立川市若葉会館
A	A	A	—	A	立川市こぶし会館
A	A	A	—	A	立川市羽衣中央会館
A	A	A	—	A	立川市天王橋会館
A	A	A	—	A	立川市柴崎会館
A	A	A	—	A	立川市さかえ会館
A	A	A	—	A	立川市西砂会館
A	A	A	—	A	立川市上砂会館
A	A	A	—	A	幸図書館
A	A	A	—	A	西砂図書館
A	A	A	—	A	高松図書館
A	A	A	—	A	錦図書館
B	A	A	—	A	若葉図書館
A	A	A	—	A	柴崎図書館
A	A	A	—	A	上砂図書館
B	A	A	—	A	多摩川図書館

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評 価 内 容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～令和6年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルを活用し理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A		
事業の継続性の担保	職場内のコミュニケーションを重視し、OJTを活用することにより、職員の質の向上に努め、安定した事業が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日(休館日:毎月第3月曜日及び12/29～1/3) 開館時間:9:00～22:00 職員配置:26人 (正社員・契約社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術9人 受付業務11人 維持管理5人 臨時職員賃金:時給1,080円以上 (各社規定による) 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 総利用者数は、新型コロナウイルス感染症による施設休館の影響により大幅に減少した昨年度に比べて増加傾向にあるが、コロナ禍以前の水準にはもどっていない。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計:272,819人(151.9%) 大ホール:131,080人(185.1%) 小ホール: 34,341人(146.8%) 展示室・サブホール・ギャラリー 会議室: 65,739人(146.1%) 各窓口: 24,991人(102.3%) 市民ロビー等その他:16,668人(104.2%) 前年度よりは増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止とする団体も多い状況であったための結果である。	A	新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、文化芸術を楽しむ機会の提供や来館者向けのサービス向上が図られており、事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	
運営企画	主催事業として、「避難訓練コンサート」は中止となったが、「世界のピアノを弾きくらべてみよう!」は実施できた。立川シアタープロジェクトへの協賛・協力事業として「市民創作ゼミ」「青い鳥チルチルミチルの冒険」を開催。また利用時のサービス向上として、広場イルミネーションの実施など、感染症対策を徹底しながら業務にあたっている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:196,909,389円 (うち指定管理料196,009,416円) 支出:198,835,677円 事業収支:▲1,926,288円 人件費比率:65.1% 指定管理料を含め適正に執行されている。 自主事業納付金:719,978円	A	事業収支は、物価高騰等の影響によりマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。 協定書に基づき、適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	公立文化施設賠償責任保険、公立文化施設利用者見舞費用保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	舞台設備保守点検、清掃、守衛・設備管理	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶・応対・服装等について、ビジネスマナーマニュアルを活用し、実施されている。	A	各種研修を実施し、良好な接客に努めている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施しており、アンケートにおける職員対応の評価も高い。 積極的な広報・PR等を行い、利用情報の提供が行われている。 所管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携に努めている。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	接遇マナー、舞台安全、コンプライアンス、個人情報保護研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、その結果がホームページで公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	・リーフレットだけでなく商業施設のビジョンや多摩モノレールの車内広告を実施。 ・ホームページでは館内ストリートビューによる周知も実施。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施されている。	A		
業務の点検	随時点検が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A			
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に管理されている。	A			
小規模修繕	大ホール 移動型音響調整卓、舞台調光装置及び照明操作卓リレー、スポットライトスターター、開閉用子ランナー 小ホール CDメモリーレコーダー、無停電電源装置、ローアホリゾントライト	A			
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正な取り扱いが指導されている。	A	適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	施設のホームページが改ざんされるという事案が発生した。事態が判明してから市の報告、サーバ停止による被害拡大防止など対応は迅速に行われた。	A	ホームページの改ざん事案については、判明後適切に対応されている。 危険予知については、適正に事故防止がなされている。 マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。	A	
事故の予兆に対する対応	危険予知活動票を作成し、未然の事故防止がなされている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動票を活用し、事故防止対策の取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	利用者アンケートによる要望把握や文化協会などの地域との連携、意見交換が行われている。 また、コロナ禍ではあったが、希望のあった中学生職場体験の受入れも再開。	A	地域や関係機関との連携に努められている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
施設の設置目的に沿い、立川市市民会館条例及び立川市市民会館条例施行規則を遵守し、担当部署である地域文化課への報告、連絡等を速やかに行い、立川市地域文化振興財団との連携を図ることにより、適正かつ円滑に管理運営業務を実施した。また、新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
施設運営については、新型コロナウイルス感染症による使用制限や拡大防止等への対応を含め大きなトラブルもなく概ね良好である。 引き続き利用者目線に立った運営が求められる。 地域や文化団体との連携も積極的に行っており評価できる。 新型コロナウイルス感染症に伴う対応等、刻々と変化する状況に応じ、市と連携し感染防止対策やコロナによるキャンセルへの全額還付対応など、柔軟に対応していたことは評価できる。 令和4年度は空調用冷温水機ポンプ修繕を行ったが、事業者や利用者対応等、適宜柔軟に対応していただいた。		A	新型コロナウイルス感染症による影響の大きかった昨年度に比べて利用者数は増加傾向だが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。 市と連携し、新型コロナウイルス感染症に伴う利用者への全額還付対応など、柔軟に素早く対応した。 施設の維持管理については適切に保守点検を実施し、事故や苦情等もない。 施設所管課との連携だけでなく、関係団体との連携も行っており、事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日（11年4か月）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子育て推進課・ 子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	市民協働課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

施設管理業務については、仕様書等に基づいて概ね適切に実施されていた。
各事業について、来場者数はイベントの再開等により前年度よりも増加となったが、コロナ禍以前ほどの人数には到達していない。しかし、感染防止対策はもちろん、各事業者の工夫や改善により、利用者に向けたサービスが提供されている。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	1	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行い、理解度の向上及び再確認が行われている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応できるように予約システムが運用されている。	A			
事業の継続性の担保	各種マニュアルによる教育や引継を実施し、事業の継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:365日(まんがぱーくは12/29-1/3営業) 開館時間:8:30～22:00(まんがぱーくは平日10:00～19:00、土日祝日10:00～20:00) 職員配置:正社員1人、契約社員 8人 契約社員賃金:時給1,200円以上 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 イベント再開等により、施設の利用者数は昨年度に比べて増加したが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。 関係団体と連携した事業の再開により、周辺地域のにぎわいづくりに貢献した。	A	
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年比 利用者延べ人数 243,438人(125.5%) 【内訳】 施設貸出利用者数 57,147人(155.1%) まんがぱーく利用者数 61,402人(130.5%) 広場イベント来場者数 12,200人(-%) 広場来訪者数 36,221人(94.8%) その他利用者数 76,288人(106.2%) コロナ禍以前にはまだまだ及ばないが、来場者は増えてきた。	A			
運営企画	まんがぱーく大市は7月から再開したものの、8月、9月は感染状況を踏まえて中止するなど、慎重に再開していった。 キッチンカーやフリーマーケットなど、多くの来場者でにぎわっていた。	A			
事業収支 経営状況分析指標	収入:100,488,172円、支出:108,902,918円 (うち指定管理料48,197,080円) 事業収支:▲8,414,746円 人件費比率:43.9% 新型コロナウイルス感染症の影響により収入に対し、支出の増加額が大きいため、収支がマイナスとなっている。 自主事業納付金:3,077,123円	A			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	清掃、廃棄物処理、機械警備、建物定期点検、各種設備保守、植栽管理業務、駐車場保守管理業務、イベント警備について実施。	A			
新たな取り組みの状況	南口の商店街や飲食店と協力してのイベント開催ということで、地域との交流+にぎわい創出に貢献している。ホーカーズフェスタは飲食に関しては抵抗のある時期ではあったが、感染防止対策を徹底して実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適切に挨拶・応対等、実施されている。	A	職員の対応は良好に行われている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議が実施されており、情報が共有されている。	A	
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A			
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 防犯対策を強化し、保安・警備が適切に行われている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設保全マニュアルに沿って適切に点検し、損傷・不具合等に対し、適切に処理されている。	A			
保安・警備	毎日巡回点検するなど、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	自動ドアの不調で、ワイヤー交換を実施した。	A			
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程を制定し、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	事故・苦情等は特になし。		A	事件・事故等はなく、安定した管理運営がされている。 危機管理マニュアルが整備され、対応体制が確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応できるよう準備している。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。不審者対応について取り組まれている。				
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	懇親会は中止となったが、南口商店街連合会等との意見交換やイベントの実施、市や商工会議所との意見交換、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、毎週の施設周辺のゴミ拾い清掃、市内中学校の職場体験や社会科見学の受け入れ、地域の文化関連団体等との連携、大学のゼミや他自治体の視察・取材対応等を実施してきたため、良好な関係が築けている。		A	地元商店街や地域団体との連携について積極的に取り組みが行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。		A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—		—	—	—
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
新型コロナウイルス感染症がようやく収束に向かい館の利用は戻ってきた。講座やイベントの開催数も増加してきたが、まだ新型コロナウイルス感染症の感染の波が来ては引きを繰り返し、全面的な回復には至らず。今後も感染の拡大がないよう慎重に運営をしていきたい。					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
施設保全業務については仕様書等に基づいて適切に行われている。コロナ禍での感染防止対策もしっかりと対応できていた。今後も改善できるよう取り組んでもらいたい。		A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、これまでの取組が地域に定着しており、関係機関や地域との連携が進んでいる。 施設管理・運営については、事業計画書等に基づき、適切に行われていると判断し、A評価とする。		A
施設運営についても、拡大防止等への対応を含め大きなトラブルもなく概ね良好である。引き続き利用者目線に立った運営が求められる。					
地域や文化団体との連携も積極的に行っており評価できる。					
新型コロナウイルス感染症による対応について、自主事業まんがぱーくについても開館時間短縮や人数制限対応など、市に協力し、感染防止に努めていたことは評価する。					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
子育て支援業務	2	子ども家庭支援センター・子育て推進課・保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務の仕様書及び年間事業計画に基づき、施設の管理及び子育て支援拠点事業の運営が適切に行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	当該施設の設置目的及び管理運営上の基本的な事項等を理解するための研修や会議が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	イベントの事前告知を行い、柔軟に運営することで、利用者に対し公平・公正に対応するシステムが構築されている。	A		
事業の継続性の担保	記録や会議、研修を行い、情報共有が図られている。引継ぎ期間を設け、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも、平日1時間、土日30分開館時間を延長) 職員配置:正職員及び臨時職員 15人 臨時職員賃金:時給1,082円～1,300円	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は昨年度に比べて、計画どおりのイベント実施により啓発は回復した一方で、行動制限緩和に伴う他の外出場所の増加等により、ひろば、一時預かりは減少している。 事業については、十分な感染症対策を講じ、事業計画書に基づいた講座イベントが概ね実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 20,570人(103.4%) 【内訳】 支援啓発 7,382人(120%) 子育てひろば 10,867人(96%) 一時預かり保育 2,321人(93%)	A		
運営企画	グループ活動室管理、子育て講座・子育てイベント(ママ&ベビーヨガなど)、父親向けイベント、季節ごとのコンサート、年齢別サークル、子育て情報誌の発行、事業協力(見守り保育)、ひろばであそぶ、壁でお絵かき、地域連携、季節の制作、各種講座、季節の壁面制作、誕生会など	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:67,304,600円、支出:66,797,247円 (うち指定管理料 67,304,600円) 事業収支:507,353円 人件費比率:77%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務を委託。	A		
新たな取り組みの状況	一時預かり事業について、新たに「みらいっこおしゃべり会」の開催と市内の産婦人科病院へ事業案内の送付を行い、サービス向上や利用者増に組み込まれている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートでは「よかった」とする回答が多く、親切で正確かつ丁寧な対応ができていた。	A	職員の接遇は、研修や朝礼を通して、適切に対応されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化が図られている。 適切に周知され、公平・公正な利用が確保されている。	A	
マニュアルの整備	業務マニュアル、危機管理マニュアル(防災対応、地震対応、不審者対応、緊急時対応、苦情対応)が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	各種業務研修、接遇研修、危機管理研修、衛生関連研修等が行われている。	A			
所管部署との連携・連絡	月に1回連絡調整会議を開催されている。 緊急時対応マニュアルが事務室内に掲示されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを年2回実施し、館内掲示にて結果が公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布している。ホームページでも施設利用案内が周知されている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業運営に支障がない範囲で公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	ホームページ、チラシ等で広く周知するなど、公平・公正に利用できるシステムが構築されている。	A			
業務の点検	職員会議を定期的に行い、業務の振り返りが共有されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	備品管理は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	評価対象外	—			
小規模修繕	評価対象外	—			
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適切に職員への指導が行われている。	A	個人情報保護規定を制定し、適切に対応されている。	A	
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例及び法人の個人情報保護規定に基づき、適切に業務が執行されている。	A			
適正な管理	記録媒体・個人パソコンの持ち込みを禁止し、入職時に個人情報の取扱いについて誓約書が交わされていることで、適切に管理されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託されていない。	A			
研修・教育の実施	責任者を中心に危機管理等研修に参加するとともに、適時研修が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	条例及び個人情報保護規定に基づき、ルールが整備されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	事故・苦情は特になかった。	A	安全管理に関する事故・苦情は特になかった。		A
事故の予兆に対する対応	特になし。		事故防止策の取組みについては、マニュアルを整備し、適切に対応されている。		
具体的にヒヤリ・ハットした状況	事故につながり得る事象等を予見し、適切に対応されている。				
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—	—		—
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—			—
◆ その他特記事項					
特になし。					

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>【啓発】新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、子育て家庭の不安感の解消や子育て力の向上を目指し、また虐待予防の視点を持ちながら、概ね予定通りイベントや講座を実施した。コロナ禍が収束に向かう流れの中で、家族で参加できるイベントの体制を整えた。地域のプロの音楽家との連携の「親子3世代コンサート」の再開と、新たに東京農工大学と連携して小動物とふれあう「小動物とわくわく体験」を行った。コロナ禍で自粛していた中高生ボランティアの再開もできた。</p> <p>【ひろば】感染防止対策として消毒、検温を実施、付添い1名1時間制限により安全に運営した。家族で遊べる「ファミリーひろば」を開催、グループ活動室で風船やグッドトイで遊んだ。誕生会、壁面装飾は利用者同士の接触に配慮し告知せずで開催した。リトミック、音楽会、クリスマスコンサート、お父さんと一緒にイベントなどにより利用者の育児ストレスの軽減を図った。ボランティアによる読み聞かせ講座、花壇の手入、野菜収穫を通じて地域の方と触れ合った。高松児童館、羽衣児童館の子育てひろばを巡回し、子育て推進課、子ども家庭支援センターと連携した。</p> <p>【一時預かり】新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底に努めながら運営を継続した。コロナ禍で出産をした家庭の利用が増え、初めての親子分離に対する保護者の不安感へ寄り添いながら安心して預けられる場となるよう丁寧な対応を心掛けた。繰り返し利用することで子どもだけでなく保護者との信頼関係も築け、育児や家庭の悩みを相談できる相手となった。支援が必要な子どもの受け入れも積極的におこない、活動内容や活動場所等を個々に合わせ変化させ安全な保育を実施した。保育所保育指針の最低基準に伴う受け入れ人数制限はあるが、利用希望日が満員の場合は別日の提案や短時間利用を勧めより多くの受け入れを可能とした。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>【啓発】新型コロナウイルス感染症の影響が変化する中、予防策を取りつつ、事業運営において適時柔軟な対応を図ることで、利用者の増加につながった。これにより、子育て中の保護者にとって地域における孤立化を防いだだけでなく、事業に参加したことで子育ての楽しさを知り、保護者自身の自己肯定感を高めることもでき、子育て力の向上につながったことで子育て支援啓発事業の目的を達成できたと評価する。</p> <p>【ひろば】父親利用の少なかった育児参加促進事業については、コロナ等の影響で利用者が少ない時期もあったが、根気強く毎月継続開催した。回を重ね、参加者ニーズを模索しながら内容を工夫し、昨年度比較で父親は約2倍の参加となった(R3年度のべ48人、R4年度のべ90人)。確実に子育てひろばの対象者人口は減っている事や行動制限緩和に伴う他の外出場所の増加等により利用者が減少する中で、コロナ前の8割に近い利用者の確保は、状況に応じ、迅速に工夫を重ねた結果だと思われる。</p> <p>【一時預かり】新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、感染症対策の徹底に努め、年間を通じて安定的に運営を継続し園児を受け入れたが、待機児童数の減少に伴い、前年度を若干下回る利用者数となった。療育に通う子や支援が必要な子の利用が増加していることは、最大限の受入に努めた結果によるものと評価できる。今後は、利用者数増加に向けて、より、きめ細かい利用者ニーズに対応していく方策を検討し、利用しやすいの向上につなげていくことを期待する。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、利用者数は回復傾向にある。子育て世代に人気のイベントなどの各種事業も、感染症対策を講じながら実施されている。</p> <p>事故・苦情は特になかった。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に事業を実施していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
市民活動支援業務	3	市民協働課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	仕様書の読み合わせや定期的な業務チェックにより理解度の向上及び再確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、募集要項に則り公平に利用登録を行っている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制がとられている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:359日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:正職員3人、本部よりサポート正職員1人 適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】()内は前年度比 プログラム実施数 355件(115%) 参加者数 9,439人(186%) 〔内訳〕 協働事務室 2,229人(166%) プログラム 7,210人(193%) ＜利用実績＞ 令和4年度はコロナ禍からの活動再開が目立ち、協働事務室利用や相談件数、参加者数等がすべて増加している。市民団体の活動が活発になる一方、指定管理者が実施するプログラム数は微減したものの、1回あたりの参加率が高かったため「A」とした。 ＜月別利用者数＞ 全体としてコロナ禍前の7～8割程度の回復を示しており、活動再開の支援が十分にできていると評価して「A」とした。	A		
運営企画	令和4年度はLINEやTwitter等SNSも含めて、14にのぼる多くの媒体で積極的に周知活動を行っている。 また、団体の新規登録は8団体と成果が大きかった。 コロナ禍の影響が残る中、幅広い地域団体や企業とのコラボレーションに取り組んでおり、より広い地域でのプログラム実施が展開できたことを評価して「A」とする。	A	運営企画は、感染症対策を行いながらの対面イベントや、オンラインによるイベントが適切に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:13,811,600円 (うち指定管理料13,811,600円) 支出:13,831,600円 事業収支:▲20,000円 人件費比率:73.0% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	事業収支はマイナスとなっているが、指定管理者業務全体では、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	第三者への委託は行われていない。	—			
新たな取り組みの状況	特に問題なし。 SNSについては③運営企画で評価したため省略。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適時教育が実施されており、プログラムの実施サポートや相談対応に満足しているという主旨の意見が多数寄せられている。	A	アンケートでは、プログラムの内容について、高い評価を得ている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化が図られている。	A	
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整が行われている。	A			
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートが行われ、実施団体に公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	各市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどが発行され、またホームページやSNSでも広く周知されている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出するとともに、求めに応じて閲覧できるようにされている。	A			
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録が行われている。	A			
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—		—	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	評価対象外	—			
小規模修繕	評価対象外	—			
備品管理	評価対象外	—			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程を整備し、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	適切に実施されている。各種条例等の規定に基づき業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管がされている。	A		
再委託の禁止	業務を第三者に委託されていない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程が整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	協働プログラム『〇〇わんぱーく2022』の参加団体出展ブースにおいて、鋸で木を切り出す体験を提供していたところ、子どものサポートのため木を押さえていた同行者(大人)が鋸で手を負傷する事案が発生した。翌営業日に市へ報告があり、保険を適用したことを確認した。 以降、刃物等を使用するプログラムについてはスタッフが付き添うことを確認。また、安全管理について、事業者より各実施団体へ救護に関する指導・確認を徹底するよう求め、事業実施中の事故の詳細を市で正確に知るため、事故報告書を策定し、事業者へ提出を求めることとした。	B	協働プログラムにおけるイベントで参加者が負傷する事故があり、救護体制などの安全管理について課題があった。 事後対応、再発防止策については適切に実施されている。	B
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	評価対象外	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
令和4年度はコロナ禍での活動自粛から再開し、新たな団体を立ち上げて活動をスタートする相談等協働事務室の利用が増えた。また、令和元年以来となる年2回の協働イベントを開催することができた。協働イベントの出張プログラムでは北口の商業施設事業者や自治会等の近隣の地域団体と連携できたことから、登録団体による出張プログラムが周辺地域にとって関心が高いことも伺える。令和5年度はより一層地域連携や新たな活動者の発掘などアウトリーチに取り組んでいきたい。			
施設担当課評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
令和4年度はコロナ禍からの市民活動が本格的に再開する中で、対面での参加者数や実施件数が大幅に増加している半面、オンラインプログラムの参加者がいなかったことを鑑みると、対面活動が市民活動の基本であることが明確となった。3年ぶりの活動再開の難しい局面で、新規団体8件、プログラム参加者数がほぼ倍増する等、市民活動のサポートが滞りなく行われている。周知については、様々な媒体を積極的に利用していることを高く評価した。また、年度当初に立川市より要望したとおり、地域・企業・団体等と積極的に協働を進め、子ども未来センターだけに留まらないアウトリーチを行っており、より広い地域の市民が子ども未来センターでのプログラムを認識し参加できるように工夫して実施していることも併せて評価したい。	A	市民活動が本格的に再開する中で、支援が適切に行われている。 事業計画書等に基づき、施設の目的に沿った、効果的な事業がなされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～令和6年3月31日(11年4ヶ月)	
事業名称	事業番号	事業担当課
文化芸術活動支援業務	4	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	評価対象外	—			—
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	評価対象外	—			
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外	—			
事業の継続性の担保	評価対象外	—			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	評価対象外	—	多くの講座を開催したことで、昨年度に比べて参加者数は増加している。	にぎわい創出のための文化芸術プログラムを事業計画以上に行い、事業収支はマイナスとなっているが、指定管理者業務全体では、安定した管理運営が行われている。	A
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 1,562人 (前年度比134.0%) 感染症対策を講じて開催を実施する団体が増えてきたため、前年よりも参加者数は増加。開催回数は119回で必要開催数30を上回った。	A			
運営企画	「子ども未来センター美術部」、「カッティングシートで子ども未来センターを飾っちゃおう」、「まんが絵の描き方教室」、「演劇ワークショップ」、「まんがペン入れ教室」、「ヨーヨーワークショップ」等を実施。	A			
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,600,000円、支出:8,136,700円 (うち指定管理料:6,600,000円) 事業収支:▲1,536,700円 人件費比率:41.7% にぎわい創出のため、文化事業に重点をおいており、指定管理業務に定められた数字以上の文化芸術プログラムをおこなっている。	A			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:10億円(センター全体対象の請負賠償責任保険で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	評価対象外	—			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	適切に挨拶・応対等、実施されている。	A	利用者の立場に立った接客がされている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき業務が実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化が図られている。	A	
マニュアルの整備	整備されているマニュアルに基づいて適正に実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	随時実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議が実施されている。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等が記載され連携体制が確立されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページで公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成し、配布されている。ホームページで施設利用案内、行事案内が行われている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画書・月次報告書を作成。市への提出と、求めに応じて閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築されている。	A			
業務の点検	四半期毎に実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—		—	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	評価対象外	—			
小規模修繕	評価対象外	—			
備品管理	評価対象外	—			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて、適正に職員へ指導されている。	A	個人情報保護規程を制定し、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等に基づき業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は施錠して保管されている。	A			
再委託の禁止	市へ報告せずに業務を第三者へ委託していない。	A			
研修・教育の実施	適切に実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定が整備されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制が構築され、周辺関連機関への連絡体制が整備されている。不審者対応について取り組んだ。	A	マニュアルが整備され、危機管理対応の体制も確立されている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—			—
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
新型コロナウイルス感染症がようやく収束に向かう方向で、利用者も戻りつつある。その中で文化芸術講座もバラエティに富んだプログラムを組み、開催数も増やすことができ参加者も増えた。次年度もできる限り継続していく予定。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等により影響が出ているが、感染症対策を行い、可能な限りイベントを開催し、にぎわいを創出できたことは評価できる。		A	地域の文化芸術活動拠点として認知されている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年度に比べて講座の開催数や参加者数は増加している。 事業計画書等に基づき適切に事業が実施されていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
野村不動産ライフ&スポーツ・パートナーズ共同事業体	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	公募提案書の事業計画をベースに感染予防対策を継続実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	社員を対象に仕様書、公募提案書の内容を確認し設置目的の理解を深めた。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	全ての利用者の方へ公平・公正にご利用いただくため、前例踏襲することなく、その都度最適な提案ができるよう努めている。	A		
事業の継続性の担保	複数名で業務に携わることで安定したサービス提供を行った。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日(プール臨時休館あり 16日) 開館時間:9:00～22:00 ※4月まで感染症対策として、時間短縮の実施あり 職員配置:正社員・契約社員10名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給1,100～1,250円 ※研修期間は1,080円	A	基本的事項については、感染症の影響による時間短縮等を除き、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 73,846人(126.1%) 団体利用 57,708人(173.8%) 教室利用 15,118人(309.2%) 合 計 146,672人(151.7%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響による利用時間の短縮は5月に解除され、利用者数は昨年度に比べて増加しているものの、コロナ禍以前の水準には戻っていない。	
運営企画	コロナ禍の影響を受け、個人の運動離れ、運動習慣の変化があり、運営も厳しい中で運営企画が実施されている。	A	新型コロナウイルス感染症および物価高騰の影響により、コロナ禍以前と比較して利用料金収入が大幅に減少している。また、自主事業については利用者数の回復に伴い、市への納付金も前年より増加しているが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:209,374,615円、支出:227,952,555円 (うち指定管理料:177,027,074円) 事業収支:▲18,577,940円 人件費比率:40.0% 物価高騰の影響および減収に対し、指定管理料の補てん(28,688,941円、上記指定管理料に含む)を行った。 プールの温度管理について、試験的に空調で管理を実施した(昨年は、窓開けで対応)ことで光熱水費が増加したが、収支がマイナスとなった大きな要因だったが、指定期間中の事業の継続性は確保されている。 自主事業納付金:3,248,559円	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を確保している。) 協定書に基づき、リスク分担して対応	A	適正にリスク分担して 対応されている。 利用者数の増加に合 わせて適切に感染症 対策が実施されてい る。	A
第三者への委託状況	清掃業務、プール水水質検査・簡易専用水道水 検査、電話交換設備保守点検、自家用電気工作 物保安管理、エレベータ設備保守点検、自動ドア 点検、建築設備定期検査、特定建築物定期調 査、空調機点検業務、吸収式冷温水機保守点 検、スタジオ用吸収式冷温水機保守点検、温水ボ イラー保守点検業務、プール水処理設備保守点 検、プール滅菌装置保守点検、空調用自動制御 装置保守点検、煤煙濃度測定検査、空気環境測 定業務、害虫防除及び生息調査業務、膜屋根保 守点検、電動開閉式ドーム点検、機械警備業務、 植栽管理保守業務、消防用設備保守点検、放送 設備保守点検、受水槽設備等清掃、貯湯槽清 掃、雑排水槽点検清掃、汚水槽・湧水槽点検清 掃、プール還水槽清掃	A		
新たな取り組みの状況	エアコン故障等に対し適切に対応している。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マニュアルに基づき、適切に実施されている。	A	研修やマニュアルの 活用により、接遇の向 上に努められている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	各種研修を定期的に実施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	毎月の業務調整会議の開催とともに、日常的な連 絡・調整が行われている。	A		
利用者アンケート等の 実施	日常的意見を受け付け、利用者の声を運営に生 かしている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、ホーム ページにより、適宜情報を発信されている。	A		
事業計画・報告書の公 表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開 されている。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用が確 保されている。	A		
業務の点検	チェック表を作成し日次で業務点検を行い、改善 が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	電気不具合改修VCB、VCS交換、AHU-7空調機モーター交換作業、発電機室排気ファン更新、プール天井補修工事、第一体育室カーテン交換作業、中水・井水私設メーター交換、プール女子更衣室洗面修繕、MIOXシステム 一次電源変圧装置交換、FMバルブ及び副弁交換、汚水ポンプNo.1不具合、大便器フラッシュバルブ改修(9カ所)、エレベーター部品更新作業(ロープ、パッキン)、プール点検口修繕、汚泥引抜き収集運搬作業、MIOX装置(ダイオード、コンデンサ交換)、汚水槽ポンプアップ配管引き替え作業、遊歩道グレーチング修繕、給湯循環ポンプ交換作業、スポットクーラー用コンセント増設工事、B1P-2及びB1P-8動力盤修繕、冷却塔薬注装置メンテナンス、湧水槽配管修繕、NSP・MIOX温度センサー交換、プール女子トイレ扉修繕、AHU-8モーターベアリング交換作業、1階事務室 男女トイレ換気扇更新(2台)、内線電話端子交換作業、プール内女子トイレ床下浸水箇所補修作業、プール採暖室ヒーター制御修繕、バルブ修繕(中水→上水切替)、B1F小便器不具合改修、マグネットスイッチ交換作業、給湯配管ピンホール修理、だれでもトイレフラッシュバルブ更新、マイオックス装置対応分、プールピット排風機マグネット、リレー交換作業、汚水槽配管貫通部モルタル補修、正面玄関自動扉不具合部品交換作業、石膏ボード張替え、ろ過機ポンプドレン配管補修	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日次・月次での確認が行われている。	A	個人情報マニュアルに基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行されている。	A		
適正な管理	研修により対策の徹底が図られている。	A		
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルを整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	プールの窓清掃中に委託先の清掃員がガラスを破損し営業を休止する事案が発生したが、利用者への影響は最小となるよう適切に対応された。建物、設備の老朽化等、不測の事態に対しても、適切に対応された。また、老朽化した設備で発生した火災については、早期発見、関係各所への迅速な連絡により、営業継続の判断を速やかに行われた。	A	事故・苦情等については、適切に対応されている。 事故の予兆に対する取り組みは、適切に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れがある箇所について、所管課と協議し、適切に対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	個人情報記載の書類について、フリクションの浮き出しのため冷蔵庫に入れたことを失念し、一時的に紛失する状況が発生した。紛失は一時的なもので結果として特に被害は発生しなかったが、個人情報の管理ルールの再啓蒙を行った。		マニュアルや各業務フローの作成・運用により事故防止の取り組みが行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組みが行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者との積極的なコミュニケーションが図られている。 可能な範囲で関係団体との連携に努めている。	A	地域や関係団体等との連携・協力を努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
トレーニングジム パーソナルトレーニング	安全で効果的な運動指導を受けたいとのニーズに応じて、有料のパーソナル(30/45/60分)指導を実施。延べ人数28名が受講。			
プール パーソナルレッスン	個々のニーズに合わせたレッスンを実施。お子さんから70代までの幅広い世代の方が参加。延べ人数244名が受講。			
プール キッズスイミング	より多くの方にご参加頂く為、年齢・泳力・開催日で選択いただける教室を開催。延べ人数970名が受講。			
プール 成人水泳教室	月毎もしくは日毎で申込頂ける教室を開催。延べ人数33名が受講。			
商品販売	利用者からのご意見を参考に、前指定管理者の実施していた催事を期間限定で開催。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
年度当初、利用制限が一部残る中運営。5月に全ての制限が解除されたもののコロナ禍の影響が根強く残る中での運営が続いた。利用人数・利用料金共に前年度を上回る結果となった。しかし、コロナ禍以前令和元年と比較すると8割程度の結果となった。運営面では、可能な限り立川市両体育館で同様の運営が行えるよう、泉市民体育館指定管理者とも情報共有を随時実施した。施設の維持管理に関しては、発生予防を第一に考え限られた修繕予算の中で優先順位をつけ貴市と協議の上修繕を実施いたしました。				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	5月より利用制限を撤廃し通常営業に戻したが、コロナ禍の影響により、個人の運動離れ、運動習慣の変化があり、個人利用、団体利用共に前年の水準と比較して大きく回復したものの、コロナ禍前の水準までの回復は見られなかった。 運営面においては、コロナ禍の行動制限に伴う心理面の影響が強く残るなかで、慎重に営業を行いながらも、各種教室を再開し、市民の健康増進に寄与した。 施設の維持管理面では、建物・設備が全体的に老朽化し、今後の保全のあり方などが課題となっている中、不具合・劣化箇所の緊急度、優先度を判断し、市に提案、協議しながら、適切な修繕を実施するだけでなく、営業休止への影響を最小限に抑えるよう努力した。 コロナ禍や施設老朽化で通常の管理運営が行えない特殊な状況であったが、臨機応変に対応し、大きな支障なく業務実施したと判断し、A評価とする。	A	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により年間での利用者数は低い水準にあるものの、感染症対策を取りながら利用者への利用機会や教室事業の提供に努めている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿った管理運営をおこなうため、基本理念及び基本方針を理解し、スポーツ・健康づくり活動を通じた地域づくりに貢献している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	市民の体育、スポーツ、レクリエーション、その他社会体育の普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するための「公の施設」であることを日常的に、共有し研修を実施している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	職員の継続率向上のための取り組みを各所課題に上げ、勤務体制の強化、業務の効率化、職員へのアンケートやヒアリングを実施するなど、職場環境の整備に力を入れることで、安定的な運営ができています。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 ※4月まで感染症対策として、時間短縮の実施あり 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員・その他臨時職員97名 臨時職員賃金:時給1,072円～1,528円	A	基本的事項については、感染症の影響による利用休止及び時間短縮等を除き、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 77,151人(201%) 団体利用 113,218人(259%) 教室利用 25,997人(201%) 合 計 216,366人(227%) コロナ禍の影響を受け、市民の行動様式や運動習慣が変化し、利用者離れが顕著に現れるなか、広報課と連携し、立川市の魅力をPRしつつ施設周知活動を実施したことや、多摩都市モノレール沿線誌への掲載依頼なども実施し、地域連携も図ったことを高く評価する。	S	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルスの影響による利用者離れなどにより、利用者数は昨年度からは増加しているものの、コロナ禍以前の水準には戻っていない。 提案事項は事業計画書等に基づき、適切に実施されている。	
運営企画	コロナ禍の影響を受け、個人の運動離れ、運動習慣の変化があり、運営も厳しい中で運営企画を実施した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:182,316,624円、支出:197,604,387円 (うち指定管理料:143,751,137円) 事業収支:▲15,287,763円 人件費比率:52.3% 減収に対し、指定管理料の補てん(15,287,762円、 上記指定管理料に含む)を行った。 自主事業納付金:776,687円	S	新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、 利用料金収入はコロナ禍以前の水準には 戻っていない。また、 自主事業については 再開し、前年と比較して 増加しているものの、 提案時の見込みには達していない。 適正にリスク分担して 対応されている。 人材育成に関する取 り組みが積極的に実 施されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超えてい る。) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	プール水質検査、冷温水発生機保守点検、電光 表示設備保守点検、機械警備業務、エレベーター 設備保守点検、プール滅菌装置点検、自家用電 気工作物保安管理業務、電話交換設備保守点 検、消防用設備保守点検	A		
新たな取り組みの状況	体育館を通じて、立川市の魅力発信に貢献してい ることを高く評価する。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	対応に注意が必要な利用者に関する情報を市に 報告し、適切に対応したことを高く評価する。	A	職員研修を行い職員の 接遇及びスキルの 向上が図られている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、日常研修を積極的に実施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	対応に注意を要する案件については市に個別に 報告するなど、定例報告以外も適切に対応してい る	S		
利用者アンケート等の 実施	日常的に意見を受け付け、利用者の声を運営に 生かしている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、新たに モノレール駅にも設置しており高く評価する。ホーム ページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公 表	企業の内部情報、経営ノウハウを除き、原則公開 されている。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システムにより、公平・公正な利用を確 保されている。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクル及び社内監査により改 善が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	チェックリストを作成し、適切に実施されている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕は、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	プールろ過ボールバルブ修繕、排風機モーターベアリング修繕、避難灯誘導灯修繕、屋内消火栓バルブ修繕、排煙窓修繕	A			
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	内部監査員による調査・監督が行われている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務が遂行されている。	A			
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策が講じられている。	A			
再委託の禁止	個人情報の取扱いに係る再委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護マニュアルが整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者が運動後、血圧測定中に意識を失う事案が発生したが、緊急対応は適切に対応されている。	A	事故について、適切に対応されている。 マニュアルや訓練を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	事故事例などに関して、社内連絡網にて情報共有及び、自社チェックリストにて事前リスクを減らす対応、体制がとられている。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	施設面、利用者対応面どちらも事故につながる恐れがある案件に適切に対応している。				
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者との積極的なコミュニケーションが図られている。 関係団体との連携に努めている。	A	地域や関係団体等との連携、協力に努められている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
コロナ禍の影響で、施設利用制限の解除後に集客活動を一から見直しました。個人利用者数が伸びずに、毎週利用者数や収入の動向を追い、改善対策として、周知活動と利用者サービスに力を入れました。サービスプログラムの展開や、コミュニケーションが多く取れるシステム構築、多摩モノレール沿線誌や広報たちかわへの掲載、折込チラシや周知イベントなど意欲的に活動をし、コロナ禍前の56%まで戻しました(前年比200%)。支出に関しては、物価高騰の打撃も受け、水光熱費を中心に予算との大きな乖離がみられました。エネルギー削減に重点をおき、コンセントを抜き待機電力の削減や、ろ過機ターンオーバー(回転)数、設定温度の見直し、空調のフィルター清掃など現場で出来る対策を講じ、電気使用量は休業等で使用量の少なかった令和3年度と同程度の使用量に抑えることができました。期間的な削減においては、336,626円の割引適応となりました。事業収支の改善に努力をしましたが、収入を上回る支出となりました。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
令和4年5月より利用制限を撤廃し通常営業に戻したが、コロナ禍の影響により、個人の運動離れや運動習慣の変化があり、利用者数はコロナ禍前の水準までの回復は見られなかったものの、多摩都市モノレール沿線誌や広報たちかわへの掲載、折込チラシや周知イベントなど意欲的に広報活動に取り組んだことを高く評価する。 運営面においては、コロナ禍の行動制限に伴う心理面の影響が強く残るなかで、慎重に営業を行いながらも、各種教室を再開し、市民の健康増進に寄与した。 施設の維持管理面では、保守点検等を適切に実施したことに加え、物価高騰下において、利用者から苦情を寄せられることなく、水光熱費を計画値以下に抑えて運営したことを高く評価する。 年間を通じてコロナ禍の影響が残る中、通常の管理運営が行えない特殊な状況であり、赤字収支となったが、積極的かつ臨機応変に対応したことを高く評価し、S評価とする。		S	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により年間での利用者数は低い水準にあるものの、感染症対策を取りながら利用者への利用機会や教室事業の提供に努めている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	非公募・特命	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館登録の毎年更新時における周知、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤4名、非常勤3名 常勤給与： 214,000円～/月 非常勤賃金 時給1,075円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による影響や、行動制限緩和に伴う夏休み期間中の利用減の影響等により、昨年度に比べて個人利用者数が減少している。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 16,508人(88.0%) 団体利用 1,754人(133.5%) 館外行事 64人(皆増) 合 計 18,326人(91.3%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響もあり、前年度に比べ、個人利用者は減少した。幼児と大人、小学生の利用が減少した一方、中学生と高校生の利用が増加している。	A		
運営企画	こどもの日企画・子ども実行委員企画・季節行事・地域との連携・各年代別の事業・学習支援事業の実施。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：38,711,049円(指定管理料) 支出：38,081,007円 事業収支：630,042円 人件費比率 75.8% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
第三者への委託状況	消防設備保守、館内・じゅうたん清掃、害虫駆除、 建築設備定期検査、樹木剪定、非常通報装置保 守管理	A		
新たな取り組みの状況	防災キャンプ、近隣住民との地域防災講座の実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されてい る。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務を実施さ れている。 利用者アンケートを 実施し、年度内に公表 されている。 独自ホームページに より情報提供が行わ れている。	A
マニュアルの整備	児童館業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛 生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル／保 護規定、清掃マニュアルが設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示さ れている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへ のおたより掲載、児童館独自ホームページにより情 報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行わ れている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設 の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態 を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備 し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点 検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	門扉滑車交換及び塗装の小規模修繕は適切に行 われている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情は特になかった。 事故の予兆に対する対応は適切に行われている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	館内整理日にて危険個所の確認、見守りの立ち位置の確認を行い、適切に対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	鍵を一時紛失する事案が発生した。退職職員の返却に伴い、受領した職員と担当職員間での引継ぎ確認がなされなかったことが原因であったが、本部職員による現場確認など適切な対応がなされている。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 避難訓練、乳幼児親子対象の防災講座が実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	お祭りの会議や三町青少健等へ参加し、要望等があれば情報共有し、各団体との交流に努め、貸館業務や公園の清掃等を通じ地域との関係が築かれている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加している。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和4年度の大型行事は、人数制限を設け規模を縮小して実施した。毎月行った各種行事も同様である。日々安全を担保し、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組んだ。</p> <p>施設管理については正門門扉の経年劣化による脱輪が起きた為、緊急で門扉滑車交換及び塗装修繕をした。また、館内1階遊戯室については鏡下巾木の保護クッション材の交換や、遊戯室サッシ網戸張替えを適宜行なった。空調設備及び換気扇のフィルター清掃や、屋上ルーフドレインの落ち葉除去等清掃と環境保全・安全管理に務めた。</p>			
施設担当課評価			2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら開館を続け、利用者数は減少した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。</p> <p>また、様々な行事やイベントを通し、地域との連携も着実に強化されていることは、地域から信頼されていることの証でもある。地域との会議にて意見交流を図る機会を設け、3年ぶりに地域懇談会を開催するなど積極的に地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立することにも繋がる。今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、適切に館の運営を継続することができた。</p> <p>館の管理・運営だけでなく、積極的に地域行事や関係機関との連携も行っており、地域における児童館の役割が認知されている。</p> <p>仕様書等に基づき管理・運営状況は適切であると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	非公募・特命	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3名、非常勤6名 常勤給与: 214,000円～/月 非常勤賃金: 時給1,075円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 12,660人(100.0%) 団体利用 322人(285.0%) 館外行事 53人(皆増) 合 計 13,035人(102.1%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、利用者は増加した。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、昨年度に比べて団体利用を中心に利用者数が増加している。	
運営企画	新一年生歓迎会、こどもの日企画、地域との連携行事、他児童館との合同行事、自然体験事業、季節行事・子ども実行委員は実施。 宿泊行事は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。	A	一部中止となった事業もあるが、子どもに人気の多様な運営企画が実施された。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	
事業収支 経営状況分析指標	収入: 37,741,369円(指定管理料) 支出: 37,530,908円 事業収支: 210,461円 人件費比率 76.9% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
第三者への委託状況	定期清掃、害虫駆除、絨毯クリーニング、非常通 報装置	A			
新たな取り組みの状況	やってみ隊(6年生対象に意見・発案を取り入れた 事業)取り組み、多世代交流による体験教室は実 施。 多文化共生へ向けた取り組み、たちかわ自然たん けん遠足は感染症拡大防止のため中止。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されてい る。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。 利用者アンケートを实 施し、年度内に公表さ れている。 児童館ホームページ を活用し情報提供が 行われている。	A	
マニュアルの整備	児童館マニュアル、危機管理マニュアル、個人情 報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マ ニュアル等が設置されている。 定期的なマニュアルの確認を行っている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示さ れている。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへ のおたより掲載、児童館独自ホームページにより情 報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A			
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行わ れている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設 の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態 を保つことができている。 施設周辺の美化も積極的に行っている。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。 小規模修繕について は、適切に行われて いる。	A	
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備 し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点 検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	各所不良による小規模修繕は適切に行われてい る。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認されている。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等はなかった。 事故の予兆に対して、適切に対応されている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	集会室出入口の飛び出しによる衝突事故防止のための見守り立ち位置及び声掛けの確認を行い、適切に対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施している。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	高松町・曙町青少健等への参加、高松会館、学習館との連携、高松商店街や自治連と情報共有や連携が図られている。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>コロナ禍の中にあったが、昨年度よりも利用者数は増えている。館内では感染予防に努めながら、密を避ける工夫を行った。小学生と同様に、子育てひろばも利用者が以前の水準に戻りつつある。行事については、よりたくさん子ども達に楽しんでもらえるように、少人数で回数を増やすなどして定例行事だけでなく、大型行事にも取り組んだ。地域の取り組みも少しずつ再開し、子連祭りや学習館文化祭には児童館からの出展も行った。また、3年ぶりに地域交流会も対面にて行うことができた。経年劣化より、遊戯室棚に段差が生じた為修繕を行った。それに伴い、遊戯室での遊び方を利用者と共に検討し、より過ごし易い環境となるよう配慮を行った。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら開館を続け様々なイベントに取り組み、ランドセル来館を中心に利用者数は増加した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染対策を怠ることなく運営していることは、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。利用者とは対話する機会を設けて、積極的な行事に取り組んでいる。</p> <p>また、様々な行事やイベントを通し、地元自治会や商店街、関連機関との連携も着実に強化されていることは、地域から信頼されていることの証でもある。</p> <p>地域との会議にて意見交流を図る機会を設け、3年ぶりに地域交流会を開催するなど、地域との連携を強化していることは、地域との深い信頼関係につながる。今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施されなかった取り組みもあったが、利用者である子どもの意見や意向を聞き入れ、ニーズに合った行事を実施され、利用者増につながっている。</p> <p>地域団体や商店街と連携した事業により、地域に根付いた活動を実施している。</p> <p>事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
<p>評価理由等：</p> <p>平成25年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した若葉児童館は、令和4年度で指定管理期間通算で10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の若葉学童保育所でも土曜日の延長保育を継続実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。</p> <p>児童館及び学童保育所ともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
若葉児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤3名、非常勤7名 常勤給与：214,000円～月 非常勤賃金：時給1,075円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 16,258人(98.0%) 団体利用 90人(39.8%) 館外行事 543人(194.6%) 合 計 16,891人(98.8%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、一般利用者は減少した。小学生の利用が減少したが、中高生及び大人の利用が増加している。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による影響や利用団体の解散等により、昨年度に比べて、団体利用者数が大きく減少しているが、個人利用者数についてはほぼ前年並みだった。	
運営企画	新入生・保護者向け事業、運動の楽しさに触れる行事、学習支援事業、多様な文化に触れる行事、障がい者交流事業、乳幼児向け行事の充実、中高生事業の充実、地域との連携、地域行事の参加、子どもと作る行事	A	事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:53,498,617円(指定管理料) 支出:53,498,617円 事業収支: 0円 人件費比率:78.7% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
第三者への委託状況	消防設備保守・点検、定期清掃、害虫駆除、非常 通報装置、樹木せん定、建築設備定期検査、特定 建築物定期検査、カーテンクリーニング	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されてい る。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。 利用者アンケートを実 施し、年度内に公表 されている。 独自ホームページに より情報提供が行わ れている。	A	
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マ ニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マ ニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置さ れている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A			
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示さ れている。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへ のおたより掲載、児童館独自ホームページにより情 報が発信されている。	A			
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A			
業務の点検	責任者により業務点検を適宜実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設 の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態 を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。 小規模修繕について は、適切に行われて いる。	A	
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備 し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点 検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	玄関ドア、フロアヒンジ交換、館庭北側扉修繕、工 作室ガス給湯器交換、幼児室非常照明器具交換 の小規模修繕は適切に行われている。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	・館庭遊び中の子どもの声について近隣住民からの意見があったが、丁寧な対応されている。 ・保護者から提出されたランドセル来館利用申請書類について、市への提出を怠った事案があった。5月16日～11月8日の期間放置してしまった(その間の利用はなかった)。保護者との確認・対応のほか、書類提出後から子ども育成課への提出手順の見直しを早急に行うなど対応を見せた。	B	市への申請書類提出漏れ事案があった。事案判明後の対応については、適切な対応と再発防止策がとられている。 また、近隣住民からの苦情等に対し、適切な対応が行われている。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	B	
事故の予兆に対する対応	日々の会議や月1回の職員会議でトラブル対策の検討などを行い、見守り強化や連携に努めている。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	若葉青少健への参加等、常に地域との連携が図られている。 小学校下校時の見守り、夕焼けチャイム時の見守りが実施されている。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>利用者の安全確保、安心して過ごせる居場所作りと豊かな経験をする機会作りに努めた。小学校との距離が離れたことで、自転車移動が可能な高学年の利用が多くなり、児童館を経由して行動範囲を広げている様子もあった。近隣の学校に通う高校生の利用により小学生との交流が生まれたり、小学生と幼児の関わりがあったりして、児童館ならではの異年齢交流が日常的に見られた。保護者から預かった申請書類の提出漏れ事故を起こしてしまった。保護者への事情説明と謝罪をし、同時に書類の取り扱い、管理、提出方法について現場全体で見直しを行い再発防止に全力で努めている。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら開館を続け、利用者数は減少した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルやクレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>保護者からの申請書類の市への提出漏れ事案があったが、事案判明後の対応と再発防止策が講じられている。</p> <p>遊びのなかでの児童の怪我は、突発的・偶発的に起こることも多く、管理の徹底が難しい中、職員間の報連相を徹底し再発防止に努めるなど積極的な改善を進めている。</p> <p>また、地域との会議にて意見交流を図る機会を設け、3年ぶりに地域懇談会を開催するなど、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、利用者数は前年度と同程度であった。</p> <p>市への書類提出漏れの事案があったが、発生後の対応等は適切に実施されている。</p> <p>地域及び関係機関との連携による事業が定着しており、成果を上げている。</p> <p>事業計画書等に基づき、管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
若葉学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数： 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3人、非常勤3人 常勤給与：214,000円/月 非常勤賃金：時給1,075円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 40人 延べ利用人数 5,648人(84.0%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあり、利用人数は前年度と比較して減少している。	A		
運営企画	伝承遊び、水遊び・縁日遊び、お誕生日会(毎月)、工作、おたのしみランチ、ゲーム大会、体力測定WEEK	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (若葉児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備・保守点検、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置、樹木剪定、建築設備定期検査、特定建築物定期検査、カーテンクリーニング 児童館と一体的に実施	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A			
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保されている。	A			
業務の点検	法人内部監査を実施し、適宜行っている。	A			
(4) 施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。 施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができています。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	特になし。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回し、確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等は特になかった。	A
事故の予兆に対する対応	日々の会議や月1回の職員会議でトラブル対策の検討などを行い、見守り強化や連携に努めている。		事故の予兆に対する対応は適切に行われている。	
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	特になし。		マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に事故防止のための取り組みが行われている。毎月避難訓練が実施されている。			
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	学校や地域住民との連携が児童館と行われている。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事業が中止となった。	A	適切に地域との連携は図られている。	A
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
コロナ禍での生活も3年目になり、相変わらず表情が読み取りづらいと思う日々が続いた。手が出るなど、相手に危害を加えるような行動は減ったものの、言葉での攻撃が目立つ児童が増えた。言葉も相手を傷つけてしまうことがある、ということは何度も伝えたり、個人面談を実施して話を聞いたりする等、保護者と相談や共有をしながら対応した。また、体力測定WEEK、昔遊び月間では、児童同士が互いに高め合うような声掛けが多くなったことにより、遊びの中でのトラブルが減少したと感じる。今後は、肯定的な発言が出るよう促したり、互いを認め合えるようなきっかけとなる行事を実施したりして、温かい雰囲気の学童にしていくよう努める。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めて運営されているが、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。 また、重い症状の加配児童の保育に際し、大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は、評価に値する。 画一的ではない在籍児童一人ひとりの特性に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。		A	児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを生かしつつ、感染症対策を講じながら運営されている。 児童の状況把握に努めつつ、事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成25年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した西砂児童館は、令和4年度で指定管理期間通算で10年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。

また、併設の松中学童保育所では、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んでいる。

児童館及び学童保育所とともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
西砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項が確認されている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A			
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤3名、非常勤6名 常勤給与：214,000円～247,000/月 非常勤賃金：時給1,075円～/時間 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、昨年度に比べて個人利用を中心に利用者数が増加している。 感染症対策を講じながらさまざまな運営企画を実施し、多数の参加があった。	A	
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 17,247人(122.6%) 団体利用 212人(114.6%) 館外行事 405人(107.1%) 合 計 17,864人(122.2%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、一般利用者、館外活動による利用者は増加した。	A			
運営企画	地域との連携、地域施設等との連携、季節行事(地域との連携・子ども実行委員)、被災地復興支援事業、自然に触れる体験事業、福祉サービス向上の取り組み(父親育児支援を含む長期的・広角的な乳幼児保護者支援)、学習支援地域との連携の実施	A			
事業収支 経営状況分析指標	収入：59,855,021円(指定管理料) 支出：59,855,021円 事業収支： 0円 人件費比率：78.9% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	床清掃、窓ガラス清掃、樹木剪定、害虫駆除、空調設備点検・保守管理、消防設備保守・点検、建築設備定期検査、特殊建築物設備定期検査、非常通報装置保守点検、カーテンクリーニング	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への職員の対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供が行われている。	A
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページにより情報が発信されている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	責任者により業務点検を適宜実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	館内多目的トイレ入口自動ドアエンジン装置交換修繕、事務室および談話室内蛍光灯安定器修繕、館外西側非常階段下扉修繕等の小規模修繕、空調設備給水管破損修繕は適切に行われている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員への徹底と定期的な責任者の確認が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・近隣住民の苦情に、適切に対応した。	A	近隣住民からの苦情については適切に対応されている。 事故は特になかった。 マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	毎日の開館作業時をはじめ、随時危険箇所の有無を確認し管理を行っている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会(書面開催)、地運協、青少健定例会、にしっこ、近隣自治会などと情報共有や連携が図られている。貸館業務を実施。地域アンテナショップ『にっこサロン』立ち上げ協力及び実行委員ミーティング参加。小学校下校時の見守り。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。			
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。			

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>少しづつ以前の日常に近づいてきた印象の1年で、特に、利用生徒を通じて都立武蔵村山高校の書道部による協力が得られ、新たな地域連携の形が構築できたのは、嬉しい成果ととらえている。また、不登校の児童生徒の受け入れや、配慮の必要な児童生徒についての情報共有など、様々な機関と連携しながら、子どもたちにとって心地よい居場所を目指して運営を続けてきた。施設管理としては、小規模修繕が少し進んだものの、落雷や低温の影響による故障も相次いだ。利用者への影響が最小限で済んだのは救いである。また、子どもの声や音などで地域からご意見をいただいたり、不審者案件に繋がりがかねない事象もあったが、そのたびに地域自治会の協力を頂き、住宅地に於ける子育て施設の共存について互いに考える機会に繋がったと考える。今後も運営の質を高め、拠点施設として子どもたちが伸び伸びと過ごす環境が保証されるには何が必要なのかを意識していく。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら開館を続け、利用者数は増加した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故等なく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>拡充型放課後子ども教室(くるプレ)を松中小学校に導入し、ランドセル来館利用児童が減少したにもかかわらず、利用者数が増加していることは素晴らしい。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染症対策を怠ることなく運営していることは、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。地域との会議にて意見交流を図る機会のある場として、3年ぶりに地域交流会を開催し、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。幅広い課題を抱える中、関連機関と連携することで、今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあったが、昨年度に比べて増加している。</p> <p>事故はなく、苦情にも適切に対応されており、安全管理について適切に実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市松中学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
松中学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿った運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数： 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3人、非常勤3人 常勤給与：214,000円～247,000/月 非常勤賃金：時給1,075円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 13,156人(99.7%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあったが、前年度と登所人数は横ばいである。	A		
運営企画	工作週間、誕生会、クリスマス会、合同避難訓練、お楽しみランチ、褒めらレター、親子遠足、にしなまつなかサンセットフェスタの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(西砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	親子遠足事業の実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A			
事業計画・報告書の公表	年間事業計画が利用者に配布されている。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用が確保されている。	A			
業務の点検	職員会議で全体の課題確認が実施されるとともに、責任者による業務点検が実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。 施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	西砂児童館にて一括して実施。	—			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	児童が登所中に負傷する事案が発生した。登所中、登所ルート外で遊ぶ中での出来事であった。事案発生後は負傷に対しての処置と保護者への連絡など適切な対応と、児童への登所ルート順守の再指導などが実施されている。	A	児童の登所中の登所ルート外の怪我であったが、発生後の児童・保護者への対応や再発防止策は適切に実施されている。		A
事故の予兆に対する対応	適切に対応されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。		
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。学期ごとに避難訓練が実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、地域学習館運営協議会への参加、西砂青少健等と情報が共有されている。児童下校時の通学路見守り協力が実施されている。	A	日常的に地域との連携が図られている。		A
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
<p>令和4年度は、児童70名中38名が新1年生、さらに加配児童も4名という、例年以上に気の抜けない状況での保育となった。様々な背景で、配慮の必要な行動を示す児童も多かったが、複合施設の強みを生かし、学童・児童館の職員全員体制で見守りを継続した。そのような中でも、定例行事に加え、長年の悲願であった学童親子遠足を実施することが出来た。元々5年前に、当時在籍していた保護者からの何気ない一言から、実現に向けて調整を重ねてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で館外事業の制限が続き、ようやく令和4年度末に実現させた。</p> <p>今後も子育て現場の原点を見失わず、子どもたちにとって安心安全な場所であることを最優先に運営を続けていきたい。</p>					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、登所人数は横ばいである。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。 また、加配児童の保育に際し、大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いた過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は評価に値する。 画一的ではない在籍児童一人ひとりの特性に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。		A	児童館と合同行事を実施するなど併設のメリットを生かしながら運営されている。 児童の安全管理に関する事項について、事後の対応や再発防止策は適切に実施されている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営は行われていると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
<p>評価理由等：</p> <p>平成26年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した羽衣児童館は、令和4年度で指定管理期間通算で9年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行ってきた。</p> <p>また、併設の羽衣学童保育所でも、特に配慮を必要とする児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んできた。</p> <p>児童館及び学童保育所とともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
羽衣児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤3人、非常勤7人 常勤給与：214,000円～/月 非常勤賃金： 時給1,075円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 14,001人(108.9%) 団体利用 77人(45.3%) 館外行事 68人 合 計 14,146人(108.6%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、一般利用者は増加した。	A	新型コロナウイルス感染症による影響と団体利用の減少はあるものの、昨年度に比べて個人利用を中心に利用者数が増加している。 保護者や地域と連携した運営企画を実施し、地域に定着している。	
運営企画	子どもスタッフ事業、季節行事地域連携、体力増進活動児童館連携企画、季節行事、地域連携事業、体力増進活動。 地域連携事業は、中止。	A	事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:57,486,369円(指定管理料) 支出:57,184,450円 事業収支:296,919円 人件費比率:79.9% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:3億円(仕様書の水準を維持) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	定期清掃、窓ガラス清掃、エアコンフィルター清 掃、樹木せん定、害虫駆除、消防設備保守・点検、 カーテンクリーニング、非常通報装置保守、建築設 備定期検査	A		
新たな取り組みの状況	体力増進活動の実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されてい る。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアルを整 備し、マニュアルに 沿って業務が実施さ れている。 利用者アンケートを実 施し、年度内に公表さ れている。 独自ホームページに より情報提供が行わ れている。	A
マニュアルの整備	児童館・学童保育所業務マニュアル、危機管理マ ニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マ ニュアル／保護規定、清掃マニュアル等が設置さ れている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	相談を含めた連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示さ れている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへ のおたより掲載、児童館独自ホームページにより情 報が発信されている。	A		
事業計画・報告書の公 表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行わ れている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設 の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態 を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画 書・協定書に基づき適 切に実施されている。 小規模修繕について は、適切に行われて いる。	A
施設及び設備の保守・ 点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備 し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点 検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	特になし。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する事案や苦情等は、特になかった。	A	
事故の予兆に対する対応	館内整理日などで、点検を行っている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	ガラス片散乱時に、談話室内のモップ掛け、掃除機清掃、かつ目視で破片有無を確認し、安全を確保した。		事故防止への取り組みが行われている。		
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 定期的な避難訓練も実施している。	A	マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域定例会議へ参加、地域関係者との情報共有の実施、学習支援事業「めだかのがっこう」の実施、近隣学校での授業の実施、地域イベントでの準備・片付けなどにより、地域や関係機関との連携が進められている。近隣学校での授業も開催。	A	地域住民および関係機関との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
R4年度は一年を通して高学年の利用が多かったため、どの学年も楽しめるように低学年だけで遊べる時間を設けたり、参加学年の配分を考える等の調整を心掛けた。3年ぶりの地域懇親会(対面)を実施。今回は活動報告と情報共有を重点に置き、参加された方からも「児童館・学童の様子を知れて良かった」とお言葉を頂いた。施設管理では昨年度修繕した談話室倉庫は雨漏れすることが無かったが、館外の整備をすることが多かった。隣接する家と児童館との間に木が生えており、夏に伐採作業や児童館にしばらく放置されていた自転車の撤去作業を行った。羽衣児童館が住宅街の中にあり近隣と密接している為、雑草・騒音等に注意を払いながら運営・管理をした。			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら開館を続け、利用者数は増加した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>遊戯室ではどの学年の児童も楽しめる場としての活動の場を設定し、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。さらに、地域との会議にて意見交流を図る地域懇親会を3年ぶりに開催し、児童館及び学童保育所の様子を地域の方に知って頂き、地域との信頼関係を深めることにつながっている。今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、利用者数は前年度より増加した。</p> <p>地域や保護者と協力したさまざまな行事が展開され、地域への貢献度も高い。</p> <p>事業計画書に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
羽衣学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿った運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開所日数： 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置： 常勤3人、非常勤4人 常勤給与：214,000円～/月 非常勤賃金： 時給1,075円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。 適正にリスク分担して対応されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 9,443人(97.9%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあったが、土曜日利用は若干増加している。	A		
運営企画	新入生歓迎会、誕生会、スポーツ大会、工作週間、読み聞かせ会、クリスマス会、おたのしみランチ	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(羽衣児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	A	
第三者への委託状況	定期清掃、樹木せん定、害虫駆除、消防設備保守・点検、カーテンクリーニング、非常通報装置保守、建築設備定期検査 児童館と一体的に実施。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3) サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	児童館/学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A			
事業計画・報告書の公表	年間事業計画が利用者に配布されている。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正な利用が確保されている。	A			
業務の点検	職員会議で全体の課題確認が実施されるとともに、責任者による業務点検が実施されている。	A			
(4) 施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	市と協議し、学童保育室南側の壁を修繕	A			
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A			
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報の保護が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等は特になかった。	A
事故の予兆に対する対応	日々の点検を行っている。		事故の予兆に対する対応は適切に行われている。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 また、学期ごとの訓練が実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携が図られている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
コロナ禍の影響により、心に不安を抱えている保護者や、精神的に不安定な状況と見られるご家庭が増えてきた。気楽に相談できる人や場所がないため、情報を持っている学童保育所に小学校の問題までも相談を求めてくるケースが多くなった。専門性を必要とする案件については子ども家庭支援センターに繋いで対応した。そのためこれまで以上に職員間の情報共有を行い、子どもと保護者の気持ちに向き合っていく姿勢を心掛けた。児童たちにとって安全で楽しく過ごせる環境づくりを目指し、保護者は安心して預けられる居場所を目指して運営した。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、登所人数は若干減少している。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。 また大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は評価に値する。 画一的ではない在籍児童一人ひとりの特性に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。		A	児童館との併設の強みを生かしながらさまざまな行事が展開されている。 事業計画書に基づき、安定した運営がされていると判断しA評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した富士見児童館は、令和4年度で指定管理期間9年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、安定的な児童館運営を行った。また、併設の南富士見学童保育所でも、多くの児童を保育しながらも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

児童館及び学童保育所ともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。

評価ランク

S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
富士見児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤4人、非常勤5人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金： 時給1,072円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 10,941人(103.2%) 団体利用 333人(237.9%) 館外行事 436人(458.9%) 合 計 11,710人(108.1%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、一般利用者は増加した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、昨年度に比べて利用者数が増加している。 毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。	
運営企画	入学・進級企画、折紙・工作企画、季節行事「おいでなさい」、季節行事保護者連携事業、季節行事地域保護者連携事業、他児童館との合同行事、季節行事「スノーパーティー」、歴史・伝承遊び体験、地域交流会の実施	A	事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入：52,446,043円(指定管理料) 【学童保育所職員 627,000円(処遇改善臨時特例補助金)】 支出：52,446,043円 事業収支：0円 人件費比率:80.7% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額:10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、消防設 備保守・点検、建築設備定期検査、緑地管理業 務、清掃業務、非常通報装置保守・学校110番保 守	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応、ポロシャツを着用、名札必携 などの身だしなみについても清潔に心掛けて、適 切に実施されている。 利用案内、おたよりを用いて館内案内を行い、利 用方法等を丁寧に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用 者への対応は、適切 に行われている。 業務マニュアル等を 整備し、マニュアルに 沿って業務を実施して いる。 利用者アンケートを実 施し、年度内に公表さ れている。 独自ホームページに より情報提供を行って いる。	A
マニュアルの整備	児童館／学童保育所マニュアル、業務マニユアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載をしている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がなされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	屋上設置のエアコン室外機修理、その他における施設の小規模修繕は適切に行われている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報 が適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報 が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故等は特になかった。 事故の予兆に対する対応は適切に行われている。 危機管理担当の責任者を設定し、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	事故・怪我につながる恐れのある行動を認識し、児童への指導が行われている。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	事故・怪我につながる恐れのある行動を認識し、児童への指導及び対策が行われている。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 一年間に避難訓練3回、エビペン研修1回実施している。不審者対応対策も行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	積極的に地域や関係会議へ参加しており、地域住民や関係機関との連携が図られている。また、新生小・1小開催の放課後子ども教室へ出張児童館を行っている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携が図られている。	A	
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>今年度は中盤より感染予防対策により中止となっていた各種イベントが条件付きで再開できるようになった。コロナ禍で行動制限を余儀なくされていた利用者の遊びの場としての役割を十分に果たせたと思う。また、「地域交流会」も今年度は開催することができ、貴重な意見や参考となる助言をもらうことができた。今後も可能な限り地域の会合やイベントに参加して連携を行っていく。</p> <p>施設管理に関してはマニュアルを基に施設長中心に全職員共通認識の下、常に保全に努めることができた。特に子供が触れるであろうと考えられる箇所は実際に職員間で見分し触れ、すべての事態(転倒・打撲・擦過傷等)を想定し事故防止に努めた。また、施設内機器に関しても、トラブルの予兆(機械表示、音等)を全職員共通認識し、状況確認を円滑に行えるようにし、不具合が出た場合にできる限り早く修復するように努めた。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら開館を続け、多様な運営企画を実施することで、利用者数は増加した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされていたと言える。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染症対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。児童館の施設点検のほか、職員間でも情報共有を行い、修繕等を日々行っている。</p> <p>また、地域との会議にて意見交流を図る機会を3年ぶりに設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、利用者数は前年度より増加した。</p> <p>地域のイベント等に積極的に参加し、地域との関係を構築するための取組が行われた。</p> <p>事業計画書等に基づき管理・運営は適切に行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市南富士見学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
南富士見学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用が図られている。	A			
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開所日数： 293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤3人、非常勤3人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給 1,072円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われている。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	A	
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 40人 延べ利用人数 7,836人(115.8%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあるが、前年度よりも登所人数は増加した。	A			
運営企画	オリエンテーション、夏遊び、お楽しみ会、避難訓練、進級お祝い会、児童館行事への参加、合同行事の実施、子ども会議、工作ウィーク、スポーツレク、誕生日会	A			
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (富士見児童館にて一括して評価)	—			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	評価対象外 (富士見児童館にて一括して評価)	—			
新たな取り組みの状況	感染症対策を講じながら、新たな事業に取り組んでいる。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	社内事務接客研修等に参加し、接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A		
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保されている。	A		
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができています。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A		
小規模修繕	学童保育室の壁、コンセントを補修	A		
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A		
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	社内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	児童が階段で転び、負傷するという事案が発生した。発生後は、速やかに児童への応急処置・保護者への連絡等対応を実施したほか、階段での再発防止策も適切に行われている。	A	突発的な事故にも臨機応変に対応されている。また、事後の対応も適切に行われている。	A
事故の予兆に対する対応	危険のある箇所の事故防止対策のほか、破損している玩具の撤去等の対応がとられている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	館庭でのルール決めとその確認、換気のためのサーキュレーターへの注意喚起をし、速やかな対応がなされている。			
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。 防災への意識付け、避難訓練を実施している。	A	マニュアルや研修・会議を通じて事故防止対策の取り組みが行われている。	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携が図られている。	A	地域や関係機関との連携が図られている。	A
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、児童館と協力しながら感染予防を徹底した。令和4年度も富士見児童館としてのクラスター発生はなかった。学童の生活では、令和3年度のみんが楽しい学童という目標を継続しつつ、子どもの主体性を育てることを意識して取り組んだ。令和4年度から、班活動を取り入れ、班ごとに毎月行っている行事の立案をし、当日の運営までを出来るだけ児童が主体となって行えるよう、職員のフォローも入れながら実施した。班活動を重ねるにつれて、協力して行えるようになり、児童同士のコミュニケーションが取れて、児童だけで行えることも徐々にだが増えた。また、掲示物やホワイトボード等を駆使して、一日のスケジュールの中で、自分がどのように動けばよいか、視覚から入るよう工夫した。その甲斐があつてか、令和3年度に比べ職員に聞かずとも児童自身で考え行動できることが増えた。児童の自主性が伸び、成長を感じられた。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、登所人数は増加している。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。 大きな怪我や事故もなく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は、評価に値する。 画一的ではない、在籍児童のに合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。		A	児童館との併設の強みを生かしながら、さまざまな行事が行われた。 事業計画書等に基づき、適切に運営されていると判断しA評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	錦児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した錦児童館は、令和4年度で指定管理期間8年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して利用者や学童保育所保護者、地域関係団体からの苦情やクレームもなく、安定的な児童館運営を行った。また、併設の錦学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。

児童館及び学童保育所とともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。

評価ランク

S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
錦児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤4人、非常勤5人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金： 時給1,072円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 13,719人(105.0%) 団体利用 164人(46.2%) 館外行事 228人(247.8%) 合 計 14,111人(104.4%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあるが、前年度に比べ、一般利用者は増加した。	A	新型コロナウイルス感染症による影響と団体利用の減少はあるものの、昨年度に比べて個人利用を中心に利用者数が増加している。	
運営企画	入学・進級企画、こどもの日企画、子ども会議、季節行事、学習館地域合同行事、地域との協力活動は実施。	A	事業計画のうち、台風の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入：50,096,187円(指定管理料) 支出：50,167,231円 事業収支：▲71,044円 人件費比率：81.1% 指定管理料の中で適正に事業が執行されている。 物価高騰の影響を受け、指定管理料の補てん (147,000円、上記指定管理料に含む)を行った。	A	物価高騰の影響を受け、指定管理料の補てんを行ったが、事業収支はマイナスとなっている。指定期間中の事業の継続性は担保されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、消防設備保守・点検、建築設備定期検査、清掃業務、非常通報装置保守	A		
新たな取り組みの状況	新たなイベントとして、カラオケ・ビンゴ大会を実施。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応、ポロシャツを着用、名札必携などの身だしなみについても清潔に心掛けて、適切に実施されている。 利用案内、おたよりを用いて館内案内を行い、利用方法等を丁寧に対応されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 利用者アンケートを実施し、年度内に公表されている。 独自ホームページにより情報提供を行っている。	A
マニュアルの整備	児童館／学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載をしている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A		
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができる。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A		
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A		
小規模修繕	煙感知器交換について施設の小規模修繕は適切に行われている。	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	職員が蹴ったボールと一緒に遊んでいた児童に当たる事案が発生した。眼鏡を破損してしまい、保護者より弁償を求められた。偶発的な出来事であり、速やかに患部のアイシングや保護者との対応を行った。	A	職員による偶発的な事故の発生はあったが、事後対応は適切に行われている。 事故防止対策については、日々のミーティングで情報が共有されている。	A	
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れのある危険行為を未然に防ぐための注意喚起が行われている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	声掛けを行い、注意啓発に努めている。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 一年間に避難訓練等3回実施している。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	積極的に地域の行事や関係会議へ参加しており、地域住民や関係機関との連携が図られている。また近隣の小学校の放課後子ども教室への出張児童館を行っている。	A	地域の行事や会議等への出席により地域との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>指定管理3年目は、児童や保護者、地域の皆様に愛される児童館を目指し活動してきた。コロナ禍での行事の開催方法を職員全体で考え、季節行事（ハロウィン・大まんぼうまつり・クリスマス・お正月遊び等）においては、同時に集まる人数を制限し、上限を設けて、参加したい時間帯の希望に合わせて実施した。時間に余裕を持たせることで3密を避けるようにした。地域の方々との交流は青少健、錦学習館運営協議会、はねきんネット、支援ネット、子どもの居場所懇談会等で連携を取り、子どもたちを見守ってきた。</p> <p>また、定期的な施設点検を行い、異常のあった総合防災受信機、煙感知器は市と協議・調整して、修繕を行い、安心できる施設管理体制を整えてきた。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を講じながら開館を続け、利用者数は増加した。多くの子どもが来館する中、利用者間の大きなトラブルやクレームもなく児童館運営が出来たことは、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。</p> <p>事業者の振り返りにもあるが、感染症対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。地域との会議にて意見交流を図る機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、利用者数は前年度より増加した。</p> <p>毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
錦学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用が図られている。	A			
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開所日数：293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤4人、非常勤4人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,072円～/時間 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 事業計画は感染症対策を行いながら適切に実施された。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 11,652人(90.6%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあり、前年度よりも登所人数は減少した。	A			
運営企画	入所歓迎会、工作週間、誕生日会、避難訓練、まんぼう縁日、秋のスポーツ祭り、クリスマス会、こま検定、進級お祝い会など児童館各種行事へも参加、合同行事へも参加	A			
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外（錦児童館にて一括して評価）	—			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	評価対象外（錦児童館にて一括して評価）	—			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	社内事務接遇研修等に参加し、接客対応ともに、適切に実施されている。	A	利用者に対しては、丁寧に対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。	A	
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A			
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保がなされている。	A			
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができる。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	A			
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認している。	A	個人情報に関するルールは、研修やマニュアルに基づき、適切に取り扱われている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	会社内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者の児童が、別の児童の指を誤って踏んでしまい骨折するという事案が発生した。突発的な事案であったが、発生後は児童と保護者へ適切な対応がされている。	A	突発的な事故があったが、事後の対応については適切に行われている。 事故防止対策については、日々のミーティングで情報が共有されている。	A
事故の予兆に対する対応	職員間での情報共有がなされている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	・児童と保護者へ適切な対応をしている。 ・速やかな対応となっている。			
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に事故防止のための取り組みが行われている。 避難訓練は、毎月実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携が図られている。	A	地域住民や関係機関との連携は図られている。	A
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
学校・クラス・学年などを超えたコミュニティづくりを目指し、喜怒哀楽を共にできる仲間づくりに力を入れた。職員との関わりも含め、安心安全な場の提供を踏まえ運営に務めた。年上の児童は年下の児童の面倒を見てあげたり、年下の児童は年上の児童に教えてもらったり、模倣をしたりする中で、それぞれに合った役割や振る舞い方を身につけながら、成長している姿が見られた1年となった。生活や遊び、イベント等を通じてこの目標は達成できたと言える。また、遊びでは児童自ら遊びが提案できるよう、書き込み式のスケジュールを導入したり、職員との交流をできる限り増やしたりして、遊びの幅を広げることができた。課題としては、コーナー遊びを設置し、各スペースをとっても密になりやすく、かつ雨天時や真夏日・悪天候など、館庭が使用できない場合は生活の場が学童室中心となるため、利用人数に対しての場の確保や遊びの工夫を考えていきたいと思う。				
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、登所人数は増加している。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。児童間での負傷事案も発生したが、発生後は適切に対処されている。 学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は、評価に値する。 画一的ではない在籍児童一人ひとりの特性に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。 また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。		A	児童館との併設のメリットや比較的近隣に 関係機関があることの強みを生かして行事が実施されている。児童間の負傷事案についても適切に対処されている。 事業計画書等に基づき適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（令和4年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	上砂第三学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
<p>評価理由等：</p> <p>平成27年度より児童館と併設学童保育所とを一体で指定管理者制度を導入した上砂児童館は、令和4年度で指定管理期間8年目を迎えたが、地域に根差した児童館という立川市が求めた児童館像に添い、児童館事業の充実や地域との連携等にも積極的に取り組み、日曜開館、利用時間の延長も継続的に実施し、一年を通して利用者や学童保育所保護者、地域関係団体からの苦情やクレームもなく、安定的な児童館運営を行った。また、併設の上砂第三学童保育所でも、土曜日の延長保育を継続実施し、安定した運営に取り組んだ。</p> <p>児童館及び学童保育所とともに、新型コロナウイルス感染症に対して、市と協力して感染拡大防止に努め、積極的に子どもたちの安全を守り、子どもたちの居場所確保に尽力された。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂児童館運営管理	1	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	施設の設置目的に沿い、事業計画を基に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項が確認されている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化が図られている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数： 333日 開館時間： 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置： 常勤4人、非常勤2人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金： 時給1,072円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、感染症の影響を除き、適正に実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 個人利用 19,515人(98.6%) 団体利用 29人(1450.0%) 館外行事 334人(201.2%) 合 計 19,878人(99.5%) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事への人数制限の影響はあり、前年度に比べ、若干一般利用者は減少した。	A	行事の人数制限の影響により、昨年度に比べて利用数は若干減少している。 毎年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。	
運営企画	年の恒例行事に加え、地域との連携企画等、多様な運営企画が実施されている。 感染症の感染防止対策のため中止とした事業もあった。	A	事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入：49,372,904円(指定管理料) 支出：50,417,971円 事業収支：▲1,045,067円 人件費比率：89.4% 適正に事業執行されている。 イベント開催や夜間の人員強化など、職員の配置状況を見直した結果、人件費が増加し、収支はマイナスとなっているが、事業の継続性は確保されている。	A	人件費増に伴い事業収支はマイナスとなっているが、指定期間中の事業の継続性は担保されている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：10億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	非常通報装置点検・保守、空調設備保守、リサイクル資源回収	A			
新たな取り組みの状況	新たなイベントとして映画鑑賞イベントを実施した。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施されている。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアル等を整備し、それに沿って業務が実施されている。 利用者アンケートを実施し、年度内に結果が公表されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A	
マニュアルの整備	児童館／学童保育所マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、子どもの虐待防止マニュアル等が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果が館内に掲示されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載をしている。	A			
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A			
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるように環境整備がされている。	A			
業務の点検	法人内部監査が実施され、適宜業務点検が行われている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施されている。施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができている。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。施設及び設備保守・点検は適切に行われている。	A			
保安・警備	施設の保安・警備は適切に行われている。	A			
小規模修繕	授乳室等網戸を取り付ける。	A			
備品管理	備品台帳により適切に管理されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、事業本部、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫で管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	館内会議時の確認及び法人内研修の実施、法人外部会議・研修への参加。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	・一部利用者の行動について、子ども育成課への報告、児童館運営協議会の開催と報告が行われている。また、必要に応じて地域住民・警察とも連携した対応がなされている。 ・市からのメールが迷惑メールフォルダに振り分けられる事案が発生した。メールソフト内での自動処理のため、原因は不明だが、市との連絡を密にとり対応した。 ・職員退職時の引継不足により、防火管理者の解任・選任届の提出が遅延する事案が発生した。防火管理者である職員退職時の引継ぎに不足があった。発生後速やかに手続きを行い、再発防止策として、異動等により引継ぎの際には、遅滞なく行うように求めた。	B	安全管理は、職員退職時の引継不足により、防火管理者の解任・選任届の提出遅延が発生した。 一部利用者の行動については市・地域住民・警察と連携し、適切に対応されている。 事故防止の取組みについては、チェック表の活用や研修が実施されている。	B	
事故の予兆に対する対応	事故につながる恐れのある行為を確認し、注意を促す。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	すべての項目において、適切な取り組みがなされている。 月1回防災訓練、年2回総合防災訓練を行っている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	児童館運営協議会の開催及び、関係機関や団体の会議、地域の防犯・防災講習会へ積極的に参加している。	A	地域住民や関係機関との連携は図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、「ドッジボール大会」を開催。				
他館との合同事業	各児童館及び西立川児童会館との合同開催事業として、2年に一度開催している「児童館フェスティバル」を開催。				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響下にあり児童館の行事に制限ある中、参加人数等を工夫しながら実施した。運営協議会との交流にも制限があり、委員には児童館のお便り等紙媒体を毎月届け児童館の様子を伝え続けた。上砂児童館の課題である、中高校生の非行への対応として、対話を重ね、対象の中高生にボランティア活動として「みんなの児童館」の運営に協力してもらい、その活動を表彰する、といった取り組みを実施した。施設管理は小規模修繕を適宜実施し、清潔感ある施設の維持につとめた。また、職員への意向調査を通し職場環境と安定的運営の整備につとめた。今後も児童たちが安全・安心に過ごせる「居場所と出番」づくりを推進していきたい。			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら開館を続けた。多くの子どもが来館する中、一部利用者において喫煙をするなどの案件が続いている。併設学童保育所利用者からは心配する声もあり、現在も様子を見ているところである。この案件以外においては、大きなトラブルや事故、クレームもなく児童館運営が出来たことが、子ども達の安全で安心な居場所としてしっかりと安全管理がなされている。感染対策を怠ることなく運営していることが、利用する子どもたちにとって安心できる居場所になっている。また、行事やイベントの一部では、コロナ禍で中止となったが、地域との会議にて意見交流を図る機会を設け、地域との連携を強化していることは、地域との信頼関係が確立されていることの証でもある。</p> <p>今後もその関係性の維持、発展に努め、地域の子育て拠点としての児童館、地域の一員としての児童館、地域に根差した児童館となるようより一層の改善改革に取り組んでもらいたい。</p> <p>引継ぎ上の不備もあり、防火管理者の届出を失念していた事案であったが、発覚後、速やかに防火管理者講習を受講する等立川消防署との対応をしっかりと行い、その後火災訓練も実施するなど、迅速な対応を行っている。このような事態とならないよう改めて尽力してもらいたい。</p>	A	<p>行事の人数制限の影響により、昨年度に比べて利用数は若干減少している。</p> <p>地域のための児童館として、役割が認知されており、地域との協力体制が構築されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂第三学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社明日葉	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
事業名称	事業番号	事業担当課
上砂第三学童保育所運営管理	2	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、施設の設置目的に沿って運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議などで共通認識が高められている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	入所説明会、保護者懇談会等において「学童のしおり」をもとに、利用者の公平・公正な利用が図られている。	A			
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開所日数：293日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開所時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤4人、非常勤1人 常勤給与：186,000円～/月 非常勤賃金：時給1,072円～ 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 併設の児童館と連携しながら、さまざまな行事が行われた。 事業計画のうち、感染症の影響で一部事業が行われなかったが、それ以外は感染症対策を行いながら適切に実施された。	A	
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 12,335人(102.8%) 新型コロナウイルス感染症による登所自粛もあるが、前年度よりも登所人数は増加した。	A			
運営企画	歓迎会、七夕制作、お楽しみランチ、お楽しみ工作、伝承遊び、お別れ会、お誕生日会、お話会	A			
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：5億円(仕様書の水準を超えている) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—			
新たな取り組みの状況	特になし。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	社内事務接客研修等に参加し、接客対応ともに、適切に実施されている。	A	利用者に対しては、丁寧に 対応されている。 業務マニュアル等を整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正に運営されている。 利用案内の発行・独自ホームページの活用により、情報提供が行われている。	A	
マニュアルの整備	危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、業務マニュアル、学童保育所の職務手引書が設置されている。	A			
研修・教育の実施状況	社内研修、外部研修への参加が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制が整備されている。	A			
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—			
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内が設置されている。 市ホームページで情報が提供されている。	A			
事業計画・報告書の公表	児童館事務室に常設している。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保がなされている。	A			
業務の点検	セルフモニタリングで、適宜実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。 施設の管理・清掃は適切に行われており、清潔な状態を保つことができています。	A	マニュアル・事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施されている。	A			
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	学童保育室電源破損修理、木製物品のとげ刺され除去	A			
備品管理	備品台帳により適正に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報に適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部及びエリアマネージャーが巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	鍵付き書庫で管理、PCデータはパスワードで管理されている。	A			
再委託の禁止	請け負わせていない。	A			
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認している。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	アレルギー対応が必要な児童に、原材料ではないが製造ラインでアレルゲンが使われているおやつを提供し、食べてしまう事案が発生しており、安全管理に課題があった。発生後の対応は速やかに行われている。また、再発防止のためマニュアルの再確認とダブルチェックを徹底することとしている。	B	原材料ではないが、製造ラインでアレルゲンが使われているおやつを提供する事案が発生しており、安全管理に課題があった。その後の対応と再発防止策は、適切に実施されている。	B
事故の予兆に対する対応	物品や施設の不具合について、事故や怪我につながる前に適切に対応されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		事故防止の取組については、チェック表の活用や研修を実施している。	
事故防止対策の取り組み状況	責任者、担当を中心に防止のための取り組みが行われている。避難訓練等実施されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、情報交換を行いながら、地域住民や関係機関との連携が図られている。	A	地域や関係機関との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>感染症対策で数年の間自粛傾向にあった行事を徐々に再開。年度末には児童館行事にも人数制限を設けつつも参加。子どもたちは児童館との交流に積極的に参加した。</p> <p>子ども達も感染症対策を理解し、消毒やマスク着用などをお互いに声を掛け合い協力した。マスクの取扱いに伴い、保護者や児童からの問い合わせが多くあったが行政からの指示に基づき対応し、子どもたちもルールを守りマスク着用を続けることが出来た。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、登所人数は増加している。保育室内は密な状況となり、おやつなどの飲食を伴う状況の中、感染への恐怖と闘いながらの学童保育所指導員のモチベーション維持と保育に対する姿勢は評価に値する。</p> <p>アレルギー対応での事案はあったが、その後の対応は速やかに実施された。また、それ以外には大きな怪我等なく一年を終えることができたのは、学童保育所指導員の見守り体制の工夫や入念な情報共有と連携、保護者との情報共有と支援、落ち着いて過ごせる環境づくりの賜物であり、普段からの絶え間のない努力は、評価に値する。</p> <p>画一的ではない在籍児童一人ひとりの特性に合った保育は、結果として子どもたち自身の成長を促し、安定的な学童保育所運営の基礎とも言えるので、今後も努力を継続していただきたい。</p> <p>また、児童館と連携した行事など、様々な取り組みも実施されており、安全な居場所と環境作りを職員一同が心がけ、学童保育所を利用する保護者とも信頼関係・協力関係を築けていることも評価できる。</p>		A	<p>安全管理上の課題はあったが、その後の対応と再発防止策については適切に実施されている。</p> <p>児童館との併設のメリットを生かしながら、行事が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場条例等に基づき、適正に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透が図られている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員等の退職・異動には十分な引継期間を設けるとともに、引き継ぎ後もサポートの取れる体制が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:365日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、管理・市営葬儀従事会員16名、経理2名、受付5名、清掃3名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員(配分金) 時給1,075円～1,350円	A	基本的事項については、事業計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 斎場利用件数:327件(109.4%) 市営葬儀利用件数:287件(123.2%) 1階式場:貸出数271回(111.1%) 2階和室:貸出数52回(106.1%) 霊安室:貸出数911回(127.2%)	A	前年度に比べ市営葬儀利用件数や霊安室などの貸出数は増加しており、収入増につながった。	
運営企画	市民マップへ紹介記事を記載(2.2万枚) 市民便利帳へ紹介記事を掲載 市営葬儀説明会、施設見学の実施(12回) 市営葬儀個別説明会の実施(20回) 出張市営葬儀説明会の実施(4回) 自治会への市営葬儀説明会(1回) 市営葬儀説明チラシの市内全戸配布(1回)	A	事業計画に基づき、市営葬儀説明会など利用者の獲得に向けた取組が行われている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:99,707,119円、支出97,984,382円 (うち指定管理料24,000,000円) 事業収支:1,722,737円 人件費比率:34.15% 外部委託費比率:3.21%	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	施設警備、消防設備保守、定期清掃、コピー機保 守、ゴミ収集、広告掲載、文書処理、施設検査	A		
新たな取り組みの状況	スマートフォンを利用した打合せの実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結 果となっている。	A	朝礼等を通して、接遇 に関する確認を行っ ており、アンケート結 果においても、職員 の対応は良好である。 業務マニュアルを整 備し、それに沿って 業務が実施されてい る。 利用は申し込みの先 着順としており、公 平・公正に運営され ている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに 基づき、適切に対応されている。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導が行われて いる。	A		
所管部署との連携・連 絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・ 調整が行われている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能と なっている。	A		
利用者アンケート等の 実施	利用者アンケートを実施し、施設内にて掲示・公表 されている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを発行するとともに、センターホーム ページ等で周知されている。	A		
事業計画・報告書の公 表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を 事務所に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順とし、公平・公正な利用 が確保されている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて、適正に実施されている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、 常に衛生的な状態となっている。	A	マニュアル等も整備さ れており、事業計画 書・協定書に基づき、 清掃や施設、設備の 保守点検が適切に実 施されている。 小規模修繕について は、適切に行われて いる。簡易な修繕は、 随時対応されている。	A
施設及び設備の保守・ 点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に 基づき適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	手引霊柩車バッテリー交換修繕、正面出入口自動 ドア修繕、式場室内機オーバーホール、男子トイレ 小便器改修工事	A		
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施されている。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行されている。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事業係において管理している。	A		
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定し、適正に管理されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関する苦情等は、特になかった。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制が確立されている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>令和4年度の斎場利用件数は327件となり前年度より28件増加しました。利用内容におきましては市営葬儀利用件数・1階式場・2階和室・霊安室のいずれの利用も増加しておりコロナ禍前を超える利用件数となりました。</p> <p>収入では、管理代行収入・葬祭用品売払収入・葬祭関連商品収入のいずれも増収となりました。支出では人件費・光熱水費等の増加はありましたが、設備・備品等の大きな不具合等がなく修繕費等が抑えられたことに加え諸経費削減に取り組んだため、最終の収支は1,722,737円のプラスとなりました。</p> <p>令和5年度におきましても市営葬儀の事業運営は厳しいものと考えられますが、市民へのより一層の周知・サービス向上を行うとともに効率的な管理運営に努めてまいります。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>葬儀業界全体として、葬儀規模の縮小・家族葬や直葬の増加といった動きが継続しており、民間葬儀業者間での安価な家族葬プランによる件数獲得競争が起きている。</p> <p>こうした状況に対応するために、現地(斎場)や各地の学習館等における「市営葬儀説明会」の開催に加え、個別説明会の開催回数を増やす等の取り組み、市内全戸に対する市営葬儀のチラシ配布等により、民間葬儀社と同等の葬儀を安価に行うことができる市営葬儀のメリットを積極的に継続的にPRし、利用促進に努めている点は評価できる。実際に、令和4年度に関しては、市営葬儀利用件数や霊安室利用日数が増加しており、霊安室で数日待機した上で市営葬儀を利用するというケースが増えており、説明会やチラシ配布等の取り組みの成果が出始めていると考えられる。引き続き、説明会への参加者数増に向けて、より一層の工夫等を期待する。</p> <p>施設・設備については老朽化が進んでおり、定期的な点検や適宜の修繕等を行いながら使用している状況であるが、日々の適切な業務執行により安全性への対応が図られている。</p> <p>高齢者数は年々増加しており、斎場利用に対する市民ニーズが高いこと、利用者アンケートにおいて「とてもよかった」「よかった」「とても満足」「満足」の割合が9割程度となっており、価格・接遇両面において市民の福祉サービスとして非常に高い指示を得ていることから、より一層の周知に取り組むことやさらなる効率的な施設管理運営に向けて様々な検討をし、対応してくれることを期待する。</p> <p>このような厳しい状況において、指定管理者としてサービス向上に努め、それを高齢者の就業援助・高齢者の能力を生かした地域社会づくりに繋げていることを評価し、A評価とする。</p>	A	<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による影響や、近年の葬儀の簡素化などの流れから、施設の運営には厳しい状況ではあるが、適正な管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に提案内容が実施され、サービス水準が確保されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 立川市社会福祉協議会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項の理解が図られている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期が設定されている。	A		
事業の継続性の担保	複数名の職員を配置し、業務の共有が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	【センター管理業務】 開所日数:293日 開所時間:8:30～19:00 常勤職員(嘱託)1名、非常勤職員1名 非常勤:時給1,041円(4月～9月) 時給1,072円(10月～3月) 【生活介護支援事業所】 開所日数:239日(知的障害者) 238日(身体障害者) 開所時間:9:00～15:30 正規5名、嘱託11名 非常勤11名:時給1,080円 【高齢者デイサービス事業】 開所日数:242日 開所時間:9:15～16:30 正規1名、嘱託2名 非常勤8名:時給1,080円(介護職) 時給1,600円(看護師)	A	基本的事項については、計画通り適切に実施されている。 職員配置については、事業の運営状況に合わせた配置となっている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	【センター管理業務】()内は対前年度比 延べ利用者数:17,163名(113.2%) 生活介護支援事業所 【知的障害者デイサービス】()内は対前年度比 延べ利用者数:4,734名(91.2%) 【身体障害者デイサービス】()内は対前年度比 延べ利用者数:4,164名(86.8%) 【高齢者デイサービス事業】()内は対前年度比 延べ利用者数:5,296名(104.8%)	A	新型コロナウイルスによる休所等の影響により、生活介護支援事業については前年を下回った。それ以外のサービスにおいては、概ね昨年度以上の利用実績が確保されている。 運営企画は、利用者やその家族のニーズに応え、感染対策を講じたながら実施している。	
運営企画	生活介護支援事業所 【知的障害者デイサービス】 プール活動、臨床美術、季節行事、避難訓練 【身体障害者デイサービス】 理学療法、作業療法、臨床美術、季節行事、避難訓練 【高齢者デイサービス事業】 体操、書道、音楽、散歩・外気浴、敬老会、クリスマス会、忘年会、新年会、作品展、出前サービス利用、富士見町文化祭作品展	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	【センター管理業務】 収入: 76,394,134円 (うち指定管理料76,394,000円) 支出: 76,394,134円 事業収支: ±0円 物価高騰の影響を受け、指定管理料の補てん (6,955,000円、上記指定管理料に含む)を行った。 【生活介護支援事業所】 収入: 129,436,464円 支出: 125,968,258円 事業収支: 3,468,206円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 【高齢者デイサービス事業】 収入: 47,291,209円 支出: 54,532,515円 事業収支: ▲7,241,306円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 利用者増に伴う人件費の増加等の影響によりマイ ナスとなっているが、指定管理期間中の事業の継 続性は確保されている。	A	センター管理運營業 務は物価高騰の影響 を受け指定管理料の 補填を行い、収支は ±0となっている。 高齢者デイサービス は、利用者増に伴う人 件費の増加等の影響 によりマイナスとなっ ているが、指定管理 期間中の事業の継続 性は確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	事業活動包括保険 支払限度額: 1事故3億円 保険期間中の上限なし 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	プール運營業務、警備業務、自家用電気工作物 保安管理業務、プール可動式床システム保守点 検、消防用設備保守点検、防火設備定期点検、発 電設備保守点検、設備管理業務および建築物環 境衛生管理業務、エレベーター保守点検、自動ド ア保守点検業務、清掃業務、送水管防食装置保 守点検業務、中央監視盤保守点検、建築設備定 期検査業務、特定建築物定期調査業務、除草作 業業務、給排水衛生設備清掃及び産業廃棄物収 集運搬業務、産業廃棄物(汚泥)処理業務、産業 廃棄物(廃プラ・金属)処理業務、一般廃棄物(可 燃ごみ)処理業務、プール等受付業務、運営一般 管理、送迎運行業務、電話交換機設備保守	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応するととも に、職員ミーティングにおいて共有されている。	A	アンケートにおいて、 職員の評価も高く、接 遇に関しては、良好に 行われている。 各種法令を遵守する とともに、関係組織に 加盟し研修等に参加 されている。	A
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時 館内点検・手順マニュアル、介護職員業務マニ ュアルを整備し、適切に対応されている。	A		
研修・教育の実施状況	年4回全体研修を実施。別途、階層別、業務別研 修を実施。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行わ れている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡 する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回実施し、公表されている。	A	利用者アンケートを年 1回実施し、結果が公 表されている。	
広報・PR等の利用情報 の提供	パンフレットを発行するとともに、ホームページにも 施設案内・事業所を事業ごとに掲載されている。	A	施設利用についての 広報・情報提供は適 切に実施されている。	
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書が公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正に利用 できるようになされている。	A		
業務の点検	常に業務の点検がされている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、緊急性や優先度を判断しつつ、迅速な対応が図られている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	ごみ置き場鍵交換、ボイラー室雑排水槽 排水ポンプ交換、2階相談コーナー天井 雨漏り屋上防水修繕、プールろ過ポンプ修繕、プールろ過塩素注入ホース交換、1階身障者用男性トイレ 便座パッキン(リング)交換、ファンルーム泡消火設備 呼水槽ボールタップ交換、プールHX-1系統温水出口3方弁リンケージ交換、泡消火設備・自動火災報知設備・誘導灯設備 交換・試験調整費、1階静養室・2階高齢デイ ブラインド交換(新規取付)、機械入浴室 防水型コンセント修繕、掲示板LEDランプ交換、外部照明器具交換、コスモス コンセント増設、フロアコンセント取替、フロアコンセント現場調査費、美和ロック交換取付工事 非常口扉(地下駐車場、1階南東)鍵修繕、高齢デイ手すり、Wi-Fi取付修繕、ヘルパー相談室サッシ修繕、1階女性トイレの洗面台配管 排水トラップ交換、ファンルーム 中水給水ポンプ圧力タンク修繕、ファンルーム 雑排水配管交換修繕、ファンルーム 雑排水ポンプ交換修繕、ファンルーム スプリンクラー設備呼水槽修繕、ファンルーム 雑用水加圧給水ポンプ制御盤内部品修繕	A		
備品管理	適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程が制定され、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行われていない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程が周知されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者が個室トイレ内で転倒する事案が発生した。その後の利用者・家族への対応は適切に実施されている。 また、より迅速な対応のための運用見直し及び職員全員に対する注意喚起等を行った。	A	個室トイレ内での転倒事故であったが、発見後速やかに対応されている。また、不測事態にもより迅速に対応できるよう運用も変更されている。 ヒヤリ・ハット事例は職員間で共有し、事故防止に努めている。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」の会議での読み上げや閲覧等により、職員間で共有されている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	投薬が必要な利用者に対する対応、椅子が空くまでの間の利用者の待機状況の確認等について、職員間で共有し、事故の未然防止に生かされている。			
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、立川市及び関係機関との連絡体制を整備している。 避難訓練については、全館で年2回実施。生活介護支援事業所にて月1回(2班に分かれて)実施、高齢者デイサービスでは年4回実施している。	A	災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的の実施し、体制が構築されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として施設を有効に活用するとともに、地域での懇談会などを実施し、地域課題を把握し運営に生かされている。	A	積極的に地域や関係機関との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、利用制限等を実施したため、コロナ禍以前に比べると利用者数は減少しているが、前年度に比べると貸館の利用等は利用者数が増加した。法令等を遵守し、概ね実施計画に基づき管理・運営を行うことができています。</p> <p>総合福祉センターの館内利用は、ボランティアや市民活動、介護、権利擁護、生活困窮等、多様な市民の来所相談が多い。また、市内障害者団体や市民グループの会合、介護支援専門員等の各種研修会や連絡会、市内関係機関が集まる地域ケア会議等において、幅広く地域福祉推進のために利用されている。</p> <p>設備の不具合については、その都度指定管理者として対応可能範囲の修繕を行った。</p> <p>今後も市民にとって快適に利用できる総合福祉センターとなるよう、館内設備の改善やホスピタリティあふれる対応に取り組んでいきたい。</p>				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>施設の維持管理については、各種マニュアルを整備し日々適切な業務執行を行っている。施設の老朽化に伴い設備等の不具合が多く発生しているが、小規模修繕についてはその都度実施し安全性を担保しており、適切な対応がとられている。</p> <p>身体・知的障害者デイサービス及び高齢者デイサービスについては、昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動の一部がやむを得ず中止になった。さらに、身体・知的障害者デイサービスについてはそれぞれ数日間閉所となったり、濃厚接触による欠席者も多く出たが、感染防止対策を徹底してのサービス提供やイベントの実施等、利用者や家族のニーズに応える活動を実施しており、障害者や高齢者が地域で安心した生活が送れることに寄与している。</p> <p>高齢者デイサービスに関しては、事業収支がなかなか改善できない状況が続いている。新規利用者獲得のための活動等もあり、前年度比で利用者数が大きく増加しているが、課題や要因の分析を行った上で、引き続き改善に向けた対応をとっていくことを期待する。</p> <p>利用者アンケートでは、施設等の利用しやすさや職員の接遇について良好な結果が出ており、また事故後の再発防止策やヒヤリ・ハット等を職員間で共有するなど、利用者の安全確保や安心な利用を心掛けている点は評価できる。</p> <p>全体としては、地域における社会福祉の推進を図るという社会福祉協議会の役割を生かした良好な施設管理運営がなされ、地域等との連携がとられていることから、A評価とする。</p>		A	<p>利用者ニーズ等に応え、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら多くの運営企画が実施されている。</p> <p>施設トイレ内で事故が発生した。安全管理に課題があったとはいえないが、発生後の対応や再発防止の取り組みは適切に実施されている。</p> <p>積極的に福祉体験などに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。</p> <p>事業計画書等に基づき、管理運営及びサービス提供が実施されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当たっては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	新任・現任全職員を対象にした勉強会の開催、新任職員を対象にした研修の実施、業務チェックシートを活用した業務の質の担保等が行われている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護(含介護予防):301日 認知症対応型通所介護:301日 営業時間：8:30～17:30 (サービス提供時間 9:30～16:45) 職員配置:23人(※正規3人、契約社員21人) ※一般通所と認知症対応型で兼務あり 時給：介護職 1,075～1,120円 看護師・准看護師 1,450～1,750円 理学療法士・作業療法士 2,020円 (新型コロナウイルス感染症の影響で7日間休業した以外は、計画通り適正に実施されている。)	A	基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。 新型コロナウイルスの影響もあり、認知症対応型通所介護利用者数は昨年よりも減少したが、一般型通所介護利用者数は回復傾向にあり、全体の利用者数は前年と比較して増加した。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業提案書等に基づき、四季折々の行事を企画・実施し、利用者から好評が得られている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防):5,917人(112.8%) 認知症対応型通所介護:2,837人(89.7%) 一般型の利用実績は前年度を上回ったが、認知症型については前年度を下回ってしまった。全体としては継続的に高い稼働率を確保することができた。	A		
運営企画	充分な感染症対策を講じ、工夫をしながら、例年通りお花見、長寿お祝い会、作品展覧会、初詣を実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:102,905,472円、支出:94,663,482円 事業収支:8,241,990円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:76.63% 認知症対応型通所介護の利用実績は前年度を下回ったが、利用実績全体では前年を上回っており、事業収支は安定している。	A	一般型通所介護・認知症対応型通所介護はともに一定の利用稼働率を維持しており、事業収支は安定している。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:5,000万円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応されている。 アンケートでは、利用者・家族の方々全員から「満足」「まずまず満足」と評価されている。	A	多様な業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が公表されている。	A	
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどが整備されている。	A			
研修・教育の実施状況	感染症対策を実施しながら、工夫して職場内研修が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告が行われている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施されている。	A			
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、利用者・家族へ発行している「柏だより」にて結果が報告されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学時等に渡しての説明やHPで公表もされている。	A			
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置されている。	A			
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスが提供されている。	A			
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	感染症予防マニュアルにより施設内にエリアを定め日々の清掃業務の中で消毒が行われている。環境美化担当職員が定められている。	A		感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒が行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき適切に保守点検が行われている。	A			
保安・警備	保管箱を設置し、鍵が管理されている。夜間は委託により機械警備を行い適切に実施されている。	A			
小規模修繕	浴室やトイレなど修繕を行い、施設を適切に維持した。	A	小規模修繕については、適切に実施されている。		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業が実施されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人が監督をしている。	A		個人情報に関する取り扱いは、法人で定められた「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されており、年に1度の職員研修も実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	市個人情報保護条例を遵守し、日々の業務が遂行されている。	A			
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	年1回の研修会が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	自立歩行できる利用者が椅子の脚につまずいて転倒する事案、椅子から立ち上がった際に尻もちをつく事案が発生した。両事案とも早急に看護師による身体状況を確認を行い異常ないとのことで大事には至らなかった。再発防止として、椅子を明るく目立つ色のものに変更するなどの対応を行った。	A		施設内で利用者が転倒及び尻もち事案が発生しているが、転倒後の処置や再発防止策は適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。送迎ドライバーによる「送迎連絡会」を実施し、送迎における事故を防止する取り組みを行っている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	状況を分析し、事故の発生を未然に防ぐために対策を講じている。				
事故防止対策の取り組み状況	「ホームの手引き」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止の取り組みが行われている。年3回の防災訓練が実施されている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域包括支援センター等と関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。地域住民から緊急要請があった際の職員派遣、認知症高齢者の徘徊対応、障がい者への対応など、地域貢献を行うなど地域住民との信頼関係を構築していることを評価する。	A	地域の自治会・地域包括支援センター等との連携を行い、地域のニーズに応えている。		A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>柏地域福祉サービスセンターは、要支援・要介護の認定を受けた方、市のチェックシートの基準を満たした方などを対象に、通所介護サービス・認知症対応型通所介護サービスを提供する施設で、「社会福祉法人至誠学舎立川」が指定管理者として管理・運営を実施している。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い大変な1年間であったが、特に7月下旬に利用者6名、職員6名が新型コロナウイルス陽性となり、7/25(月)～8/1(月)昨年度に引き続きデイサービスを営業休止せざるを得ない状況となったことは大きな出来事であった。幸いそれ以上の利用者や職員への感染は無かったため8/2(火)より営業再開できたが、クラスター発生事例を実際に経験したことで、その後より質の高い感染症対策を実施することができた。</p> <p>利用者人数については、新型コロナウイルス感染症による休業があったものの、利用控えはあまり見られず、一般通所介護稼働率は年間平均71.59%と昨年比7.01ポイントプラスと利用者数を増やすことができた。また認知症対応型通所介護稼働率は体調を崩される方も多く、年間平均78.54%と昨年比7.77ポイントダウンと稼働を下げてしまったが、継続的に高い稼働率を確保することができた。稼働率の維持を達成できた要因としては、コロナ禍が長引く中、家に閉じこもることや生じる下肢筋力低下等のリスクが顕在化し、利用控えが一昨年と比べると減ったこと等が挙げられる。法令順守については、東京都集団指導、立川市通所サービス事業者連絡会への参加等を通じて、介護保険制度へ適切に対応する取り組みを行ってきた。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>デイサービスは、要介護者等が外出して人と関わる機会を提供することにより、様々な活動やレクリエーションなどを通じて生活の不活発を防止し、リハビリに取組む場を提供することで、日常生活の中で生活リズムを整える役割を持つ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大変な中での事業運営であり、休業があったにもかかわらず、感染症対策をしっかりと実施し、質の高いリハビリテーションを提供し、入浴支援を継続したことは、利用者の満足度を良好に保っている。</p> <p>認知症対応型通所介護事業所は、体調を崩される方が多く、前年比ダウンとなってしまうが、ゲーム形式の取り組みを取り入れるなどし、その中でそれぞれの利用者が活躍される場があり、利用者からは「楽しかった」、また家族からも好評の声をいただいている。</p> <p>地域貢献活動も関係機関の連絡会や研修に出席した上、地域住民からの緊急要請があった際に職員の派遣を行うなど地域及び地域住民との連携を行ったことは高く評価できる。</p> <p>施設管理についても職員が定期的に清掃活動やマニュアルに基づいた設備保守を行っており、適切に実施されている。以上のことから総合評価をAとする。</p>		A	<p>コロナ禍においても各サービスの利用稼働率は堅調に推移しており、安定した事業運営が行われている。</p> <p>四季折々のイベントや利用者のニーズに合わせた行事が展開されている。</p> <p>施設内で利用者が転倒する事案が発生しているが、転倒後の対応や再発防止の取り組みが適切に行われている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に事業が運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置目的に沿い、概ね計画通り適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性が説明されている。第三者評価機関監査を実施し、目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげられている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるよう、居宅事業所との連携が緊密に図られている。	A		
事業の継続性の担保	業務平準化が図られるようマニュアルの作成と更新がされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般型通所介護(含介護予防 258日) 認知症対応型通所介護 309日 営業期間:8:30～18:00(サービス提供時間:9:00～17:00) 職員配置:21名(正規:4名 契約:17名) 時給:介護職 1,087～1,155円 介護福祉士 1,124～1,164円 看護師・准看護師 1,791～1,820円 その他職員 1,041～1,072円 障害者雇用での自立訓練対象 一部の期間について、専任の機能訓練指導員を配置することができなかったが、それ以外の期間は適切に運営することができた。	B	専任の機能訓練指導員を配置できなかった期間が一部あった。それ以外の基本的事項については、事業計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	B
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防)7,013人(95.2%) 認知症対応型通所介護:1,681人(84.9%) 利用者数合計:8,694人(93.0%) 新型コロナウイルス感染の影響があるなか、利用者数を維持できているのは、十分な感染症対策をはじめとする取り組みによるものである。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は一般型、認知症型ともに前年比で減少してはいるが、利用者数は維持できている。 行事は感染拡大防止に取組ながら、季節にあった行事を企画・実施されている。	
運営企画	新型コロナウイルス感染症の影響下であったが、社会情勢に合わせ適切に対処したものと評価する。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:99,589,651円、支出:99,589,651円 事業収支:0円(利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:77.19%	A	安定的な運営が確保されている。	B	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	損害賠償保険 支払い限度額:5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草が適切に実施されている。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者、来所者への挨拶がされている。言葉使いに配慮し、マナー全般においては概ね公表である。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 セミナーやミーティングを通じ、教育等が意欲的に実施されている。 利用者アンケートを年1回実施し、施設内掲示・ホームページ掲載等により結果が公表されている。 第三者評価制度を実施し、業務の改善に取り組まれている。	A	
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査が実施され、適宜見直しながら実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	セミナーな研修会を実施し、それを職員へ周知するための勉強会やミーティング時に教育が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整されている。	A			
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを年1回実施し、施設内掲示・ホームページ掲載等により結果が公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙の発行、パンフレットやホームページによる情報提供が行われている	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表されている	A			
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者が受付られている。	A			
業務の点検	第三者評価制度を実施し、改善の取り組みが行われている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	清掃等の年間計画に基づき実施されている。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営が行われている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施されている。	A			
保安・警備	機械警備の機器を適切に保守管理している。定位置での鍵を保管し、鍵保持者はチェック表で管理されているまた、毎日チェック表で施錠等の保安点検が行われている。	A			
小規模修繕	各所を修繕し、施設を適切に維持した。	A			
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。備品は良好な状態が保持されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	法人の個人情報管理規程により、各部署責任者を明確化し指揮・監督が行われている。	A	市個人情報保護条例を準用し適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知が行われている。	A	
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」が準用されている。	A			
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	法人学習会にて、再確認がされている。また、新人には入社時に研修が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者を送迎者で送迎中に外からスライドドアを閉めた際に痛いという声が聞こえる事案が発生。職員が車両内からドアを閉めるべきところ、後続車がクラクションを鳴らしたことで慌ててしまった結果、外から閉めたことで発生しており、安全管理に課題があった。事案発生後、外傷は認められなかったが、利用者の経過観察と家族への連絡等適切な対応を実施し、また再発防止策として送迎マニュアル順守の職員への徹底と、マニュアルへの追記等対応が行われている。	B	送迎中の事案については、マニュアルどおりではない対応の結果、発生した事案であり、安全管理に課題があったが、その後の対応は適切に実施されている。 日常的な事故防止への取り組みは行われている。 マニュアルを通じて事故防止対策に取り組まれている。	B	
事故の予兆に対する対応	インシデント、アクシデント報告書を作成し、法人本部にてリスク会議で確認して、課題検討するとともに全職員で情報共有され事故報告されている。2週間後の改善策の振り返りも行いながら再発防止が図られている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制が確立されている。年1回のセンター全体での避難訓練、自営消防訓練にそった毎月の訓練が実施されている。また、利用者とともに炊き出し訓練が実施されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	地域住民のボランティアや団体との協働や、民生委員等との連携に努めるとともに、運営推進会議や情報紙などを通じて活動を発信し、ニーズ把握が行われている。また、併設の地域包括支援センターを通じて、地域の交流の場として機会を創出している。施設外構や近隣公園の清掃が定期的に行われている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
・一般総合、認知症対応型の稼働状況が前年度より低下した。一般型の登録数、新規利用者数は増加していたが利用者数が減少した要因として、1月～2月にかけて新型コロナウイルス感染症に利用者12名、職員6名が感染するクラスターが発生し、利用者の利用自粛のため2ヵ月で著しく利用者数が下がったこと、クラスター発生以外でも体調不良等で休みが多かったことや、新規利用者の利用回数の平均が1.3回/週になっていること、また年度通じて曜日追加件数が10件にとどまっていることなどが挙げられる。利用者様が在宅での生活を継続できることを目指し、自立支援につながるケアの実践や認知症予防プログラムの実践が不可欠と考える。また、認知症対応型は新規利用者数が1人にとどまり、かつ利用者の平均要介護度が3.9と重度化傾向にあり、終了者が増加したと考える。認知症対応型の特性をいっそうケアマネジャーや地域住民に伝え、その価値を共有する必要を感じた。 ・4月～6月まで専任の機能訓練指導員が配置できなかったが、7月より新たに柔道整復師を機能訓練指導員として配置することができた。機能訓練指導員配置の件を各ケアマネジャーに発信。見学の際に希望者には機能訓練を体験してもらうなどの取り組みを行い、7月以降の見学者28人中、24人が利用となった。また、機能維持向上訓練のほか、温熱療法など多角的な施術を利用者に提供した。 ・10月に高幡不動尊への外出行事を実施。菊や紅葉の鑑賞を行い、季節を感じる事ができたほか、参加利用者7名全員が参道の坂道を苦勞なく歩行することができたなど、日頃の機能訓練の成果を感じる機会となった。 ・3月より傾聴、活動補助などの地域ボランティアの導入を約3年ぶりに再会した。新型コロナウイルス感染症流行中の3年間も定期的にボランティアと連絡をとっていたこともあり、違和感なくスムーズに活動再開が導けた。 ・災害時に使用する用品を格納する倉庫の建立を検討していただきたい。					
</					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	公募	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 敬愛会	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置の目的に沿い、概ね計画通り適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	職員の働きやすい環境構築のため管理者による面談や研修等を行うことで退職者も少なく業務が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般型通所介護(含介護予防)254日 認知症対応型通所介護254日 営業時間：9:00～18:00 (通所サービス提供9:00～17:00) 職員配置：10人(正規7人、契約3人) 時給：介護職(無資格)1,072円 介護職1,131円 介護福祉士 1,231円 看護師 1,600円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項については、事業計画通り適切に実施されている。 介護職などの人材確保が困難な中、処遇改善を図り必要な人材が確保されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護(含介護予防)：2,545人(67.4%) 認知症対応型通所介護：486人(80.1%) 利用者数合計：3,031人(69.2%) 指定管理初年度ということで対前年との単純な比較はできないが、法人の特色である運動型デイサービスをメインとした取り組みで利用者の獲得を行った。	A	前指定管理から、運営方法や定員も変更になっており、前年と単純な比較はできないが、運動型デイサービスをメインに取組み、利用者獲得を図った。	
運営企画	敬老会や作品展を新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施した。	A	地域や近隣施設と交流の場としての事業が展開されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:34,756,207円、支出:52,937,487円 事業収支:▲18,181,280円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:61.7% 指定管理受託1年目ということで手探りの中での 運営開始に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、収支はマイナスとなっているが、事業運営は 確保されている。	A	指定管理初年度で必要な人材の確保に努めたことから、事業収支はマイナスとなっているが、事業の継続性は確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備、自家用電気工作物保安管理、清掃、受水槽 清掃、消防用設備保守点検、防火対象物定期点 検、空調設備保守点検、建築設備保守点検、植木 せん定、ごみ処理、水道検査	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切な挨拶・対応等がされている。	A	各種業務マニュアル を設置し、適正に事業 実施されている。 利用者アンケートを年 1回実施し、結果が施 設にて公表されてい る。	A
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルが設置され、業務 が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	適宜研修や教育が実施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して 公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報の 提供	パンフレットや法人ホームページで情報が提供さ れている。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書を施設に設置して公表されてい る。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されてい る。設置目的以外の利用はされていない。	A		
業務の点検	ミーティング等で業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A	事業計画等に基づき、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A			
保安・警備	適切に実施されている。	A			
小規模修繕	特になし。	—			
備品管理	備品台帳を作成し管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう管理されている。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A			
適正な管理	適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	第三者への委託は、行われていない。	A			
研修・教育の実施	適切に研修・教育が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	安全管理に関して事故・苦情等は特になく、適切に事故予防の措置がされている。	A	
事故の予兆に対する対応	・ヒヤリハットを基に伝達、注意喚起、対応の徹底を行っている。 ・原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止・再発防止に努めている。 ・運転手・添乗等の意識を高め事故防止に努めている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われている。年2回の防災訓練が実施されている。				
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	関係機関との連携を行い、地域のニーズに応えている。 ひと涼みスポット・認知症カフェ・体操教室等地域住民への場所の提供を行い地域資源の案内等地域貢献に努めている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図られている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
特になし。				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
受託1年目ということもあり、手探りで開始し運動型のデイサービスとして各自治会や地域、ケアマネジャー等に周知していき、一般・総合の利用が徐々に増加。ご利用者様からも運動効果があると評価をいただいています。認知デイに関しては利用率が伸び悩み想定集客ができませんでした。要因として、一般に比べ利用料が高いこと、一般のデイでも認知症の方の対応ができてしまい利用者が一般に流れてしまう場合が多いこと、また利用に繋がっても施設入居・ショートステイ等で定着しないこと等が挙げられます。 新型コロナウイルス感染症の影響は特になく感染蔓延等もなく感染対策を今後も継続していきます。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
指定管理受託1年目ということで、手探りの中で事業運営を行い苦労する面もあったと思うが、要支援から要介護3までの方を主なターゲットに「自分の足で歩こう。体力・筋力をつけよう」をテーマとした運動型デイサービスを各自治会や地域住民に周知し、利用者からは機能維持や運動効果があるとの好評の声をいただいている。 利用者への新型コロナウイルス感染症の感染は無かったため、特に影響はなかった(但し、職員の罹患者はあり)。 地域の特色として地域交流が盛んであることから地域住民等への地域資源の案内等、地域への貢献に対する取り組みも行っている。また、職員の働きやすい環境を構築するために面談や研修にも努めている。 施設・設備維持管理については、定期的に点検を実施しており、適切に行っている。以上のことから総合評価をAとする。		A	法人の特色である運動型デイサービスをメインとした取り組みを行い、利用者からの好評の声につながっている。 地域や近隣施設との連携により、事業が実施されている。 事業計画書等に基づき、適切に施設の管理・運営がなされていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入等により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務が行われている。雇用の安定のため、適切な勤務シフトでの対応が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:統括責任者4名、現場副責任者2名、管理員84名 契約社員 時給1,075円～1,235円	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画通り適切に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
利用状況	<p>【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,226台 (98%) バイク合計 94台 (112%) 立川駅南口西:自転車500台 (101%) 立川駅南口第三:自転車128台 (103%) 立川駅南口第四:自転車133台 (98%) 立川駅南口立体:自転車258台 (95%) 立川駅南口第一タワー:自転車193台 (89%) 立川駅南口第二タワー:自転車271台 (99%) 立川駅北口第一:自転車676台 (95%) 立川駅北口第三:自転車459台 (96%) バイク85台 (108%) 西地下道:自転車434台 (98%) 西国立駅第一:自転車67台 (91%) 西国立駅第二:自転車75台 (114%) バイク9台 (180%) 西国立駅第三:自転車86台 (118%) 西立川駅:自転車181台 (105%) あけぼの口南臨時:自転車374台 (100%) 曙町一丁目東:自転車391台 (99%)</p> <p>【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,722台 (118%) バイク合計 168台 (156%) 立川駅南口第二臨時:自転車319台 (102%) コトリンク:自転車477台 (-) バイク54台 (-) 立川駅南口東臨時:バイク56台 (104%) 立川駅南口立体:自転車195台 (102%) 立川駅南口第一タワー:自転車17台 (81%) 立川駅南口第二タワー:自転車34台 (170%) 立川駅北口第一:自転車251台 (111%) 立川駅北口第三:自転車327台 (109%) バイク52台 (108%) 西地下道:自転車225台 (116%) 西国立駅第二:自転車205台 (122%) バイク6台 (100%) 西国立駅第三:自転車107台 (104%) 西立川駅:自転車111台 (109%) 立川北駅下:自転車1,466台 (105%) 立川北駅西臨時:自転車156台 (99%) あけぼの口南臨時:自転車240台 (101%) 立川駅北口西地区:自転車592台 (108%)</p>	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートワークやオンライン授業が普及したことで、定期利用は昨年度並みからやや減少となった。一時利用については、概ね回復傾向にある。	A
運営企画	立川駅の北口・南口それぞれの拠点となる施設において安全点検キャンペーンを実施し、自転車の安全利用を推進した。例年50組くらいの参加者数であるが、北口西地区で開催した2回では多くの利用者に点検を行った。	A	感染症対策を講じながら利用者サービスにつながる運営企画の実施がなされている。	
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:231,629,600円 支出:238,976,594円 事業収支:▲7,346,994円 人件費比率:57.3% 使用料収入:183,423,728円(前年度167,286,716円) 自主事業納付金:96,150円	A	人員配置の変更による人件費の増加、電子マネーの決済手数料の増加により、収支はマイナスとなっているが、事業の継続性は確保されている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	R3年度同様に、機器トラブル発生時等において、迅速に各委託先と連携しており、適切な委託状況である。	A		
新たな取り組みの状況	自転車安全点検キャンペーンでは、例年数値より2倍越えの利用者に点検を行った施設もあり、安全利用を促進した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	OJTや接客接遇研修を実施し、適切な対応が実施されている。ただし、接客面において適切な利用者案内ができないことがあり、一部課題がみられる。	A	各マニュアルが整備され、適切に業務が行われている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考としている。 電磁ロック式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	A	
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接遇マニュアル、駐車場機器対応マニュアル・管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルが整備されている。	A			
研修・教育の実施状況	研修により、職員スキルの向上が図られている。	A			
所管部署との連携・連絡	業務調整会議の実施、緊急連絡体制の構築が実施されている。	A			
利用者アンケート等の実施	全駐車場にて年1回実施し、結果が場内掲示により公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	市内有料駐車場マップの配布実施、ホームページによる情報提供が行われている。	A			
事業計画・報告書の公表	適切に公表している。	A			
公平・公正利用の確保	公平・公正利用の確保に努め、設置目的外の利用はしていない。	A			
業務の点検	第三者機関による業務点検が実施されている。	A			
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に管理されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
小規模修繕	蛍光灯の交換修繕ほか各施設の修繕を実施し、適切に修繕を行った。南口第二タワーPC交換により、利用者への案内が円滑化した。	A			
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報取扱研修が実施されている。	A	研修やマニュアルにより、個人情報の管理等について適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、錠付キャビネットの導入等、適切に実施されている。	A			
適正な管理	管理員向けの緊急連絡体制の確認および個人情報取り扱い研修が実施されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A			
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備されている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故はなく、苦情等に適切に対応されており、利用者への注意喚起等、事故防止の取組が行われている。	A
事故の予兆に対する対応	「場内走行禁止」掲示物による注意喚起の実施と降雪予報に対応しスコップ・融雪剤等が配備されている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	漏水や昇降機停止があったが、速やかな報告、対応により利用者への影響を最小限に抑えた。			
事故防止対策の取り組み状況	管理員による利用者への注意喚起、管理室へのマニュアル配備、研修等を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	放置禁止区域内の車両に対する警告札貼付、周辺施設の清掃などにより地域連携に取り組みが行われている。	A	地域との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
レンタサイクル	会員数は7800名を超えている。令和4年度からは、立川市ブランドメッセージロゴマークを会員カードで使用し、連携を強化した。			
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
・昨年度に引き続き、コロナ禍のため、管理員へ体調管理を徹底させるとともに、施設消毒作業を行いながら、感染拡大防止に努めました。 ・立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止対応において、柔軟かつ丁寧な利用者案内や関係者協議を進めました。 ・公の施設管理業務であることを自覚し、自転車安全点検キャンペーンの拡充、新たな清掃活動やパトロール活動に取り組みました。 ・現地責任者や管理員と密に連絡を取りながら、円滑に連携することで、適切な管理運営がなされたと考えています。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
現指定期間の4年目を迎えた令和4年度においては、昨年度に引き続きコロナ禍での駐輪場運営となったが、消毒液の配備やこまめな清掃など、一年を通して利用者が安全に利用できる環境を確実に整備していたことについて評価したい。また、立川駅北口第三有料自転車等駐車場の廃止対応については、土地所有者の意向により急遽決定となったにもかかわらず、長年本市の指定管理業務で築き上げた経験を十分に発揮し、現地利用者への丁寧な説明や適切な掲示物の作成など、市と連携しながら、柔軟かつ確実に対応した点についても高く評価したい。ただし、接客面においては、利用者への対応等について一部課題が見られたため、今後の改善点として挙げさせていただきたい。新型コロナウイルス感染症への対応も落ち着いたはじめ、利用台数の回復傾向が見られる中、令和5年度においても豊富な知識を活かしながら、引き続き適切な管理運営を期待したい。		A	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、定期利用利用者数は昨年度並みからやや減少だが、一時利用の利用者数は回復傾向にある。 事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
サイカパーキング株式会社	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	各種研修の実施により、職員の質の維持や設置目的の理解度向上が図られている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入等により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	事業継続に支障が無いよう、迅速な人員確保が実施されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:統括責任者1名、場長2名、管理員16名 場長及び管理員:時給1,072円 場長には月5,000円の手当有	A	基本的事項については、仕様書及び事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートワークやオンライン授業が普及したことで、定期利用はバイクは昨年度並み、自転車は減少となった。一時利用については、概ね回復傾向にある。 運営企画については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、交通安全教室の開催を見送り、自転車安全利用の啓発を実施している。	A
利用状況	【定期利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 1,386台(86%) バイク合計 47台(104%) 西武立川駅北口:自転車-台(-) 武蔵砂川駅第一:自転車756台(103%) バイク23台(61%) 武蔵砂川駅第二:自転車241台(105%) バイク23台(100%) 西武立川駅北口第二:自転車389台(109%) 【一時利用 平均利用台数】()内は対前年度比 自転車合計 651台(114%) バイク合計 21台(140%) 西武立川駅北口:自転車158台(122%) 西武立川駅北口臨時:自転車44台(100%) 武蔵砂川駅第一:自転車361台(112%) バイク11台(138%) 武蔵砂川駅第二:自転車88台(117%) バイク10台(143%)	A		
運営企画	事前の会議の場で、このコロナ禍での交通安全教室の開催見送りについて相談があったうえでの結論なので、妥当な判断である。5年度以降の状況に応じた方法での実施に期待したい。なお、代替案として、利用者アンケートの回答者に対し、令和4年11月に改正された「自転車安全利用五則」のチラシを配布し、安全利用の啓発を実施した。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:48,165,000円 支出:48,289,713円 事業収支:▲124,713円 人件費比率:43.89% 使用料収入 46,163,512円(前年度41,503,496円)	A	機器設置に伴う関連 工事費が予定より多く かかったため事業収 支はマイナスとなっ ているが、指定期間 中の事業の継続性は 確保されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	産業廃棄物処理、コールセンター業務、定期WEB 管理システム利用案内業務、機械警備業務、駐輪 場管理業務、集金業務、で実施。機器トラブル発 生時等において、迅速に各委託先と連携しており、 適切な委託状況である。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—	事業計画書に基づく 新たな取り組みにつ いて、利用者のサー ビス向上に努めている。	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	オリエンテーション、現場指導を実施し、適切な対 応に努めている。	A	各マニュアルが整備さ れ、適切に業務が行 われている。 利用者アンケートを年 1回実施し、3施設に 掲示している。昨年は WEBのみだったが、令 和4年度は紙とWEB の選択式で実施した。 入退場ゲートの設置 により、公平・公正な 利用が確保されてい る。	A
マニュアルの整備	定期更新機操作マニュアル、トラブル対応マニユ アルが整備されている。	A		
研修・教育の実施状況	専門講師による研修会により、職員スキルの向上 が図られている。	A		
所管部署との連携・連 絡	業務調整会議の実施、緊急連絡網作成等により、 適切に連携がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	全駐車場で年1回実施し、結果が場内掲示により 公表されている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	駐輪場利用についてのしおりを作成し、定期利用 申し込み時に配布している他、ホームページで周 知している。	A		
事業計画・報告書の公 表	適切に公表している。	A		
公平・公正利用の確保	入退場ゲートの設置により公平・公正に利用でき るシステムを構築している。また、設置目的外の利 用はされていない。	A		
業務の点検	統括責任者により点検が実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施されている。	A	仕様書等に基づき、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施されている。	A			
小規模修繕	機器不具合発生時は、迅速に対応されている。	A			
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、現地確認も併せて行われている。	A	研修の実施により、個人情報の管理等について適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例の規定に基づき、適切に実施されている。	A			
適正な管理	鍵付書庫を活用し、適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A			
研修・教育の実施	管理員研修会において、個人情報管理者による講習が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	管理員研修会において、個人情報管理者による講習を実施し、マニュアル配布も実施されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故はなく、苦情等に適切に対応されており、自動音声案内機による事故防止の注意喚起等、事故防止の取組が行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	利用者同士の接触事故防止に向け、自動音声案内機が導入されている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	統括責任者からの駐輪場内の危険箇所等の報告の実施、現場指導、マニュアル整備等を行っている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	立川市地域見守りネットワークへの参加、第一ブロックとの連携、地域高齢者団体との連携、駐輪場周辺のごみ回収、草刈りなどにより地域連携に取り組んでいる。	A	地域との連携が図られている。	A	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A	
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—	—	
◆ その他特記事項					
特になし。					

◆ 総合評価			
事業者振り返りコメント			
<p>当年度で4年目となる立川市自転車等駐車場(第二ブロック)の管理運営に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少が回復傾向に向かう年度となり、利用者数と利用収入が前年度を上回る結果となった。増加していく利用者に対し利用満足度の上昇を目指し、定期的に場内の案内板の貼り替え、植栽剪定の定期的な実施を行った。</p> <p>また、当年度より紙面による利用者アンケート集計を再開した。</p> <p>利用者の中には新型コロナウイルス感染症について注意深い方もいるので、紙面及び昨年度同様にWEBでのアンケート集計を実施し利用者が答えやすいようなアンケート集計を行った。 合計609件の回収結果となり、弊社が指定管理者として運営管理を開始してから最多の回収数となった。</p>			
施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
<p>現指定期間の4年目を迎えた令和4年度においては、利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大前の平成31年度とほぼ変わらず、回復傾向が見られた。定期的な場内掲示の更新や植栽剪定を実施し、積極的に利用者にとって利用しやすい環境を整えたことを評価したい。また、利用者アンケートにおいては、紙面を再開しながらWEBとの選択式の回答方法を用意することで、コロナ禍においても利用者が回答しやすい環境を整えた結果、過去最多の回収数(609件)となった点についても高く検討したい。新型コロナウイルス感染症への対応も落ち着きはじめ、利用台数の回復傾向が見られる中、令和5年度においても豊富な知識を活かしながら、引き続き適切な管理運営を期待したい。</p>	A	<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響や、リモートワーク・オンライン授業の普及により定期利用の利用者数は、バイクは昨年度並み、自転車は減少となった。一時利用の利用者数は、概ね回復傾向にある。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市駐車場	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
タイムズ24株式会社連合体	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営が行われ、周辺の交通渋滞緩和に貢献している。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務が行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月、各駐車場責任者が集まり管理運営に関する情報や意見交換が行われ、それに基づく職員への指導・伝達により、職員の意識向上が図られている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器等の設置により、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員が配置されているほか、職員の交代にも対応できるように業務マニュアルが作成されており、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 リーダー:時給1,300円 一般職員:時給1,200円 計画通り適正に実施されている。	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用台数は全体的に、昨年度と比較して増加傾向であり、事業計画に基づき安定的な運営がなされている。	A
利用状況	【時間貸】()内は前年度数・対前年度比 合計171,230台(148,020台・115.6%) 北口第一:141,375台(119,316台・118.4%) 北口第一(二輪):8,281台(7,722台・107.2%) 緑川第五:12,804台(11,908台・108.5%) 緑川第六:8,770台(9,074台・96.6%) 【定期利用】()内は前年度数・対前年度比 合計1,717台(1,524台・112.6%) 北口第一:782台(743台・105.2%) 緑川第五:176台(174台・101.1%) 緑川第六:759台(607台・125.0%) 総料金収入は、163,008,473円(前年度139,077,200円、前年度比117.2%)となった。 前年度の業績と比較し、時間貸しの利用台数、総料金収入ともに増加している。これは、R3年度に実施したエレベーター工事による車室制限や新型コロナウイルス感染症による外出が緩和されて、徐々に人が戻ってきたことによると考えられる。	A		
運営企画	事業計画書に記載の事業は、概ね予定通り実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収支計画による収入計画は182,680千円に対し、実績は163,008,473円となった。 支出計画は57,305千円に対し、53,950,505円となった。 収益(収入-支出)は計画125,375千円に対し、実績109,057,968円となった。 納付金については、基本納付金7,500万円、超過納付金15,351,737円、合計90,351,737円となった。(前年度は基本納付金5,000万円、超過納付金15,886,100円、合計65,886,100円) R3年度に実施したエレベーター工事による車室制限や新型コロナウイルス感染症に伴う外出制限が緩和されて、徐々に人流が再開したことにより、収入の増加に繋がった。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により事業計画より収入は減少しているが、感染症対策を講じながら、安定した運営がなされている。 市への納付金は、基本納付金に超過納付金を加え9千万円を超えており、新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの概ね適正な水準であった。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	指定管理者の判断により、保険に加入している。 自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険、 1事故・1請求または1補償:5,000万円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	外周誘導、清掃、機械警備、諸設備管理・点検、消防設備点検	A		
新たな取り組みの状況	カーシェアは近隣住民等の利便性に繋がったと考える。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修を実施し、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、接遇は問題なく行われている。	A	窓口業務の研修等、各種研修が実施され、接遇は適切に行われている。 仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務が行われている。	A
マニュアルの整備	利用者対応等の業務マニュアルが整備され、業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	職員に対する研修が実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議により情報が共有されている。緊急時の連絡体制が整えられている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートについて適切に実施されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに努めている。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出している。	A		
公平・公正利用の確保	全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境が整備されている。	A		
業務の点検	毎月、モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出する機会において、業務点検が行われている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	適切に維持管理されている。	A	適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	適切に保守点検されている。	A			
保安・警備	適切に実施されている。	A			
小規模修繕	適切に実施されている。	A			
備品管理	適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報保護の重要性が十分に認識され、事故防止が徹底されている。	A	情報セキュリティに関する意識が高く、個人情報の管理・研修実施などの体制が整えられている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A			
適正な管理	契約者情報等は、厳重に管理されている。	A			
再委託の禁止	外部委託は市の承諾を得た上で、適正に実施されている。	A			
研修・教育の実施	全職員を対象に研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき個人情報保護を実施している。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	利用者の車両誤操作による、ゲートバー、消火設備への接触事案が4件発生した。いずれの事案についても利用者の負傷等なく、事案発生後は適切に対応されている。	A	利用者の誤操作による事故が発生したが、適切に対応されている。各種マニュアルに基づき、事故防止に努めており、大きな事故等はなく、事故防止への取り組みは良好に行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	適切に安全確認が行われている。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に努めている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	駐車場外周の歩道を清掃し、周辺美化に寄与した。また、大規模災害発生時に人的、場所的資源を提供できる体制となっている。市営駐車場としてのイメージアップにつながっている。	A	仕様書で求めているわけではないが、周辺美化等イメージアップに貢献されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。		A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—		—	—	—
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
<p>最終的な利用実績は時間貸利用が台数で前年比115.7%、収入では121%の水準、定期利用が前年比112.7%、収入では109.6%の水準と令和3年度を上回る結果となりましたが、令和4年度は北口第一駐車場のエレベーター工事の影響で12月～3月にかけて駐車場を一部閉鎖していた影響が大きく、それ以外の月については令和3年度と同様の水準となっております。長らく続いた新型コロナウイルス感染症対策による行動制限も緩和されましたが、リモート会議や在宅勤務などの定着によりコロナ禍以前(平成31年度)と比べると台数、収入共に下回っております。</p> <p>一方でコロナ禍に契約者数が減少していた定期利用について販促を行い、契約者数を増加させ収入の最大化に取り組みました。その結果、単月で見ると10月、11月、12月、3月については現指定管理期間の中で最高の収入額を記録することが出来ました。</p> <p>令和5年度は指定管理期間の最終年度となりますが、直近では物価や人件費の高騰により個人消費が抑制され駐車場の利用にも影響を及ぼす恐れがございます。このため今後の運営につきましても、引き続き貴市と緊密に協議を行いながら一つ一つ確実に定められた業務を遂行してまいります。</p>					
施設担当課評価			2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
<p>令和4年度について、時間貸しの利用台数は、171,230台(前年度148,020台、前年度比115.6%)となった。</p> <p>定期利用の契約台数は、1,717台(前年度1,524台、前年度比112.6%)となった。</p> <p>総料金収入は、163,008,473円(前年度139,077,200円、前年度比115.6%)となった。</p> <p>納付金については、基本納付金7,500万円、超過納付金15,351,737円、合計90,351,737円となった。</p> <p>(前年度は基本納付金5,000万円、超過納付金15,866,100円など、合計65,866,100円)</p> <p>令和4年度は、前年度実施した北口第一駐車場エレベーター工事により入庫台数の制限による車室制限や新型コロナウイルス感染症の感染対策などの影響で、利用料金が下がっていたが、令和5年度は、制限が緩和された事により、台数、収益ともに増加している。しかし、リモート会議や在宅勤務などの定期により、コロナ禍以前には戻らず、収益は収支計画よりも減少しているが、基本納付金、超過納付金ともに協定の通り納付があった。</p> <p>また、駐車場の営業に支障が出るような大きな事故や苦情はなかった。</p>			A	<p>民間駐車場との競合が厳しい状況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、収益が確保されたことは評価できる。</p> <p>巡回実施、監視カメラでの目視確認や研修等により、事故防止の取り組みを適切に実施している。</p> <p>事業計画に基づき、概ね適切に管理・運営が行われていると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市ハヶ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例、規則や基本協定書を踏まえ適切に運営されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎日のミーティングの中での職員教育とともに、月1回以上の頻度で本社の役員による教育指導を行うことで、職員の意識向上が図られている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	法令を遵守し、公平・公正な利用が確保されている。	A		
事業の継続性の担保	繁忙期等には他店から職員を派遣することで、事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:365日 開館時間:24時間 職員配置:正社員6名、嘱託3名 給与単価:月給19.5万円～46.1万円 新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、クラスターの発生もなく適正に事業が実施されている。	A	基本的事項については、実施計画通り実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 8,043人(118.9%) 〔内訳〕 一般利用者 5,242人(128.6%) 学校利用 2,801人(104.2%) 夏季に新型コロナウイルス感染症の第7波により300件を超えるキャンセルが発生し、団体利用の多くがキャンセルとなった。指定管理者は利用者の協力を得ながら感染予防に努め、クラスターの発生もなく営業を行い、自然教室を無事に実施しただけでなく、前年度より多くの利用者を獲得したことは評価できる。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響から、コロナ禍以前の水準には戻っていないが、概ね事業計画どおり安定した運営が行われている。	
運営企画	新型コロナウイルスの感染が収まらず、いろいろな制約を受けた中、年間を通して感染防止に努めつつ、一般利用者へのアメニティーセットの提供、4月と11月の閑散期割引、大みそかのビンゴ大会、自然観察員による星を見る会、障がいのある方の利用促進など、工夫して各種企画を実施している。秋の自炊会は新型コロナウイルスの感染拡大のため実施できなかったが、コロナ禍前の立川市ハヶ岳山荘の恒例行事等も令和3年度はできなかった行事が令和4年度は実施できた。そうした利用者へのサービスだけでなく、閑散期の集客強化など営業努力も評価できる。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染拡大に留意しながらイベントを企画・実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:70,444,748円の内訳、支出:70,974,150円、 事業収支▲529,402円 ＜収入内訳 指定管理料:55,165,205円 利用料金収入:8,589,500円(施設使用料) その他事業収入:6,690,043円(食事・売店等)＞ 物価高騰の影響を受け、指定管理料の補てん (1,616,205円、上記指定管理料に含む)を行った。	A		A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	生産物賠償保険 支払限度額:10億円 施設賠償保険に自主的に加入しているほか、協定書に基づき、適正にリスク分担して対応している。	A	物価高騰の影響により指定管理料の補てんを行っている。必要経費については適正に支出されている。	
第三者への委託状況	施設保守管理、定期清掃、消防設備保守、定期消毒、自家用電気工作物保守 すべて仕様書にある業務は実行し、申請している以外の業務を第三者に委託はしていない。	A	適正にリスク分担して対応されている。	
新たな取り組みの状況	閑散期となる2月頃の平日の利用を狙い、貸し切りでの営業を進めるなど、指定管理者の営業努力により新たに障がい者の方等の利用が促進できた。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修・日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、利用者アンケートでは「良い」以上の評価が96.7%以上だった。	A		A
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防等の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	例年行っている研修に加え、特に新型コロナウイルス対応に注力している。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	大雪の際に、帰宅困難となった団体の宿泊を、所管部署と協議のうえで緊急対応として受け入れた点を高く評価する。 また、月例報告の他、適宜連絡がされ、新型コロナウイルス関連の緊急連絡も速やかに行われている。	S	接客の取り組みが積極的に行われている。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートが実施され、公表されている。	A	緊急対応についても所管部署との連絡・連携を密にはかることで、柔軟に対応された。	
広報・PR等の利用情報の提供	チラシを配布。ホームページに利用案内や空室情報等に加え、新型コロナウイルスに関する利用者への協力依頼等も掲載されている。	A	利用者アンケートでは、利用者からの好評を得ている。	
事業計画・報告書の公表	市に提出されている。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平公正な利用に努めている。	A		
業務の点検	現地職員と十分なコミュニケーションをとり改善に努めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	事業計画書等に基づき、適切に実施されているほか、新型コロナウイルス感染症の消毒等防疫作業についても、適切に行われている。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 衛生管理や施設・設備保守は適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に行われている。	A	
施設及び設備の保守・点検	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
保安・警備	事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	A			
小規模修繕	水道管漏水修理、木が倒れて傷んだフェンス修理、客室のロスナイ換気扇交換、受水槽凍結防止ヒーター修理、機械室等の配管漏水修理いずれも的確に修理を行った。	A			
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	個人情報に適正に取り扱われるよう、職員が指揮監督している。	A	適切に個人情報が管理されている。	A	
個人情報等秘密の保持	適正に執行されている。	A			
適正な管理	責任者により、適正に管理されている。	A			
再委託の禁止	市が承認したもの以外、第三者への委託は行われていない。	A			
研修・教育の実施	必要な研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルが整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	アレルギー対応が必要な児童に、本来は配膳しないはず通常食メニューの一つを誤配膳し、食べてしまう事案が発生した。当該児童にアレルギー症状は出なかったが、アレルギー対応の徹底を申し入れ、代替食手渡し前の配膳がないことについて確認作業を徹底するよう改めた。	B	アレルギー対応が必要な児童に対して、通常食を誤配膳する事案があり、安全管理に課題があった。事後の対応や再発防止策は適切に実施されている。	B	
事故の予兆に対する対応	自炊棟の照明について漏電を指摘され、仮補修で対応し、市が令和5年度に修繕を予定している。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みが行われ、災害発生時の連絡体制が確立されており、疑似体験などの訓練も行っている。学校寮地区内における協力体制も整っている。	A	マニュアルが整備され、対応体制も確立されている。		
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	清里学校寮地区での30年以上の受託実績により、地域貢献も行い、地域及び地域住民との良好な関係が構築されている。	A	地域との関係は良好である。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。		A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—		—	—	—
◆ その他特記事項					
特になし。					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和4年度より新しい5年間の指定期間が始まりました。令和4年度は夏前は新型コロナウイルスの感染症は比較的収まっていた。そのため7月初め頃は順調に夏休みのご予約が伸びていきました。それが7月中頃より、第7波が襲来し、夏休み前にはキャンセルが300件を超え、夏休みのほとんどの団体利用も無くなりました。これは年間を通して非常に痛かったです。同様に年末年始には第8波が襲来し、年末年始も多数のキャンセルが出ました。それでも令和3年度の一般ご利用者様が4,075名様でしたが令和4年度は5,242様と28%ほど増客できました。コロナ前は年間8,400名様以上のご利用がありましたので、まだ60%ほどの回復です。なお、立川市立小学校の自然教室も全校で予定通り行われました。感染防止のため自炊は行えず、食事も黙食でした。ご利用者様が伸びなかったことは経営に大きな影響を及ぼしました。これと同時に電気単価、灯油単価の高騰も山荘の経営に大きな影響を及ぼしました。市に認めていただいた電気単価は1kwhで20円でしたが令和4年4月の単価は25円、令和5年3月の単価は約33円でした。年間500万の予算に対して実施は660万円程かかりました。決して節電しなかった訳ではありません。また食材価格もマスコミが報道している以上に高騰し、令和5年3月時点では前年度より8%以上の高騰でした。このように経営上は非常に厳しい令和4年度でしたが年度末には指定管理料の再計算も行っていただき、心より感謝しております。令和4年度内には、「令和5年5月8日より新型コロナウイルスの感染法上分類が5類相当に移行される」との明るいニュースもあり、今後、市民のみならずによりお喜びいただける立川市ハケ岳山荘にしていきたいと思います。					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	定期的に行われている管理運営委員会の中で、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)の活用により、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に行っており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:319日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:70,721～79,890円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,028件(132.6%) 利用者数:15,558名(158.9%) 平均施設使用率:31.5%(127.5%) 各実績ともに昨年度を上回り、コロナ禍前の状況に戻りつつある。 なお、平成31年度は利用件数:1,113件、利用者数:19,619名、平均施設使用率:37.6%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 利用者懇談会(30名)、広報発行2回(各5,200部)、会館まつり(300名)、新年懇談会(中止)、富士見町ふれあいコンサート(60名) 定例となっている上記事業を新年懇談会以外実施することができ、会館まつりやふれあいコンサートでは工夫を講じながら開催していた。	A	一部事業を中止したが、地域に密着した事業を企画し、感染症対策を講じながら可能な限り実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,458,983円、支出:4,458,983円 * 指定管理料4,361,745円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会、役員会を開催 し、業務の点検が行 われている。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報に掲載を予定している。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	令和4年度会館で小規模修繕は行わなかったが、規模にかかわらず修繕が必要な場合は、運営委員会より随時連絡を受け、対応することができた。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度は、会館まつりを3年ぶりに11月に実施し、大勢の地域の方や団体の協力を得て、子ども中心のもの作りコーナー、お化け屋敷などの企画を行い、子どもたちにも好評であった。「ふれあいコンサート」は人数制限をし開催。新型コロナウイルス感染防止を図りながら、新年懇談会以外の事業は実行できた。利用件数等は、コロナ禍前通りとまではいかないが、確実に元に戻りつつあることを感じる。ただし、利用者が高齢のため、夜の利用が減ったり、団体自体が解散したりと減っている実情もあるため、会館たよりを広く発行し、会館利用を地域の方に呼びかけよう努めた。管理運営委員会では、地元の拠点となる新しい感覚で企画立案できるよう努力していきたい。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
利用者の高齢化による団体の解散や夜間利用者の減少など学習等供用施設全体が抱える課題がある中、多世代の利用促進を図るため、PTA選出の管理運営委員がPTAの任期が終わった後も地域協力委員として運営に継続して参加するなど、若い世代を積極的に登用する働きかけをしている。 滝ノ上会館は風水害時の指定避難所にも位置づけられており、台風の際は避難者の受け入れをおこなっている。また、地域住民にとって学習や趣味、娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。とりわけ「子どもの居場所づくり」への取り組みは特筆すべきものであり、子どもが参加しやすい企画を数多く実施し、4年度は3年ぶりに会館まつりを開催することができた。子ども向けに特化した企画内容となっており、地域の幼児から中学生まで参加し喜ばれていた。また令和5年度中規模改修工事に向けて、管理運営委員会委員長・管理人が定例会に出席し、要望の聞き取り等行った。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用者数は増加した。 3年ぶりに、恒例の事業である会館まつりやふれあいコンサート等の事業を実施できた。 十分な感染症対策を講じながら地域の施設として、地域住民の手で適切に管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんぴら橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こんぴら会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:40,024～103,413円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,543件(108.2%) 利用者数:15,438名(113.4%) 平均施設使用率:42.9%(99.8%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数は増加した。 なお、平成31年度は利用件数:1,592件、利用者数:21,191名、平均施設使用率:46.8%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行3回(各4,000部)、会館まつり(中止)、防災・避難訓練(41名)、地域懇談会(41名)、ふれあいコンサート(56名)、新年賀詞交歓会(中止)、利用者懇談会(33名) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業は中止せざるを得なかったが、感染症対策を講じながら、「地域懇談会」「ふれあいコンサート」等を開催することができた。	A	一部事業は中止をしたが、感染症対策を講じながら地域コミュニティの核としてのイベントが開催された。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,498,024円、支出:4,498,024円 * 指定管理料4,269,650円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はない。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	-			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者アンケートを 実施し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務 の点検が行われてい る。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実施されている。	A			
所管部署との連携・連絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換を行っており、会館広報にて結果が公表されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出されている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点検を行っている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	日常点検マニュアルに基づき会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	冷蔵庫修繕や踏み台修繕について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、3年連続で会館まつりが中止となったことは大変残念であった。しかしながら感染症対策を講じながら、「防災・避難訓練」「地域懇談会」「ふれあいみんなのコンサート」を実施できたことは、地域の皆様からも好評であった。令和5年度に会館創立40周年の節目を迎えるにあたり、記念誌委員会、式典・祝賀会委員会を立ち上げ、記念事業の準備を開始した。</p> <p>今後も管理運営委員会内での「報・連・相」を密にとり、近隣住民との「よい関係づくり」に注力しながら、利用者とのコミュニケーションを大切に「より利用しやすい会館」を目指していきたい。</p>				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>こんぴら橋会館は、地域の住民にとって生涯学習及び地域コミュニティの拠点として、開館以来、利用者の方々や地域の各種団体と一体となりながら、砂川地域の文化を盛り上げてきた。運営側においても、管理人同士で積極的なコミュニケーションをとっているため、2年目の管理人も業務内容を習得し円滑に運営を行っている。会館広報では、会館の情報を見やすく掲載する工夫がみられ、地域の情報発信源としても、会館と地域の住民や各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>例年、地域の住民団体を指定管理者とすることの利点を生かし会館まつり等の事業を実施し、大勢の来館者で賑わいをみせているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない状況であった。しかし「防災・避難訓練」「地域懇談会」「ふれあいコンサート」など運営委員会や準備委員会が感染症対策を講じながら、開催することができた。</p> <p>施設管理の面では、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っているほか、指定管理料の修繕料を活用した軽微な修繕等も積極的に実施し、管理運営委員と利用者団体が協力して施設の維持保全が保たれている。令和5年度の40周年記念事業に向けても、会館として委員会を立ち上げ、事業を始動している。</p> <p>以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用者数は増加した。</p> <p>恒例の会館まつりも、中止せざるを得ない状況であったが、感染症対策を講じながら可能な限り事業を実施されている。</p> <p>十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。</p> <p>事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:314日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:28,402～69,060円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:967件(133.7%) 利用者数:9,871名(137.7%) 平均施設使用率:32.4%(127.1%) 各実績ともに昨年度を上回った。 なお、平成31年度は利用件数:1,215件、利用者数:19,277名、平均施設使用率:41.5%である。	A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 児童館と連携を図りながら行われる恒例の会館まつりも、中止せざるを得ない状況であったが、感染症対策を講じながら地域に密着した事業運営が行われている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行3回(各800部)、会館まつり(中止)、高松文化会文化祭(作品展のみ)、利用者懇談会(書面) 定例となっている事業を実施する計画であったが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業について変更または中止せざるを得ない状況であった。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,184,169円、支出:4,184,169円 * 指定管理料4,160,432円 【うち、470,327円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わ りにアンケートを実施 し、会館広報におい て結果が公表されて いる。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務 の点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っているが、4年度は意見箱を設置した。会館 広報にて結果公表を予定している。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A		
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A		
小規模修繕	車椅子修繕について、適切に実施された。	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A		
再委託の禁止	再委託はされていない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、会館まつり等の例年実施している事業を中止せざるを得なかった。会館では、コロナ感染再拡大の対策として、利用者の日常が安全に過ごせる感染防止対策について掲示物等による周知を徹底した。利用団体の種別が多様化する中で、受付事務の取り扱いについて、運営委員・管理人で打合せを行いながら情報共有を密に図っている。年々利用者の高齢化が進んでおり、近年は管理運営委員会常任委員の高齢化も進んでいる。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、地域の各種団体が実施する行事に積極的に協力・協賛している。定期的に開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。施設の2階は高松児童館となっており、積極的に児童館との連携を図っており、例年、会館まつりでは児童館職員及び地域の子どもたちによるビンゴ大会等が実施されるが、令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止せざるを得ず、世代を超えた交流の機会が減った。 会館広報を年3回発行し、会館の情報のみならず、前述した児童館の情報及び地域で開催される様々な行事を紹介するなど、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。管理運営委員会においては、常任委員の高齢化が進み後継者探しに苦慮している。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響受けつつも、昨年度に比べて利用者数は増加した。 会館まつりは中止せざるを得ない状況であったが、関係団体と連携して実施している高松町文化祭は作品展示という形式で実施されている。 地域の会館として、地域住民の手で管理・運営は行われており、児童館をはじめ関係機関との連携が図られている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:39,150～73,187円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,342件(125.0%) 利用者数:13,665名(134.0%) 平均施設使用率:35.3%(122.1%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均施設使用率はともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:1,583件、利用者数:25,941名、平均施設使用率:42.2%である。	A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 一部イベントは中止したが、感染症対策を講じながら体操講座などのイベントは実施。また、地域の各種団体の情報を掲載して「若葉会館だより」を発行するなど、地域コミュニティの核としての取り組みが行われている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行3回(各5,000部)、講座(各回20名)、利用者懇談会(アンケート方式)、会館まつり(中止)、新春の集い(20名) 会館まつり以外の事業は、人数制限を行いながら実施することができた。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,123,273円、支出:4,123,273円 * 指定管理料4,121,316円 【うち、300,941円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わ りにアンケートを実施 し、会館広報において 結果が公表されてい る。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。4年度はアンケート方式にて実施。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	トイレ便座修繕・ふすま張替えについて、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
管理運営委員会は町内の各主要団体からの選出者と事業運営経験者で構成され、各団体との情報交換を行い、会館広報による地域住民への周知を図っている。人材の確保の難しさや大切さを実感しているが、多くの委員の方の「地域のために活動したい」という姿勢に支えられている。窓口業務等も管理人による丁寧な対応を心掛け、利用者の要望にも臨機応変に対応することができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、会館まつりは3年連続で中止とせざるを得ず、大変残念であった。講座については、年3回実施し特にコロナ禍における体力の維持、増進を目的とした健康体操を開催し、多くの参加者に来場いただけた。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
若葉会館は若葉町のコミュニティの拠点として、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの会館三大事業に取り組んでいる。年3回の広報発行のうち、7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、新たな会館利用者の掘り起こしにもつながっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動のニュースが乏しい年であってもページ数を減らさずに、紙面内容に創意工夫をし、充実した内容となっている。 11月の会館まつりを中止せざるを得ない状況の中、講座については、健康体操に関する3回の講座を企画し、実施することができ、地域の方にも喜ばれていた。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。	A	新型コロナウイルス感染症の影響受けつつも、昨年度に比べて利用者数は増加した。 中止せざるをえない事業もあったが、十分な感染症対策を講じながら、地域の会館として実施できるイベントが開催されている。 地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A			
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給:75,252～113,235円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。学習等供用施設全体からみても、高い水準が維持されている。	A	
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,386件(118.1%) 利用者数:29,309名(123.2%) 平均施設使用率:37.0%(112.8%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均施設使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:2,115件、利用者数:31,713名、平均施設使用率:36.1%である。	A			
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行2回(各4,000部)、会館まつり(中止)、利用者懇談会・避難訓練(70名)、教養講座(75名) 会館まつり以外の事業は、実施することができた。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,376,085円、支出:4,376,085円 * 指定管理料4,376,063円 【うち、240,898円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	カーテン修繕・壁紙修繕について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、5月開催予定であった「こぶし会館ふれあいまつり」は、一度9月に延期し開催を試みたが、中止せざるを得なかった。しかし「教養講座」の落語会を実施することができ、多くの方に喜んでいただけた。利用件数も昨年度に比べ、増えており、サークル入会の問合せや新しく立ち上がるサークルも多くなっている。会館の老朽化により、施設管理において一層の注意が必要であると感じているため、管理人とともに意識を共有している。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形で関わっている。加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で交通の便が良いことから、市外を含む他地域からの利用や、行政事業のための利用も多い。令和4年度中でも、サークル入会・立ち上げの問合せが多かったことから積極的に利用されていることが伺える。 二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の事業「こぶし会館ふれあいまつり」「教養講座」は毎年盛大に行われており、生涯学習の拠点としての役割、地域住民の交流への貢献を果たしているが、昨年度に引き続き、会館まつりは延期を検討するも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とせざるを得なかった。 利用件数が増加する中、管理運営委員会や管理人の間でも積極的にコミュニケーションを取っており、会館運営においても柔軟に対応されている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加し、学習等供用施設全体からみても、高い水準が維持されている。 中止せざるをえない事業もあったが、十分な感染症対策を講じながら、地域の会館として実施できるイベントが開催されている。 地域住民の手で仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給:90,000～105,000円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,338件(144.0%) 利用者数:18,538名(157.4%) 平均施設使用率:32.8%(136.1%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均施設使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:1,535件、利用者数:24,992名、平均施設使用率:39.9%である。	A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 一部イベントは中止したが、感染症対策を講じながら会館まつりや講演会などのイベントを実施。また、広報の発行等、地域に開かれた取り組みが行われている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行3回(各2,500部)、利用者懇談会(中止)、会館まつり(多数)、教育講演会(30名)、羽衣町健康フェア(多数) 定例となっている上記事業を利用者懇談会以外実施することができ、会館まつりでは工夫を講じながら開催していた。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:5,011,473円、支出:5,011,473円 * 指定管理料4,605,631円 【うち、486,061円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検を行っている。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス 感染症の影響により中止とした。3年度に行ったア ンケート内容を利用者が閲覧できる状態となっ ている。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	令和4年度会館で小規模修繕は行わなかったが、規模にかかわらず修繕が必要な場合は、運営委員会より随時連絡を受け、対応することができた。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
3年ぶりに他団体と協力し、規模の縮小はあったが、会館まつりや健康フェア、教育講演会等を実施し、地域コミュニティづくりに寄与できた。令和4年度は、利用者懇談会を実施することができなかったが、利用者からの要望により自動販売機の設置について検討を行い、準備を進めた。今後も、羽衣町の各種団体の活動の拠点として、また市民の多種多様な活動の場として安心して利用できるよう努めたい。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
羽衣中央会館は、羽衣町のコミュニティ活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。 例年、地域内の各種団体との共催事業も含め、より多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえるように創意工夫して取り組んでおり、4年度は3年ぶりに、「会館まつり・文化祭」、「講演会」、「健康フェア」を開催することができた。 管理運営の面については、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえるよう、常に利用者の声に耳を傾けながら、管理運営がなされている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加した。 一部イベントは中止したが、感染症対策を講じながら会館まつりや講演会などのイベントは開催された。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:292日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:33,521～90,020円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:929件(121.6%) 利用者数:13,206名(142.1%) 平均施設使用率:30.5%(123.5%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均施設使用率は増加した。 なお、平成31年度は利用件数:1,080件、利用者数:17,423名、平均施設使用率:36.4%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 一部イベントは中止したが、感染症対策を講じながら会館まつりやコンサートなどのイベントは開催されている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行2回(各3,000部)、利用者懇談会(20名)、会館まつり(420名)、16ミリ映写会(中止)、防災訓練講習会(中止)、カラオケ交流会(100名)、一番町みんなのコンサート(230名)、わいわい教室(130名) 定例となっている上記事業を16ミリ映写会・防災訓練講習会以外実施することができ、会館まつりでは工夫を講じながら開催していた。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,683,810円、支出:3,683,810円 * 指定管理料3,683,810円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業 務が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報 において結果が公表 されている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務 の点検を行っている。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報に掲載している。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	戸車修繕・移動キャスター修繕について、適切に実施されている。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度は、計画した事業計画の中、夏の16mm映画会と防災訓練・講習会のみコロナ禍で中止したが、会館まつり、一番町みんなのコンサート、わいわい教室等を開催することができ、大盛況であった。夏には、夜間の管理人2人が体調不良により退職となり、至急募集活動をしなければならなかった。利用者団体も運営委員も高齢化が進んでおり、地域住民との連携や共同作業のために、より広い人材を求める必要があると感じている。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、限られた修繕料の中で、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の管理などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。夏には、管理人2名が体調不良により退職せざるを得なくなり、管理運営委員会で話し合いをしながら、地域の協力を得て新しい管理人を募集し、引継ぎを行うなど厳しい環境下で対応していた点も評価したい。 例年、世代を超えて多くの来館者で賑わう「会館まつり」をはじめ、「一番町みんなのコンサート」「わいわい教室」等の特色ある自主事業を多く実施しており、会館が様々な場面で地域の住民が集う場となっている。令和4年度は、3年ぶりに開催することができ、地域の住民にも喜ばれた。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加した。 一部イベントは中止したが、感染症対策を講じながら会館まつりやコンサートなどのイベントは開催されている。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:40,338～140,404円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,251件(129.1%) 利用者数:24,550名(146.0%) 平均施設使用率:53.2%(132.7%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:2,431件、利用者数:30,685名、平均施設使用率:57.6%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行2回(各2,700部)、会館まつり(570名)、利用者懇談会・防災訓練(30名)、健康講座(40名)、柴崎ふれあいまつり(150名) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりでは工夫を講じながら開催していた。	A	感染対策を講じながら、会館まつりや健康講座などのイベントが開催された。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,694,650円、支出:4,694,650円 * 指定管理料4,694,650円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A			
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	—			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A	
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A			
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A			
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A			
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報にて結果が公表されてい る。	A			
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A			
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A			
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A			
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	外壁洗浄・水漏れ修繕・電気配線修繕について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度は、感染対策に注意しながら、「会館まつり」「健康講座」「柴崎ふれあいまつり」等の事業を実施することができ、地域の方にも喜ばれた。利用者懇談会では、寄せられた意見・要望については、役員会にて検討を行い、会館だよりにも掲載した。新型コロナウイルス感染症の影響も下火になり、会館の目的である地域コミュニティセンターとしての役割を少しずつ取り戻すことができたと感じる。施設の管理運営に関しては定例会を開催し、利用者の安心安全の確保に配慮することができた。				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、会館を軸に地域の情報発信・伝達が行われている。 このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、例年、コミュニティ事業の実施においても、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと会館まつり等事業を行っている。令和4年度は、7月に会館まつりを3年ぶりに実施することができ、3月には柴崎ふれあいまつり(うどん作り等)を開催することができた。 管理運営面においては、利用者懇談会での意見・要望を令和4年度中に会館だよりに掲載するなど、利用者の声を積極的に聴き取る姿勢が伺える。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加した。 感染症対策を講じながら地域に密着した事業が行われている。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A			
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:63,541～97,552円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A	
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:1,773件(115.9%) 利用者数:20,882名(124.5%) 平均施設使用率:52.4%(117.8%) 昨年度に比べ、利用件数・利用者数・平均使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:1,975件、利用者数:27,108名、平均施設使用率:56.7%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。		
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行2回(3,500部・3,000部)、祝30周年会館まつり(411名)、利用者懇談会(アンケート方式)、クリスマス飾りづくり(21名)、新年合同賀詞交歓会(中止)、年末大掃除(40名)、栄町寄席(83名) 定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりでは、30周年事業の祝いも兼ねながら、工夫を講じながら開催していた。	A	一部中止したイベントもあったが、感染症対策を講じながら地域に密着した事業を企画するなどの運営が行われた。		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,651,787円、支出:4,651,787円 * 指定管理料4,615,160円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会の代わ りにアンケートを実施 し、会館広報において 結果が公表されてい る。 事業計画書・報告書 は定期総会で利用者 団体代表等に公表さ れている。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、利用者へ結果が公表されている。4 年度はアンケート方式にて実施。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	ピアノ修繕について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度は、感染防止対策を十分にとり、ほとんどの事業を開催することができた。会館まつりは規模を縮小したものの、開館30周年のお祝いを兼ねて開催した。また、昨年の課題としていた若い世代に向けての利用促進対策として、11月に小学生以上の親子対象の手作り工作講座(クリスマス飾りづくり)を開催し、参加者にも好評であったため、今後もこのような事業を企画し、地域の若い方にも会館を知ってもらい、会館利用の促進につなげたい。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。運営委員においても、地域内の各種団体や小中学校PTAからの派遣や地域活動経験者で選出されており、各地域団体と協力しながら、地域を盛り上げている。 地域住民の交流及び生涯学習の場としての役割を果たすため、安全対策に十分配慮し、「さかえ会館まつり」「クリスマス飾りづくり」「栄町寄席」等を実施した。「さかえ会館まつり」については、昨年に引き続き規模を縮小し開催し、子ども向けの祭りコーナーには多くの親子連れが訪れ、盛況であった。開館30周年を迎え、記念式典は中止としたが、記念品を配布する等、管理運営委員会で工夫を凝らしている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加した。 一部の事業は中止せざるを得ない状況だったが、恒例の事業である会館まつりは感染症対策を講じたうえで開催されている。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:253日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:31,944～91,550円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:586件(128.8%) 利用者数:9,286名(139.9%) 平均施設使用率:26.2%(135.1%) 利用者件数・利用者数・平均施設使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:641件、利用者数:11,472名、平均施設使用率:31.9%である。	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、昨年度に比べて利用件数は横ばい、利用者数は増加している。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行2回(各1,800部)、お茶づくり教室(中止)、そうめん流し大会(中止)、利用者懇談会・防災訓練(35名)、まゆだま飾り(30名)、うどん作り大会(70名)、会館まつり(300名) 一部の事業を除き、定例となっている上記事業を実施することができ、会館まつりでは工夫を講じながら開催していた。	A	一部中止したイベントもあったが、感染症対策を講じながら地域に密着した事業が行われた。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:3,842,330円、支出:3,842,330円 * 指定管理料3,708,130円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等に 基づき、適正に業務 が実施されている。 利用者懇談会を年1 回開催し、会館広報に おいて結果が公表さ れている。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っており、会館広報に掲載している。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。 小規模修繕は、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	水栓修理について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
昨年度に引き続き、「お茶摘み・お茶作り」「そうめん流し」は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、参加者及び関係者の健康と安全確保のため中止とすることとしたが、「手打ちうどん作り大会」「会館まつり」「防災訓練」「まゆ玉飾り」等の事業は規模を縮小するなど感染対策を講じながら、開催することができ、地域の方にも喜ばれた。「西砂会館だより」については、西砂川地域の風土・文化を記した連載「茶の間の風土記」及び西砂地域の小中学校長の挨拶、まゆ玉飾り、防災訓練の内容等の特集し、2回発行することができた。利用者拡大の方策として、立川市自治連西砂支部が運営するWEB「みんなの西砂川」に会館の利用啓発を行った。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統文化体験事業の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。 とりわけ伝統文化体験事業については他館には見られない西砂の特色と言え、そうめん流し、まゆ玉飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。令和4年度は、一部の行事は中止となったが、4年ぶりに会館まつりの開催や親子手打ちうどん作り大会を行うことができた。新たな利用者層の獲得や定例利用の増加につなげるため、管理運営委員会の構成組織の一部である自治連西砂支部のホームページを活用し、会館の利用予約状況を予め公開するなどの取り組みを行っている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数、利用者数は増加している。 伝統文化体験事業を実施するなど地域コミュニティの核としての取り組みが行われている。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則、基本協定書等に則り、適正に管理運営が行われている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認が行われている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	受付対応を具体的に示した「受付の手引」(業務マニュアル)を活用し、すべての利用者に対して、公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際は、情報共有やOJTにより事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給:61,657～92,292円 計画のとおり実施されている。	A	基本的事項については、適正に実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 利用件数:2,156件(115.9%) 利用者数:23,442名(122.1%) 平均施設使用率:38.3%(112.0%) 利用件数・利用者数・平均使用率ともに増加した。 なお、平成31年度は利用件数:2,452件、利用者数:33,043名、平均施設使用率:43.7%である。	A	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、昨年度に比べて利用件数・利用者数は増加している。 昨年度に引き続き、多くの事業を中止せざるを得ない状況の中、会館広報は編集体制を工夫しながら休刊することなく発行するなど、地域拠点としての取り組みが行われている。	
運営企画	()は参加者数、発行部数 広報発行3回(各6,000部)、会館まつり(中止)、大掃除・自衛消防訓練(33名)、親子対象作品づくり(中止)、新年交流会(中止)、利用者懇談会(中止)、立川クリーンセンター見学(25名) 定例となっている事業を実施する計画であったが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの事業について中止せざるを得ない状況であったが、可能な範囲で自主事業を実施した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:4,600,336円、支出:4,600,336円 * 指定管理料4,594,392円 【うち、363,072円はコミュニティ事業委託料】 指定管理料の中で適正に執行されている。	A	適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	第三者賠償費用、施設賠償責任1名1億円、1事 故1請求または1補償最大10億円 費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本 協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会から、第三者への業務委託はな い。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に丁寧な対応、ふさわしい服装を心がけており、 利用者からの苦情等も寄せられていない。	A	職員の対応は、適切 に行われている。 「受付の手引き」等 に基づき、適正に業務 が実施されている。 事業計画書・報告書 は総会で利用者団体 代表等に公表されて いる。 定期的に管理運営委 員会を開催し、業務の 点検が行われてい る。	A
マニュアルの整備	「立川市学習等供用施設 受付の手引」・「学習等 供用施設緊急対応マニュアル」に基づき、適正に 業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通して、研修・教育が実 施されている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定期的に開催する学習等供用施設代表者連絡会 にて、業務調整・意見交換を行っており、所管部署 との連携・調整がなされている。	A		
利用者アンケート等の 実施	年1回開催する利用者懇談会において、意見交換 を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス 感染症の影響により中止とした。3年度に行ったア ンケート内容を利用者が閲覧できる状態となってい る。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	広報等を通しての利用案内、市のHPで施設の概 要を公開しており、適切な情報提供が行えている。	A		
事業計画・報告書の公 表	定期総会にて公表しており、所管部署へも提出さ れている。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則や「受付の手引」に従い、公平・公正に 業務が遂行されている。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務の点 検を行っている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	日常的に、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組みが行われている。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設に損傷がないかどうかの点検を行っており、異常が発見された場合は、すぐに所管部署に報告されている。	A			
保安・警備	見回り、点検が欠かさず実施されている。	A			
小規模修繕	照明部品修繕について、適切に実施された。	A			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ適切に管理されている。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	日常的に指導が行われている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A	
個人情報等秘密の保持	「個人情報取扱特記事項」に基づき、業務が執行されている。	A			
適正な管理	個人情報については、施錠ができる場所で保管されている。	A			
再委託の禁止	再委託はされていない。	A			
研修・教育の実施	日常的に指導が行われている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取扱特記事項」に基づき、整備されている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検が行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	委員会は地域諸団体の選出者から構成され、各方面からの意見を汲み入れている。日常的な施設使用やコミュニティ事業の展開により、条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興が図られている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
多くの地域の利用者に楽しく・安心・安全・使いやすく・気持ちよく利用していただけるよう心掛けた。運営委員の協力で、広報発行は年3回の発行と地域への配布を行うことができた。令和4年度は、昨年に引き続き、会館まつりや子ども対象の作品作りなど中止せざるを得なかったのは残念であった。しかしながら、自衛消防訓練や自主事業として立川クリーンセンターの見学を企画し実施した。				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
上砂会館はその特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホール(集会室)を備えていることもあり、近隣地域以外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、また、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。 また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館まつりをはじめ各種事業についても地域住民の誰もが参加しやすいよう企画されており、世代を超えた地域住民の交流及び生涯学習の拠点としての役割をはたしているが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響により会館まつりは中止することとなった。しかしながら、自衛消防訓練や自主事業を企画し、工夫を凝らして実施した。 会館だよりにおいては、年3回発行しており、各回ともに学校・自治会・保育園など地域の多くの団体の情報や管理人の声、地域の新しい情報なども多数盛り込まれており、読み応えがあるものとなっている。 以上、会館の管理運営については「仕様書等に定められた水準」で、かつ適正に行われていると考え、総合評価は「A」評価とする。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、昨年度に比べて利用件数・利用者数ともに増加した。 地域住民で賑わう会館まつりも、中止せざるを得ない状況であった。 十分な感染症対策を講じながら地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。 事業計画書に基づき、適切に管理・運営が行われてると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員7名(内有資格者5名・71%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】38,588人(100.5%) 【貸出冊数】103,539冊(97.3%) 【レファレンス数】286件(100%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、書架の見やすさの改善など、図書館サービスの実施に取り組み、利用促進を図った。	A	新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。 ニーズに合わせた展示や併設されているこぶし会館も利用する企画事業を行い、図書館利用の促進に努めている。	
運営企画	テーマ展示・提案事業(「図書館でさかな釣り」「図書館ではじめる大人の塗り絵」)・読書ウィーク行事・図書リサイクル事業・学校連携事業・オリジナル読書ノート配布・交換展示ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:28,085,149円 支出:27,362,807円 事業収支:722,342円 人件費比率:84.8% 計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A			
第三者への委託状況	特になし。	-			
新たな取り組みの状況	特になし。	-			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が90.1%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的に行っており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A	
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A			
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A			
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は事業計画により適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A		
小規模修繕	事務用ロッカー交換修繕 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	教員研修の受け入れ、こぶし会館や読み聞かせボランティアとの情報共有などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。また、リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
令和4年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施した上で、年間を通して開館した。特に、換気、カウンター周りの消毒など、日々の対策を続けることで、何よりも利用者の安全、そして、職員の安全を確保した。時節や時事を的確におさえた特集展示などを実施し、利用者の知的ニーズに応え、また、新たな知的関心を喚起させることができた。個人情報の取扱いに関して、常に、全職員の注意喚起と確認を実施し、また、研修なども適宜実施して、適正な管理を行った。10月に実施した利用者アンケート、1月に実施した利用者懇談会などで得た利用者の意見には、迅速に対応した。朝礼やミーティングなどを常に実施し、利用者対応について情報や意識を共有し、的確で公正な接遇を行った。さらに、年間を通して、全職員に、社内・社外のさまざまな研修を受講させ、レファレンスや選書、高齢者サービスなど、各自のスキルアップと、意識の向上を図った。今後も、新型コロナウイルス感染防止に関しては、柔軟な対策・対応を講じつつ、安心安全の環境を整える中で、市民のニーズに応える図書館サービスを進め、たちかわ電子図書館も含めた利用促進を図る。				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、乳幼児向けのおはなし会も再開し、講座も感染対策徹底の上で開催し利用実績は増加に転じた。小規模館であり、利用者の安全・安心を第一に、季節や時の話題に合わせた特集展示、オリジナル読書ノートの配布などを行い、来館や貸出・リクエストを増やすことに繋がった。</p> <p>・提案事業では、釣った疑似のさかなを図鑑などの参考図書を用いて調べる「図書館でさかな釣り！」やワークショップ「図書館ではじめる大人の塗り絵」などを開催し、子どもの地域学習や大人の学び場の提供となる取り組みがあった。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。</p> <p>事業計画に基づき様々な企画や展示を適正に実施し、来館と資料貸出に繋げ、図書活動の推進に努めている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者7名・70%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】45,472人(98.4%) 【貸出冊数】143,691冊(99.2%) 【レファレンス数】294件(104.6%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、利用者向け講座の開催など、図書館サービスの実施に取り組んだことで、利用者数と貸出冊数は微減となった。	A	新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数・レファレンス数のいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。 ニーズに合わせた展示やオンラインでの参加も可能な講座の開催、俳句ポスの設置等を行い、図書館利用の促進に努めている。	
運営企画	テーマ展示・交換展示・提案事業(「新選組と多摩地域」「子供向け楽しく学べるお天気講座」等)・図書リサイクル事業・学校連携事業・俳句ポスの設置ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:34,876,023円 支出:35,626,553円 事業収支:▲750,530円 人件費比率:83.7% 人件費の増加で収支がマイナスとなったがTRC5館合計では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が91.6%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A			
小規模修繕	ブックトラック交換修繕、書架購入 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A			
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	・寄贈本を受け付けないことへの苦情 ・延滞資料を即座に督促しないことへの苦情 ・雑誌受け入れ時の巻号誤り 利用者に丁寧に丁寧に対応し手続きの周知、事務ミスの防止対策を講じた。	A	事故はなく、苦情への対応も迅速に実施されている。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	学習館の行事参加、読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制が構築されており、地域に密着した図書館運営に努めている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
令和4年度も新型コロナウイルス感染防止への取り組みを継続することとなり、おはなし会の開催などに影響が出ることもあったが、感染防止に配慮しながら、図書館サービスの維持、回復に努め、利用者数、貸出数ともに大幅な減少を防ぐことができた。 西砂学習館まつり、西砂学習館サマーイベントへの参加、リサイクル本の提供を通して地域との交流を継続するとともに、気象庁東京管区気象台の職員を講師に迎えて調べ学習支援の講座開催や、新選組の子孫の方が講師となって新選組と多摩地域の結びつきを学ぶ講座なども開催することができ、講座、イベントへの利用者の期待に応えることができた。 令和5年度も、新型コロナウイルスの状況は予断を許さないものがあるが、丁寧親切な接遇をベースに、おはなし会の定例開催をはじめ、積極的な展示の提供、児童、一般ともに利用者のニーズをつかんだ講座・イベントの開催に取り組み、地域に貢献する地区館としての負託に応えていく。					
施設担当課評価		2次評価		2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等		
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は微減に抑えられた。学校連携による学級文庫の貸出や地域包括支援センターとの連携展示など、地域との連携を強化した図書館サービスに取り組んでいる。</p> <p>・提案事業では、気象庁東京管区気象台の職員による「子ども向け楽しく学べるお天気講座」を開催。親子ともども調べ学習への興味関心を高め図書館利用を促進する講座となった。「新選組と多摩地域」では新選組の子孫の方から新選組と多摩地域の結びつきを学び、地域の歴史を知る機会を提供した。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度と同程度の実績を維持している。</p> <p>多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。</p> <p>接遇やサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。</p> <p>地域との連携・交流に力を入れており、事業が実施されている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員7名(内有資格者5名・71.4%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】32,108人(105.4%) 【貸出冊数】102,883冊(103.0%) 【レファレンス数】255件(125.6%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、きめ細やかなサービスに配慮するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、前年度の実績を上回った。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数は昨年度の実績を上回っている。 ニーズに合わせた展示やさまざまな講座等を行い、図書館利用の促進に努めている。	
運営企画	テーマ展示・交換展示・提案事業(「図書館でボードゲーム」「近世文学入門講座」等)・高松学習館との連携展示・図書リサイクル事業・学校連携事業・俳句ポストの設置ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:32,889,834円 支出:33,671,624円 事業収支:▲781,790円 人件費比率:83.7% 会社管理費の増加で収支がマイナスとなったが TRC5館合計では計画通りの事業収支であり、安 定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスと なっているが、指定管 理5館全体では計画 通りの事業収支であ り、安定した指定管理 運営が行われてい る。 適正にリスク分担して 対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリス ク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険 を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施 している。	A		
新たな取り組みの状況	特になし。	-		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が91.9%と 高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応にお ける利用者満足度の向上に努めている。	A	館内整理日を活用し た情報共有や職員研 修を定期的を実施し ており、利用者アン ケートからも職員の接 客対応等についての 評価は高い。 マニュアルに沿って業 務が実施されている。 市と毎月、連絡調整 会議を行い、業務が 遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正 に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加し て、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連 絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備に より中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の 実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが 実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報 の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、 地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公 表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表 されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利 用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供 されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り 組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A		
小規模修繕	ラックワゴン修繕、事務室椅子修繕 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	図書館除菌機の紫外線照射が途切れているという苦情。 利用者からの指摘に迅速に対応している。	A	事故はなく、苦情への対応も迅速に実施されている。 「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	当館で貸出予定の予約確保連絡票を挟んだ資料を、誤って他館へ資料を運ぶ車に載せてしまった。個人情報流出等の事故は発生しなかったが、再発防止のためマニュアルの順守等手続きを徹底するよう周知した。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会、小学校新一年生への図書館利用案内、高松学習館との共催展示、地域包括支援センターとの連携展示などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	近隣施設と連携し、事業を実施している。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の図書館サービスへの制限を余儀なくされる1年となった。前年度より継続して、図書館としての活動を従前に近い形で再開することで、利用実績では平成31年度並みの数値に回復しており、図書館に市民が戻ってきたことを感じられた1年だった。</p> <p>提案書・年間計画書に基づき、一般サービスでは学習館・地域包括支援センターと連携した各展示の実施、国文学研究資料館と連携した講座開催などを実施。児童サービスでは夏休み期間中に調べ学習支援事業の開催、立川市民科や職場体験などの学校連携の実施、新しい試みとして高松学習館と東京学芸大学との共催事業へ図書館として参加(2回)、11月には乳幼児向けおはなし会を再開し、順調なサービス展開を行う事ができた。</p> <p>今後も学習館や児童館、地域包括支援センターなど地域の関連施設・団体との連携に努め、地域に貢献する図書館として、図書館サービスを向上させていきたい。</p>				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は増加に転じ、地域学習館や地域包括支援センターとの連携展示、図書館俳句ポストの継続設置など地域との連携強化や資料貸出の推進による図書館サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>・提案事業では、国文学研究資料館と連携した講座「近世文学入門講座」を開催し大人の学び場の提供に努めた。栄町住民へのサービス強化として、立川落語会と連携して落語会を開催し、他にも「さかえ会館出前おはなし会」を開催し、栄町地域に住む、普段図書館に足を運ぶ機会の少ない子どもたちに、「図書館のおはなし会」の楽しさを知ってもらう取り組みを行った。利用者の拡大と地域情報の発信に取り組んでいる。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、利用者数・貸出冊数は昨年度に比べて増加傾向にある。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでは高い評価を得ている。</p> <p>地域との連携・交流が適正に図られている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:326日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員11名(内有資格者10名・91%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。 施設の改修工事、電気設備工事により休館5日あり。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症だけでなく、工事に伴う窓口縮小・休館等の影響により、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度の実績を下回っている。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】51,668人(89.3%) 【貸出冊数】153,714冊(87.0%) 【レファレンス数】148件(70.5%) 施設の中規模改修工事のため10月は仮設事務所での予約受取窓口業務に限定されたこと、電気設備工事等により休館日が5日間発生したことにより、前年度の実績を下回った。	A		
運営企画	テーマ展示・交換展示・提案事業(「ジャズ講演」・オリジナル時代小説ノート配布・図書リサイクル事業・学校連携事業・俳句ポスの設置ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	学校との連携による子どもの読書活動の推進、様々なテーマ展示や館内イベントの企画による図書館利用の向上が行われている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:37,829,577円 支出:36,817,294円 事業収支:1,012,283円 人件費比率:84.4% 計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	指定管理5館全体で計画通りの事業収支であり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	特になし。	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が87.5%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)は対象外である。 業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	故障した機器を速やかに使用停止にし、修理計画を立てた。	A		
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A		
小規模修繕	ブックポスト鍵修繕、ロッカー鍵修繕、情報検索端末用の椅子修繕、館内閲覧用の椅子修繕 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策の取り組みが行われている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童・生徒のPOP展示、地域包括支援センターとの連携展示、読み聞かせボランティアとの意見交換などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>昨年度に引き続いて年度当初の4月、5月は貸出冊数・利用者数ともに増加となったが、6月で増加が止まり、8月以降は建物の改修工事の影響でやや利用が減少した。9月最終週からは仮設事務所の窓口での業務となり10月の1か月間は予約受取だけの窓口業務となった。フロアに立ち入れない分、業務が減少するのではと予測されていたが、実際には本や物の移動が多かったり、制約されたスペースでの事務仕事だったりで業務の負担は、ほぼ変わらない状態であった。</p> <p>事業としては9月に第三中学校と連携し、図書館で開催している「図書館俳句ポスト」に237件(251句)を応募してもらい2句が入選した。また、9回目となる演奏会「ジャズの魅力」では前年を大きく超える68人の参加があった(前年36人)。令和5年以降は連携事業や講座・講演会などに注力し、図書館の利用者数回復に努めていきたい。</p>				
施設担当課評価	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
	<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小や中規模改修工事のための業務縮小、電気設備工事等による休館のため、開館日数や利用者数が減少。利用実績は前年度実績を下回ったものの、季節や時の話題に合わせた展示をはじめ、時代小説ノートの配布等利用者の関心を引く多彩なイベントで資料貸出の促進が図られている。継続事業である「図書館俳句ポスト」では第三中学校と連携し多くの俳句を集め、学校と連携したPOP展示や地域包括支援センターとの連携展示など、地域との連携を強化した図書館サービスに取り組んでいる。</p> <p>・提案事業では、演奏会「ジャズの魅力」で前年を大きく超える参加者を獲得。専門家を講師として招きイベントを楽しみながら興味・関心を高めることにつながる取り組みがあった。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>	A	<p>工事に伴う窓口縮小・休館等の影響は大きく、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度の実績を下回っている。</p> <p>様々な企画や展示を提案に基づき適正に実施しており、図書活動の推進に努めている。</p> <p>事業計画書等に基づき適切に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社図書館流通センター	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修や朝礼を実施し、施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員9名(内有資格者9名・100%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】60,700人(96.9%) 【貸出冊数】173,565冊(96.4%) 【レファレンス数】284件(138.5%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、書架の見やすさの改善など、図書館サービスの実施に取り組み、利用促進を図った。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数・貸出冊数は昨年度と比較して微減したが、レファレンス数は昨年度を上回っている。	
運営企画	テーマ展示・交換展示・提案事業(「新世界 透明標本」「源氏語り」)・オリジナル読書ノート配布・図書リサイクル事業・学校連携事業ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示・交換展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	事業計画書に基づき、提案事項は確実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:44,144,840円 支出:44,347,145円 事業収支:▲202,305 人件費比率:73.1% おおむね計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支がマイナスとなっているが、指定管理5館全体では計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務・消防用設備保守点検業務・機械警備業務・清掃業務・空調設備保守点検業務・樹木せん定業務・昇降機設備保守点検業務・建築設備定期検査・特定建築物定期検査 施設維持管理に必要な業務を専門業者に委託して実施している。	A		
新たな取り組みの状況	透明標本を3巻合同で展示し、標本を直接触る体験を提供したことで子どもの調べ学習推進に努めた。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が87.0%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	館内整理日を活用した情報共有や職員研修を定期的実施しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A		
業務の点検	第三者(本社)の内部監査により、業務点検に取り組んでいる。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に従い、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A		
小規模修繕	非常照明装置修繕、ブックポストの鍵修繕、踏み台修繕、新聞棚引き出し修繕、網戸移設修繕、デタッチャー修繕、多目的トイレ便座修繕、木製ブックトラック交換修繕、CD 用回転式書架交換修繕 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	窓口において職員が利用者に、誤って電子図書館管理用パスワードを伝えてしまう事案が発生した。発生後、中央図書館に速やかに報告を行い、パスワード変更対応により不正利用は防止した。安全管理に課題があった。再発防止策として、管理者パスワードの管理方法の変更や、スタッフに対し慣れない業務をする際の不明点について、周囲への確認を徹底する等の指導をした。	B	電子図書館管理用パスワード漏洩という事案が発生しており、安全管理に課題があった。事後の対応と、再発防止の取組みについては、適切に対応されている。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策の取組みが行われている。	B
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設とのネットワークの作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	小学校新一年生への図書館利用案内、若葉会館、若葉児童館、近隣学童保育所等との連携などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携が進んでいる。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(8)コンプライアンスに関する事項					
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。		A
(9)立川市のコスト削減状況					
導入前の決算額との比較	—	—	—		—
◆ その他特記事項					
◆ 総合評価					
事業者振り返りコメント					
図書館の利用促進に向け、あらためて、トイレも含めた館内を整理し、経年劣化した表示を変更することによる、視認性の向上及び、美観向上に努めた。 貸出促進に向けての対応としては、新たに高齢者コーナーを設置し、高齢者がより利用しやすい環境を作ったほか、カウンター前で日替わりでの本の提案展示、面出ししている本への積極的なPOPの作成と掲示に努めた。予約促進の施策としても、高齢者向けに主に時代小説の出版予定情報の掲示を積極的に行った。展示においては、近隣施設である児童館の協力でカブトムシの生体を関連本とともに展示したほか、若葉台小学校生徒による「市民科授業」の成果物の展示とともに、生徒に関連本を選んでもらい、合わせて展示するなど、展示のアプローチ方法に工夫を凝らすことで、利用者への貸出促進を図った。参加型展示として「新世界透明標本～アレが透明になったら？～」では、自由に標本のイラストを書き、貼れる場所を設置したところ、53枚の掲示となった。 講座・講演会は、工作会「ならそう！ダンボールギター」は告知当日に定員に達し、3館合同イベントであった、新世界『透明標本』アレが透明になったら！？、若葉文学講座 源氏語り「物語の背景と光源氏の女君たち」、絵本作家 山本省三さんと「飛び出す絵本」をつくってみよう！、歴史っておもしろい！～戦国時代編～はいずれも定員に達する申込があり、事後のアンケートで、高い評価をいただいた。 関連施設との連携に関しては、団地自治体等含め、近隣の施設へ配布物を届けた際にコミュニケーションをとり、互いのニーズのすり合わせを行うことで、図書館の活性化に勤め、利用の促進を図った。 今後も地域住民のニーズに応えながら居心地のよい図書館であるためのサービスを提供していく。					
施設担当課評価					
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	2次評価		2次評価
・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は微減に抑えられた。交換展示の継続や企画展示の工夫、オリジナル読書ノートの配布、読書ウィークにおけるポイントカード配布など、来館・資料貸出の促進の取り組みがあった。 ・提案事業では、透明標本作家を招いた調べ学習関連行事「新世界 透明標本」では西砂、錦、若葉の3館で事前展示を実施。講演会では全員が透明標本に触る体験が出来たため、参加型で活気のあるイベントとなった。古典文学講座「源氏語り」、絵本作家による「飛び出す絵本」はいずれも定員に達する申し込みがあり地域住民へ質の高い図書館サービスが提供されている。 ・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。 ・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。 ・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所の速やかな報告、修繕が適正に実施されている。		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数・貸出冊数は昨年度と比較して微減したが、レファレンス数は昨年度を上回っている。 安全管理上の課題はあったが、事後対応と再発防止策は適切に実施されている。 地域施設への図書館情報の発信や利用者ニーズの把握に努め、利用者の拡大に向けて取り組みが行われている。		A
以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。					

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A			
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A			
(2)業務の履行状況					
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者7名・70.0%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。	A	
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】37,712人(103.0%) 【貸出冊数】104,324冊(102.2%) 【レファレンス数】151件(115.3%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、きめ細やかなサービスに配慮するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、前年度の実績を上回った。	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつも、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度の実績を上回っている。		
運営企画	テーマ展示・提案事業(「柴崎町の歴史を知ろう!」「びっくりサイエンスショー」)・第一中学校との連携POP展示・図書リサイクル事業・学校連携事業ほか おはなし会の実施や学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示、地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	時節のテーマ展示や学校連携による学級文庫の貸出等、年間を通して、図書館利用の促進・学習機会の提供などが行われている。		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,551,059円 支出:25,551,059円 事業収支:0円 人件費比率:77.0% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A			
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施している。	A			
新たな取り組みの状況	特になし。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が91%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A	
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A			
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A			
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)のセルフモニタリングにより、業務点検に取り組んでいる。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	A	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—			
保安・警備	鍵の適正管理や館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A			
小規模修繕	窓ガラスへの遮光フィルム設置 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A			
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は特になかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	当館で貸出予定の予約確保連絡票を挟んだ資料を、誤って他館へ送付してしまった。個人情報流出等の事故は発生しなかったが、再発防止のためマニュアルの順守等手続きを徹底するよう周知した。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
地域及び地域住民との連携	第一小学校の授業での図書館利用再開、中学校と連携したPOP展示、柴崎学習館との連携(「すわっ祭実行委員会」への参加)、地域包括支援センターとの連携展示などにより、円滑な事業実施に取り組んでいる。 リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	近隣施設や自治会を中心に図書館の利用促進に向けた連携体制が構築されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>地域に根差した図書館としての役割を果たすべく、地域振興への取り組みとして、「柴崎町の歴史を知ろう」イベントや、立川南口街ゼミ(立川南フェスタ)の紹介等の活動を行った。</p> <p>小学校との連携については、次年度からの取り組み予定等を含め、学校との打ち合わせの場を設け、緊密な情報交換を行った。(2023年3月には「ミニ柴崎図書館」のプレ実施、校内放送での紹介も実現)</p> <p>イベント等についても、新型コロナ感染拡大下で機会の減っていた親子参加イベント(びっくりサイエンスショー)を実施し、従前の図書館運営・イベント開催へ戻すべく活動した。</p> <p>また、認知症展示や「点字を知ろう」など、ハンディキャップサービスについて考えるイベントを継続して実施した。</p> <p>その他、児童フロアの看板の刷新、資料別置場所についての案内ミニ看板、書架の小見出しの追加等、日常の図書館運営についても改良し、かつ接遇についても常に職員の意識を高くし、満足度調査では高評価を頂いた。</p>				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は増加に転じ、学校と連携したPOP展示の継続、第一小学校による授業や青空学級での図書館の利活用、地域包括支援センターとの連携展示等を行い、地域と連携した取り組みで資料貸出の推進と地域の情報発信に取り組んでいる。</p> <p>・提案事業では、立川市文化財保護審議会会長を講師として招いた「柴崎町の歴史を知ろう！」では地元を再発見できるイベントとなり、館内で関連資料展示を行い、貸出しの促進も図った。また、親子参加イベントを実施し、各世代で図書館の利用が楽しめるような取り組みもあった。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、利用者数・貸出冊数・レファレンス数はいずれも昨年度に比べて回復傾向にある。</p> <p>学校や近隣施設との連携した取り組みにより、地域に根差した図書館運営が行われている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客応対等についての一定の評価を得ている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A
<p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>				

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員13名(内有資格者9名・69.2%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつも、利用者数・レファレンス数は昨年度の実績を上回っている。	A
利用状況	〇内は対前年度比 【利用者数】59,317人(102.3%) 【貸出冊数】180,939冊(99.6%) 【レファレンス数】325件(102.8%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、館内の展示や、大人から子どもまで楽しめる講座を企画するなど、図書館サービスの実施に取り組んだことで、利用者数、レファレンス数は前年度の実績を上回った。	A		
運営企画	テーマ展示・提案事業(「Kamisuna Library Concert(国立音大連携)」「わらべうた&絵本ライブ」)・国営昭和記念公園ボランティアに関する展示・図書リサイクル事業・学校連携事業・ほか 学校連携による学級文庫の貸出等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 提案事業やテーマ展示・地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A	各関係団体と連携を図り、提案事項は着実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:46,606,150円 支出:46,606,150円 事業収支:0円 人件費比率:55.18% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A	事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A			
第三者への委託状況	仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施している。	A			
新たな取り組みの状況	「砂川めぐり」 地域貢献につながる活動であり、記録・保存可能となる財産を創出した。 「子供に関する問題(不登校・ひきこもり)に関する展示」 社会問題となっている事象の情報発信を行った。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が93%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A	充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務が実施されている。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	A	
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A			
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A			
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A			
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)のセルフモニタリングにより、業務点検に取り組んでいる。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
(4)施設・設備の維持管理状況					
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A	
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A			
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A			
小規模修繕	事務室の照明修繕、床・樋補修工事、鳥害対策工事、図書館開架・階段・自転車置き場の照明修繕、階段の照明修繕、図書館開架の照明修繕 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A			
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A			
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項					
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A			
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A			
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A			
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A			
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項					
事故・苦情対応状況	特になし。	A	事故・苦情等は特になかった。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	A	
事故の予兆に対する対応	特になし。				
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。				
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A			
(7)地域貢献に関する事項					
地域及び地域住民との連携	小中学校からのまちたんけん受け入れ、職場体験受け入れ、教員実務研修、中学校と連携したPOP展示、かみすな地域包括支援センター・みのり立川との展示などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止策への留意が引き続き求められた中で、会場に参加者を集めてのイベントを、定員を抑制しつつも再開した。おはなし会も再開したこと等もあり、高齢者と10歳以下の児童の貸出が増加し、貸出者数が昨年度を上回ることができた。</p> <p>特に、国立音大と連携して実施した、大人から子どもまで楽しめるコンサートや、例年高評価を得ているわらべうた&絵本ライブは、多くの方に参加いただけたものとなった。</p> <p>町歩きイベント「砂川めぐり」では、町歩きを実施しただけでなく、講師が作成した優れた配布資料を、図表などの著作権処理を図書館側で実施した上で冊子化した。この冊子については、令和5年度に市内学校や施設などへの寄贈を予定しており、地域へ大いに貢献しうる事業となった。</p> <p>昭和記念公園との連携展示ではボランティア活動等の情報を、子どもの問題に関する展示では不登校の子どもの居場所情報をなどを提供するなど、新しく知り合った連携先と協力して、市民へ必要な情報を届けることができた。</p> <p>研修では、3館のスタッフをシャッフルして、地域を歩いたり、他館の様子について意見交換をするという取り組みを行った。地域を知り、他の館のことを理解できる取り組みとなった。</p> <p>複合施設内の連携についても、他施設のメンバー変更に際して施設情報を提供したり、夜間の青少年の行動について情報共有しつつ対処するなど、大家としての活動を行った。</p>				
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は増加に転じた。地域包括支援センターとの連携展示では不登校の居場所情報、昭和記念公園との連携展示ではボランティア活動等の情報を発信した。このような企画展示の工夫で社会問題の現状、取り組み等を地域の方々に提供できている。</p> <p>・提案事業では、立川市の歴史に精通している講師を招いた町歩きイベント「砂川めぐり」を行い、著作権処理も実施して、砂川地区のわかりやすい地域資料を冊子化することができた。記録・保存・閲覧が可能なものを創出し、地域へ貢献する取り組みとなった。わらべうた&絵本ライブや国立音楽大学と連携して実施したコンサートは多くの参加者が集まり幅広い年代の方が楽しめる取り組みとなった。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所の手速やかな報告、修繕が適正に実施されている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症による影響はあったものの、貸出冊数は昨年度と同程度、利用者数・レファレンス数はいずれも昨年度よりも増加した。</p> <p>多様な連携事業により、図書館サービスの向上の取り組みが行われている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客対応等についての一定の評価を得ている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(令和4年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市多摩川図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社ヴィアックス	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	図書館法や業務仕様書に従い、設置目的に沿った管理運営が適切に行われている。	A	研修等を通して、施設の設置目的を十分理解し、適正に管理・運営するための取り組みが行われている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修やOJTを通して設置目的の理解と共有がされている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して公平・公正なサービスが提供されている。	A		
事業の継続性の担保	有資格者の確保と十分な引継ぎ時間により事業の継続性が確保されている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝) 職員配置:契約社員10名(内有資格者7名・70.0%) 非常勤賃金:時給1,080円以上(有資格者1,110円以上) 仕様書の要件を満たす人員体制で管理運営にあたり、窓口業務に支障のない勤務体制で業務を適正かつ円滑に行っている。	A	基本的事項については、事業計画通り適正に実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数・貸出冊数は昨年度の実績よりも微減した。	A
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】25,203人(96.9%) 【貸出冊数】69,521冊(94.6%) 【レファレンス数】147件(124.6%) 新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で、屋外テラスイベントや展示など、図書館サービスの実施に取り組んだことで、利用者数、貸出冊数は大幅に減少することはなかった。月別の利用者は前年度割れしている月も多く、コロナ前の状況には戻っていない。	A		
運営企画	テーマ展示・提案事業(「ふゆのへいわミニシアター」「こどもえんにち」)・図書リサイクル事業・学校連携事業ほか学級文庫の貸出や野外テラスを活用したおはなし会等により、子どもの読書活動の推進を図っている。 「図書館の平和講演会」では立川空襲を取り上げ、地域の歴史を発信した。 提案事業やテーマ展示・地域の学校や関連機関との連携展示、館内イベントを企画して利用者の来館と資料貸出に繋げて、図書館利用の促進に努めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)					
事業収支 経営状況分析指標	収入:32,461,957円 支出:32,461,957円 事業収支:0円 人件費比率:62.12% ほぼ計画通りの事業収支であり、安定した指定管理運営ができています。	A			
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応 業務仕様書で求めているとおり、第三者賠償保険を含む損害賠償保険に加入している。	A		事業収支は、概ね収支計画書のとおりであり、安定した管理運営が行われている。 適正にリスク分担して対応されている。	A
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務・消防用設備保守点検・機械警備業務・清掃業務・空調設備保守点検・樹木剪定業務・建築設備定期検査・カーテンクリーニング 仕様書で定める業務を専門業者により適切に実施している。	A		令和4年度の新たな取り組みのは、新規利用者の開拓につながる取り組みであり、評価できる。	
新たな取り組みの状況	「地域の企業と連携し図書館だよりを設置」、地域の読書活動への協力を図る基礎作りとなった。 「図書館道順の紹介動画作成」 同じ指定管理者である3館共同で取り組み、利用者へ効果的にアプローチした。	A			
(3)サービスの質に関する事項					
職員の対応	利用者アンケートの結果で満足の割合が82%と高く、接遇研修や制服着用により、窓口対応における利用者満足度の向上に努めている。	A			A
マニュアルの整備	図書館業務マニュアルの整備と理解を深め、適正に業務が実施されている。	A			
研修・教育の実施状況	館内研修又は本社研修に全ての職員が参加して、専門能力や資質の向上が図られている。	A		充実した研修体制を構築しており、利用者アンケートからも職員の接客対応等についての評価は高い。	
所管部署との連携・連絡	定例会議や連絡調整会議、緊急連絡網の整備により中央図書館と連携がとられている。	A		マニュアルに沿って業務が実施されている。	
利用者アンケート等の実施	図書館サービス向上のための利用者アンケートが実施・分析されている。	A		市と毎月、連絡調整会議を行い、業務が遂行されている。	
広報・PR等の利用情報の提供	図書館だよりの発行や広報紙・HPの活用により、地域への情報発信がされている。	A			
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書は市図書館として一体的に公表されている。	A			
公平・公正利用の確保	図書館情報システムの適正利用により、全ての利用者に対して公平・公正な図書館サービスが提供されている。	A			
業務の点検	第三者(本社)のセルフモニタリングにより、業務点検に取り組んでいる。	A			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	専門業者による施設清掃により、施設維持が適正にされている。	A	業務仕様書に基づき、適切に実施されている。 小規模修繕については、適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。	A		
保安・警備	施設維持管理に必要な業務は、専門業者に委託して適切に実施されている。また、館内巡回により館内の保安維持に努めている。	A		
小規模修繕	鍵修繕・遮光フィルムの設置 日常点検の実施や施設維持管理委託により、不具合箇所の発見と修繕を適正に行っている。	A		
備品管理	備品台帳の整備や状態確認により、適切な管理ができています。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	指定管理者として個人情報保護の適正な管理体制と手順書が整備されている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	条例等の規定遵守や図書館の責務を理解して、適切に個人情報等の保持ができています。	A		
適正な管理	個人情報を適正に管理する措置ができています。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託されている状況はない。	A		
研修・教育の実施	個人情報の適正管理に関係する研修が実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	ISOプライバシーマークの取得や手順書により個人情報の取り扱いが適正にされている。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・貸出期限到来後も未返却の延滞資料について、借主に資料の弁償を請求できなくなってしまう事案が発生した。、誤った処理を行ったことで発生しており、事務処理に課題があった。マニュアルの再確認と職員相互間での注意喚起を実施し、再発防止を図った。 ・予算を超過して、図書を購入してしまう事案が発生した。一般書の担当と、児童書の担当間での連携不足により発生しており、事務処理に課題があった。予算に関する館内の事務手順を改める等、再発防止を図った。	B	延滞資料の処理、予算の執行において、誤った事務処理があった。再発防止策については適切に実施されている。 「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策の取り組みが行われている。	B
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	「予約確保連絡票の誤処理」 利用者の姓名や予約資料のタイトルが外部へ流出する恐れがあった。作業の見直しをし対策を講じた。			
事故防止対策の取り組み状況	定期的な館内巡回や避難訓練、関連施設との連絡網の作成により、事故防止や災害発生時の対応への取り組みが行われている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	小中学校の授業上の生徒受け入れ、教員研修、地域企業との連携、地域包括支援センターとの連携展示などにより、地域と連携して円滑な事業実施に取り組んでいる。 リサイクル図書の提供を通して地域への貢献があった。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制が構築されている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	適正に実施されている。	A	特に問題なし。	A
(9)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	—	—	—	—
◆ その他特記事項				
◆ 総合評価				
事業者振り返りコメント				
<p>図書館の利用者数・貸出冊数の推移については、地区内の児童人口の減少や住民数の減少等、非常に厳しい環境が前提としてある中で様々な試みを検討・実施したが、数値の前年度比超えには繋がらなかった。地域の貴重な文化的拠点として、引き続き、粘り強く、かつ柔軟な発想を以て向上に取り組みたい。</p> <p>今年度は、国全体として「アフターコロナ」への方針転換が始まり、図書館サービスやイベントもそれに対応すべく、様々な取り組みを行った。屋外テラスの一層の活用や、人気の講座など実施しつつ、地域の団体との新たな関係づくりなど、今後に繋がる試みにチャレンジした。</p> <p>また、たちかわ電子図書館の操作説明・紹介イベントや、株式会社ヴィアックスのYoutubeチャンネル活用など、世代を問わない未利用者層へのアプローチも行った。</p> <p>施設・設備面の老朽化については、日常業務の中で対応可能なものは対応し、修繕費の残額を活用し、館内の利用環境の向上に取り組んだ。</p>				
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
<p>・年間を通して仕様書で求める司書率を上回る職員配置を行い、専門性の高いスタッフによる安定した図書館運営とサービスの提供が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止による一部サービスの縮小があったものの、利用実績は微減に抑えられた。</p> <p>・地域のお店・施設と連携し、店舗内に図書館への案内動画を視聴できるQRコードつけた図書館だよりの設置を行い、地域住民の利用向上に取り組んでいる。また、屋外テラスを活用した特別なおはなし会や児童向けイベントの実施により、子どもの読書活動推進や図書館利用の向上に取り組んだ。</p> <p>・提案事業では、講師を招き「図書館の平和講演会」を行い、立川空襲について資料、体験映像を活用し当時の様子を感じてもらえるよう工夫があった。関心のある保護者世代や市外の方も含めて定員を超える参加があった。また、前年度実施した空襲講演会の動画を「ふゆのへいわミニシアター」とし地域の歴史として来館者に提供した。</p> <p>・スタッフの教育・育成については、充実した研修制度のもとで様々な研修への参加があり、またそこで得た知識等を館内研修で還元を図るなど、図書館員としての専門能力と資質の向上に努めている。</p> <p>・個人情報や危機管理対応については、研修や社内監査の実施、マニュアルの整備などにより適正に管理運営がされている。</p> <p>・施設管理においては、専門業者への委託や不具合箇所の速やかな報告、修繕が適正に実施されている。</p> <p>以上より、提案書や事業計画書に基づき仕様書等で定めた水準を満たす施設運営が適正にされていることから、A評価とする。</p>		A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数・貸出冊数は昨年度と比較して微減したが、レファレンス数は昨年度を上回っている。</p> <p>充実した研修体制の結果、職員の接客応対等についての評価は高い。</p> <p>屋外テラスイベントや展示、講演会は、事業者としてのノウハウが活用されており、利用促進につながる取り組みが行われている。</p> <p>事業計画書等に基づき、適切に管理・運営が行われていると判断し、A評価とする。</p>	A

令和5年度(令和4年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

令和5(2023)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市総合政策部行政経営課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)